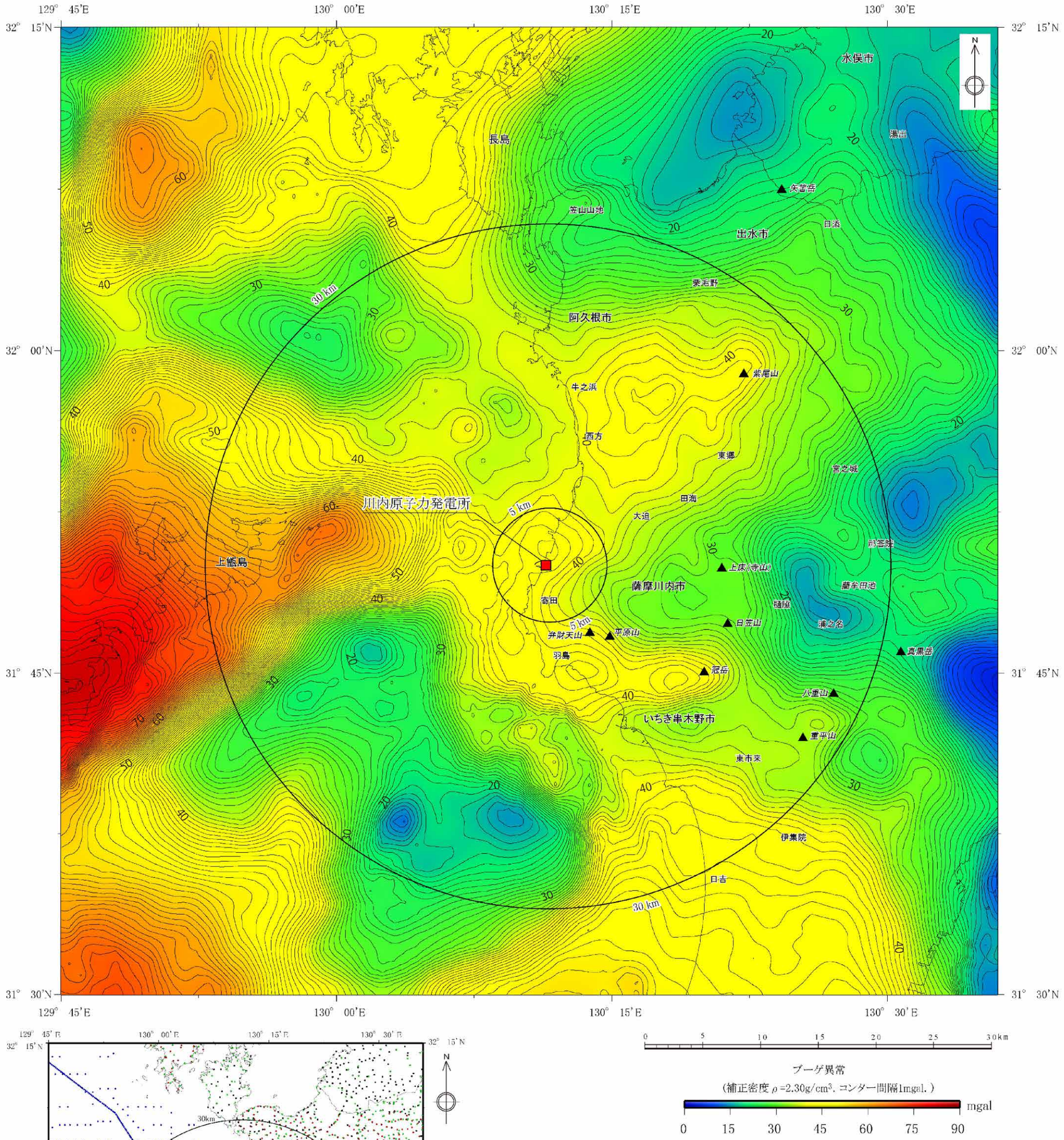
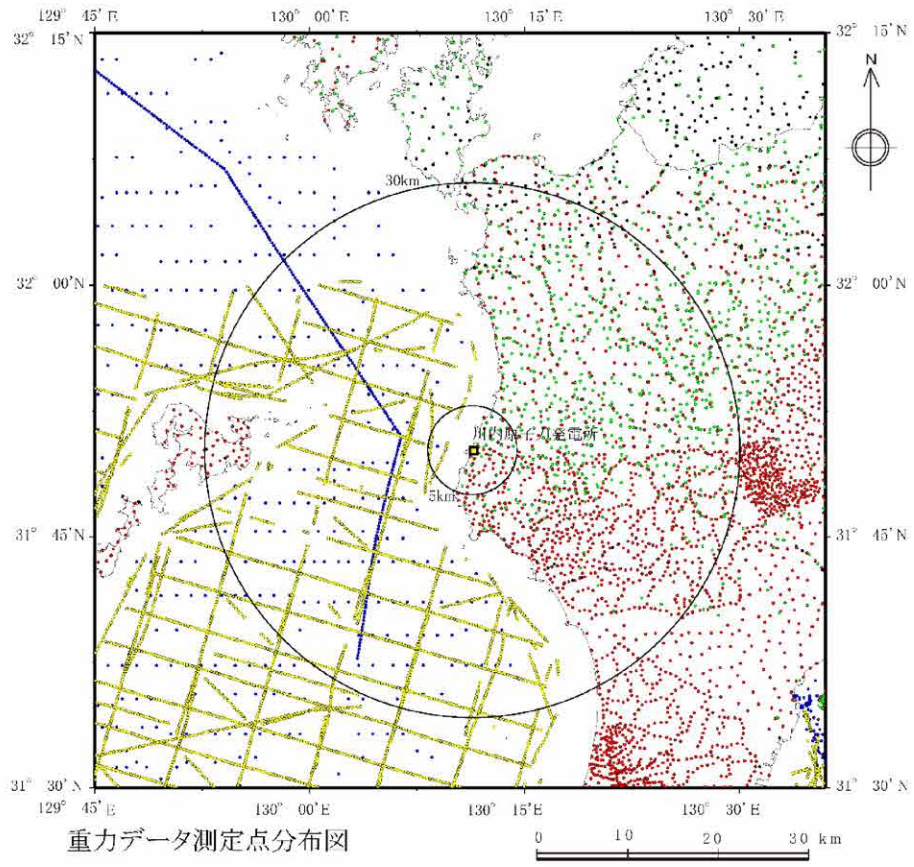



重力異常図は，陸域については，地質調査総合センター編 (2013)「日本重力データベース DVD版」，Shichi and Yamamoto (2001) Gravity Database of Southwest Japan (CD-ROM)及びYamamoto et al.(2011) Gravity Database of Japan (CD-ROM)，海域については，日本海洋データセンター(2006)「MGD77データ」及び地質調査所 昭和59年度 GH841，GH843航海による重力データを使用。



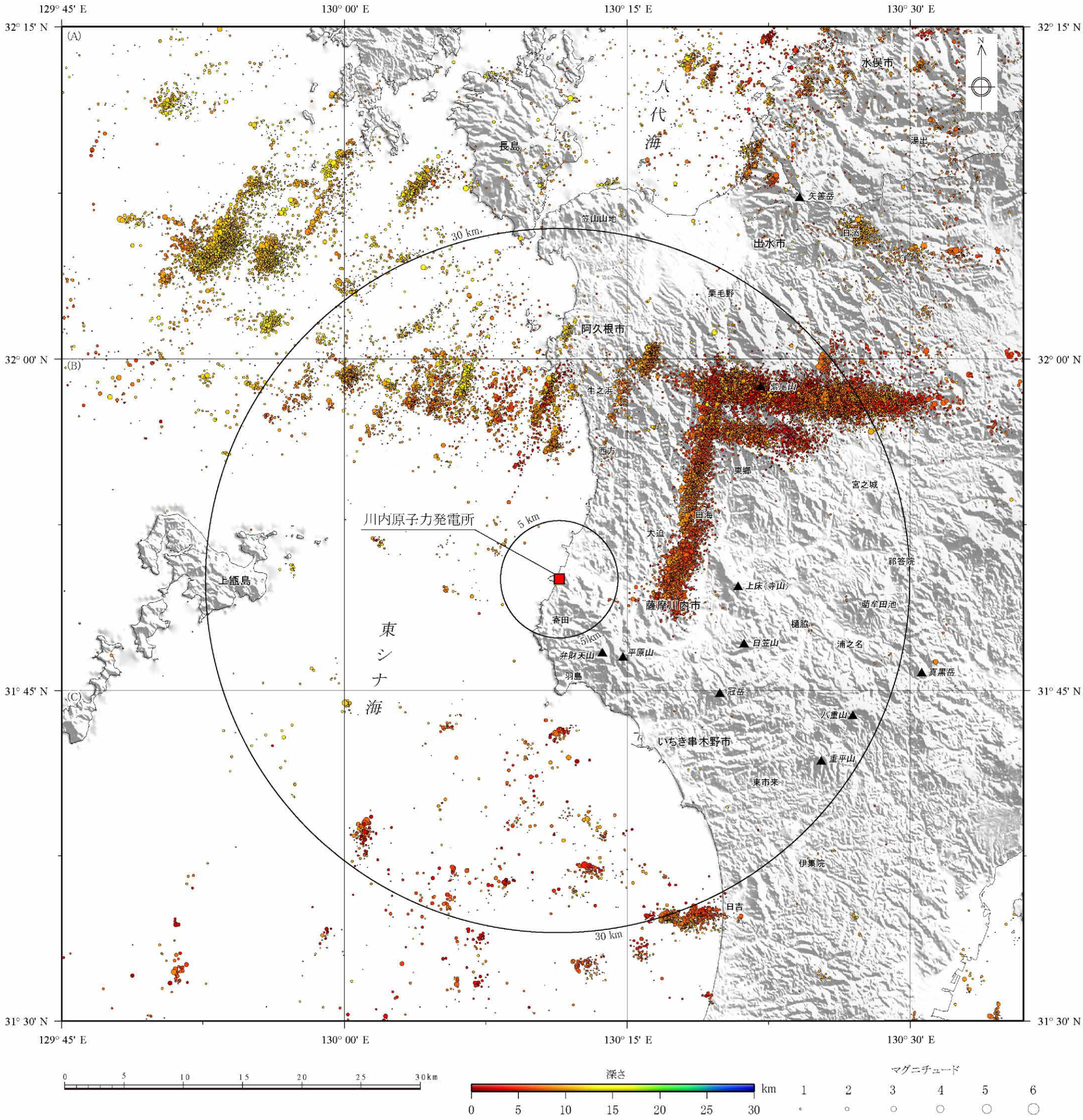

重力データ測定点分布図

重力データ測定点分布凡例

- 日本海洋データセンター
- 地質調査所
- 地質調査総合センター
- Shichi and Yamamoto (2001)
- Yamamoto et al. (2011)

この地図は，国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・鹿児島)のデータにより作成されたものである。

第1.2-71図 敷地周辺の重力異常図

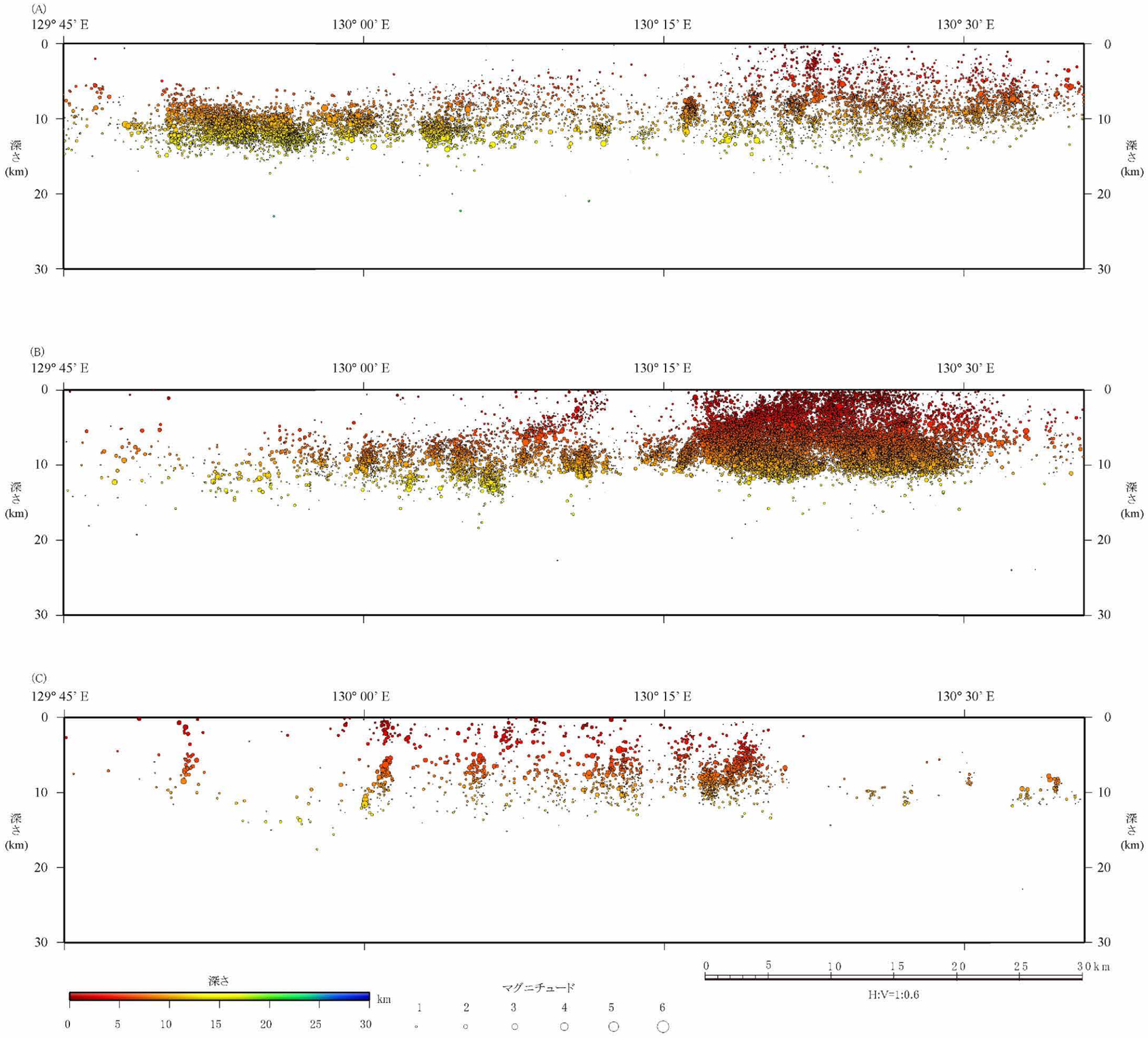



震源分布図は，気象庁一元化震源(1997年10月-2011年12月，30km以浅)による。

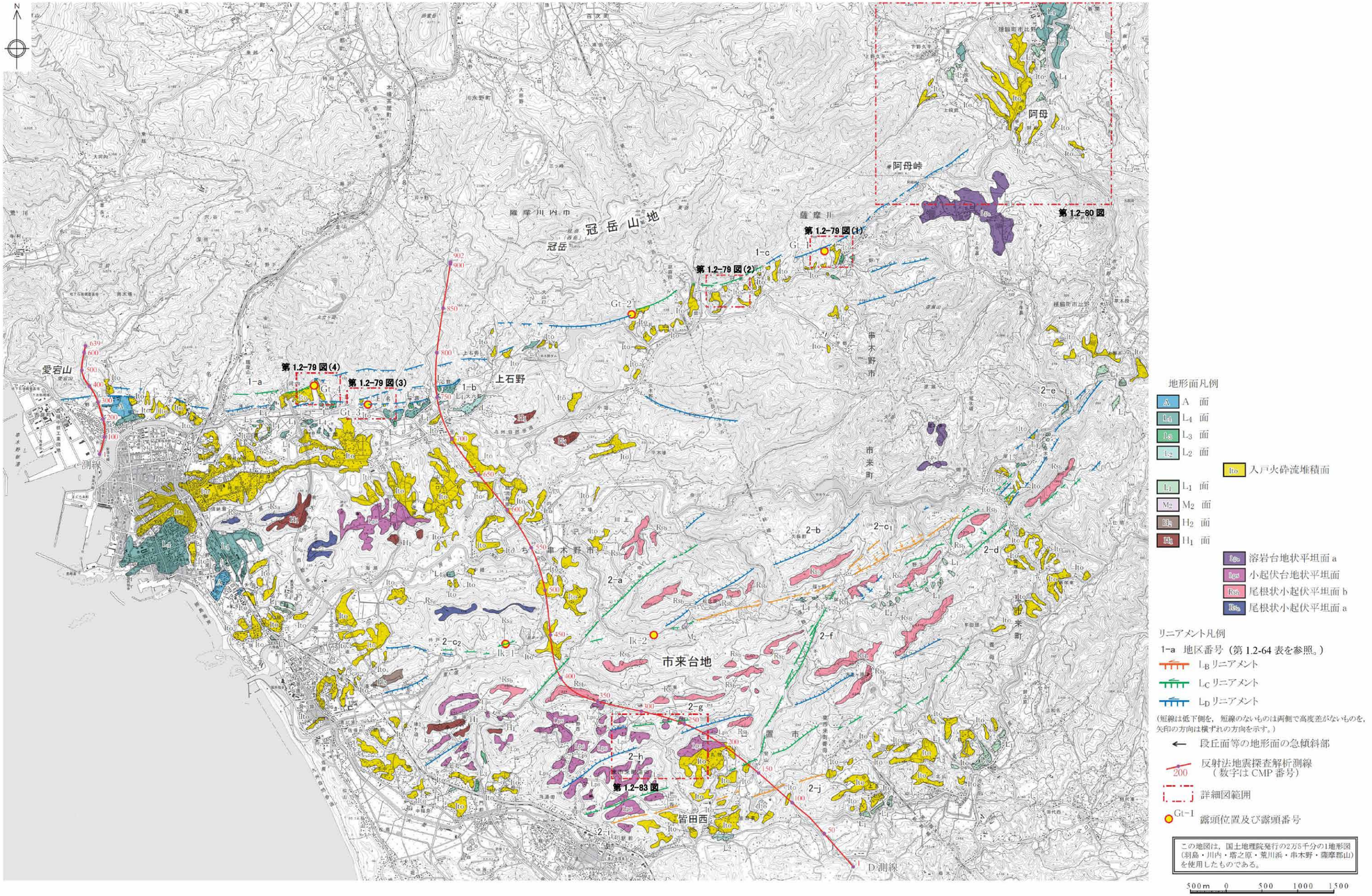
(A)、(B)、(C)は第 1.2-72 図(2)に示す敷地周辺の微小地震分布断面の位置を示す。

この地図は，国土地理院発行の数値地図 25000（長崎・八代・鹿児島）のデータにより作成されたものである。地形陰影図は，国土地理院発行の数値地図 50m メッシュ（標高）日本-Ⅲのデータにより作成されたものである。

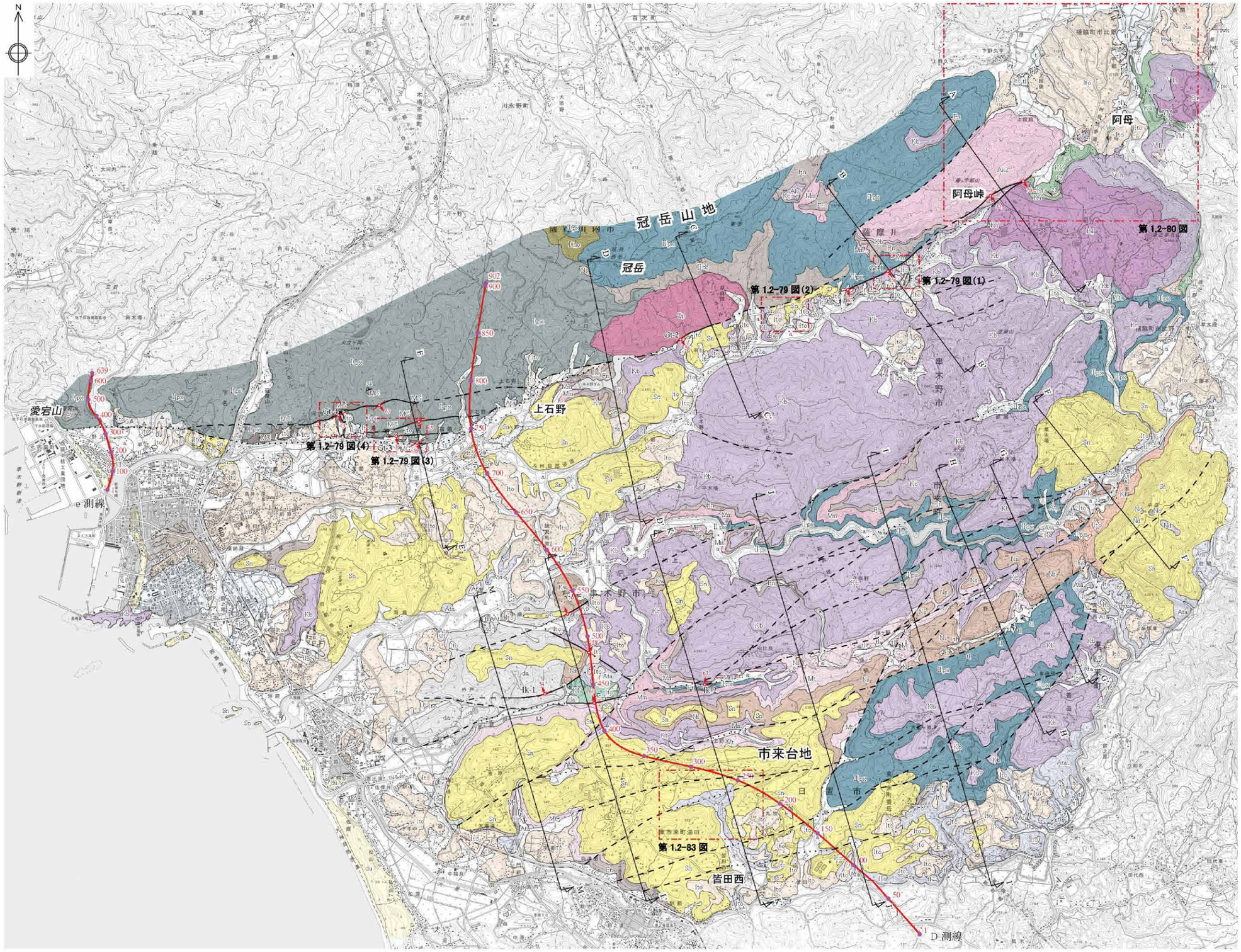
第1.2-72図（1） 敷地周辺の微小地震分布図




第1.2-72図（2） 敷地周辺の微小地震分布断面図




第1.2-73図　市来断層系周辺（五反田川断層含む）の空中写真判読図



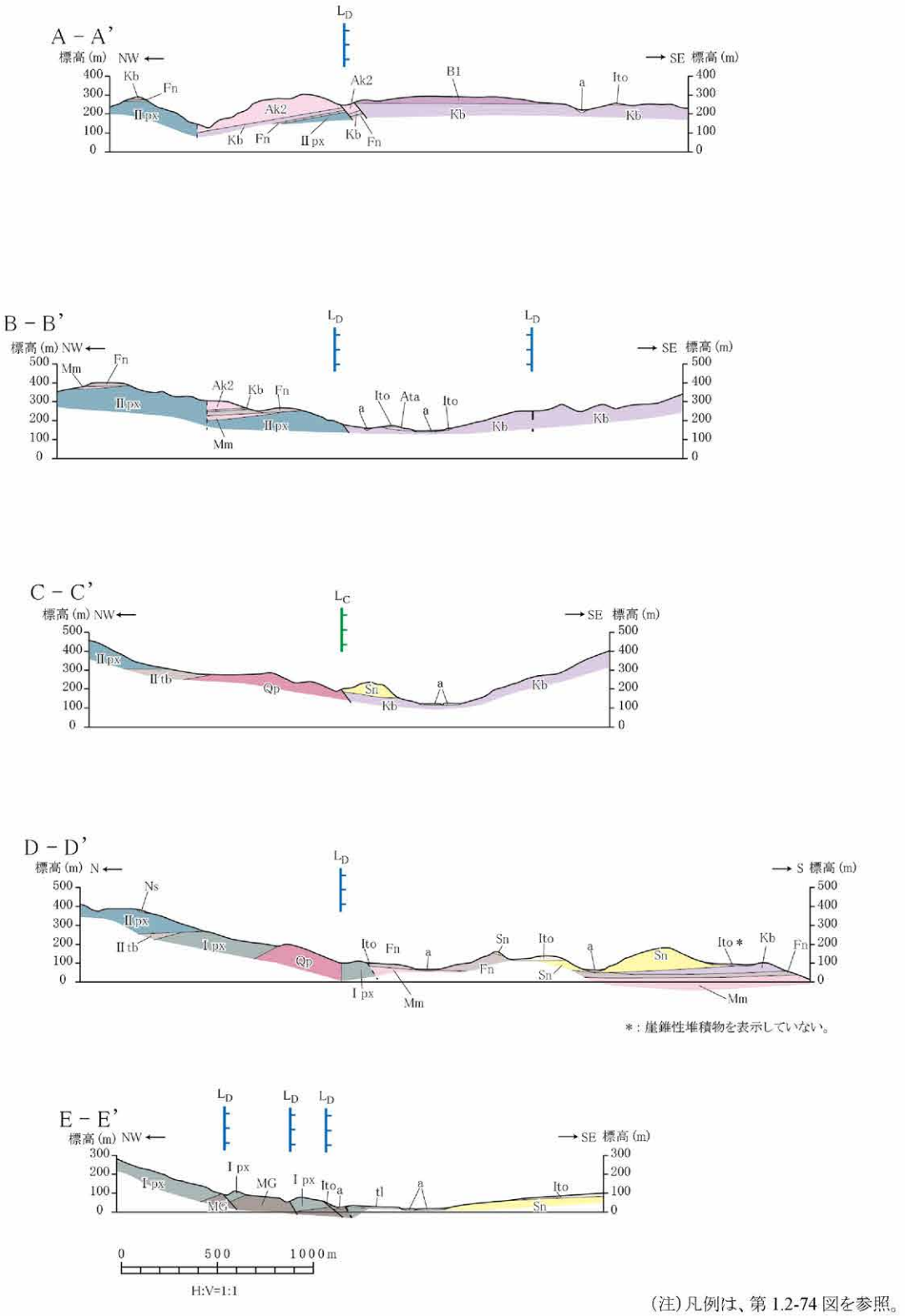

凡　例

- du 砂丘砂層
- a 沖積層
- tl 低位段丘堆積物
- 崖錐性堆積物
- Ito 入戸火砕流堆積物
- Ata 阿多火砕流堆積物
- tm 中位段丘堆積物
- Hwk 樋脇火砕流堆積物
- Bt 川内玄武岩1（溶岩）｝川内玄武岩類
- Yt 八重山火砕流堆積物
- YM 山之口層
- Vih 市比野玄武岩質火砕岩類｝北薩火山岩類Ⅴ
- Ns 中岳火砕流堆積物
- Vpx 輝石安山岩溶岩｝北薩火山岩類Ⅳ
- Ks 草木段火砕流堆積物
- Sn 川内火砕流堆積物
- KY 郡山層
- Kr 倉野火砕流堆積物
- Sm 鹿丸の口火砕流堆積物
- KN 観音ヶ池層
- da 岩屑なだれ堆積物
- Ns 野下火砕流堆積物
- Mt 松比良火砕流堆積物
- Kk 桑木野火砕流堆積物
- Kw 川上火砕流堆積物
- Ak2 阿久根2火砕流堆積物
- Kb 久保野火砕流堆積物
- Fn 舟川火砕流堆積物
- Mn 百次火砕流堆積物
- Ur 浦田火砕流堆積物
- Hpx 輝石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅱ
- Ht 火山・凝灰角礫岩
- Fr 二俣川火砕流堆積物
- dy 岩脈
- Hho 角閃石安山岩溶岩 ｝北薩火山岩類Ⅰ
- Ipx 輝石安山岩溶岩
- Qp 変質安山岩～石英斑岩
- MG 馬込礫岩層
- Gt-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 14 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層（破線は推定，点線は伏在）
- A A' 断面線位置及び番号
- 200 反射法地震探査解析測線（数字は CMP 番号）
- 詳細図範囲

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図（羽島・川内・塔之原・荒川浜・串木野・薩摩郡山）を使用したものである。

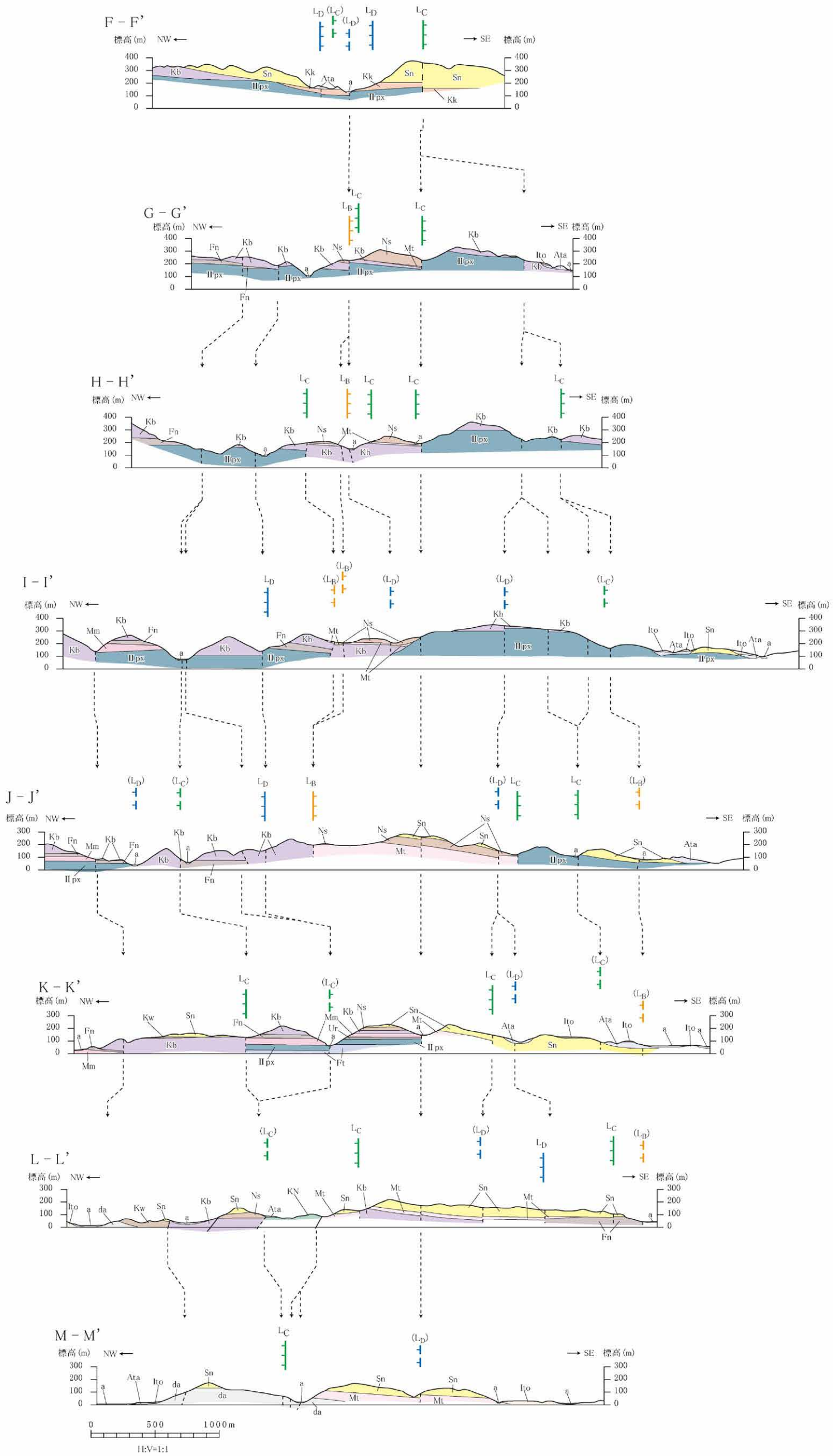
500m 0 500 1000 1500

第1.2-74図　市来断層系周辺（五反田川断層含む）の地質図



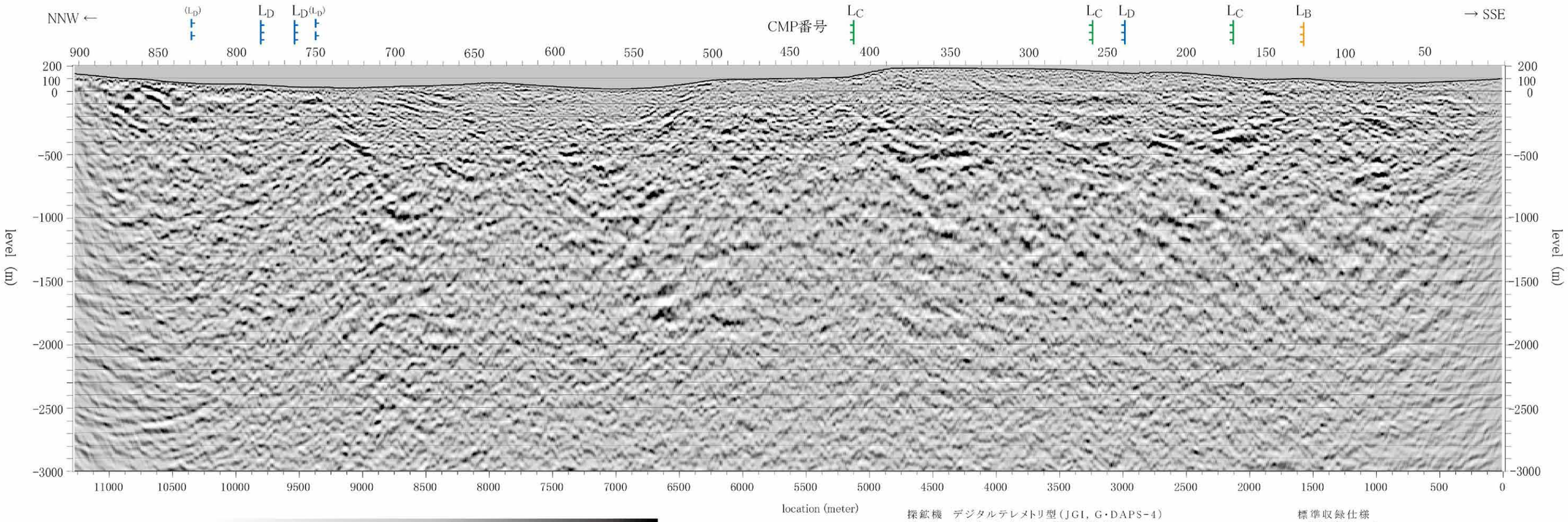

(注)凡例は、第 1.2-74 図を参照。

第1.2-75図　五反田川断層周辺の地質断面図



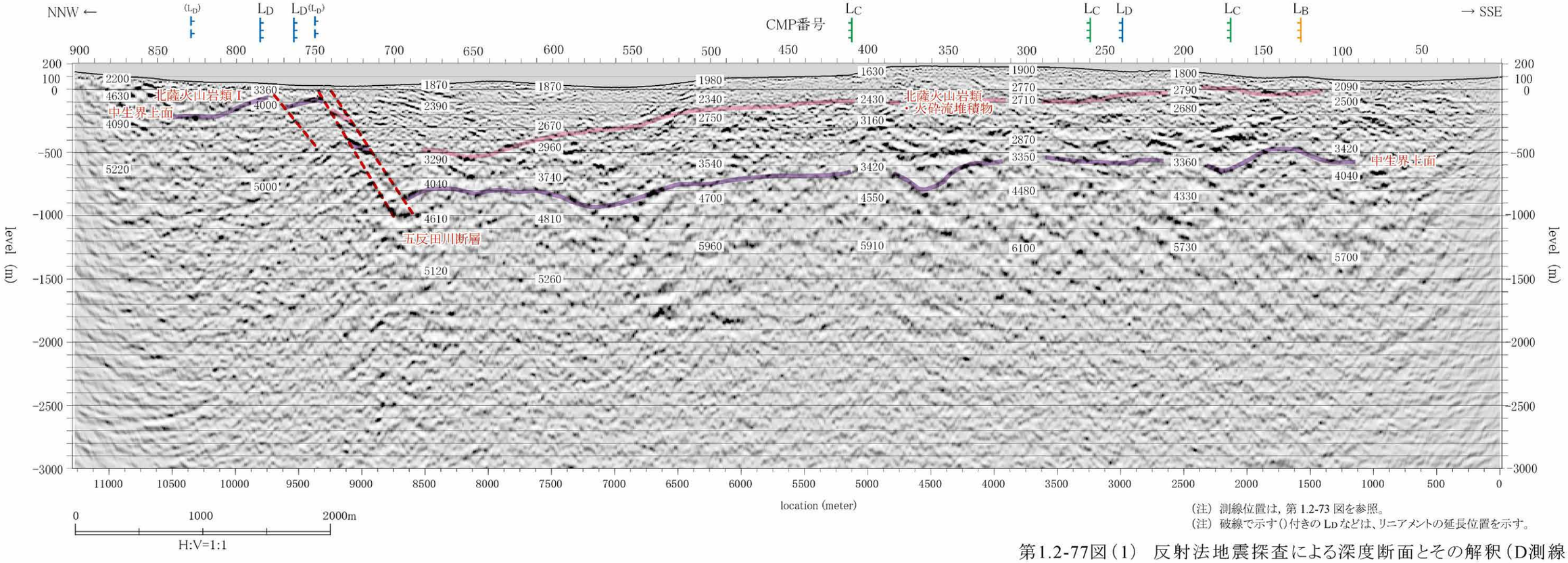

（注）凡例は、第 1.2-74 図を参照。
（注）破線で示す（）付きの $L_D$ などは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-76図　市来断層系周辺の地質断面図



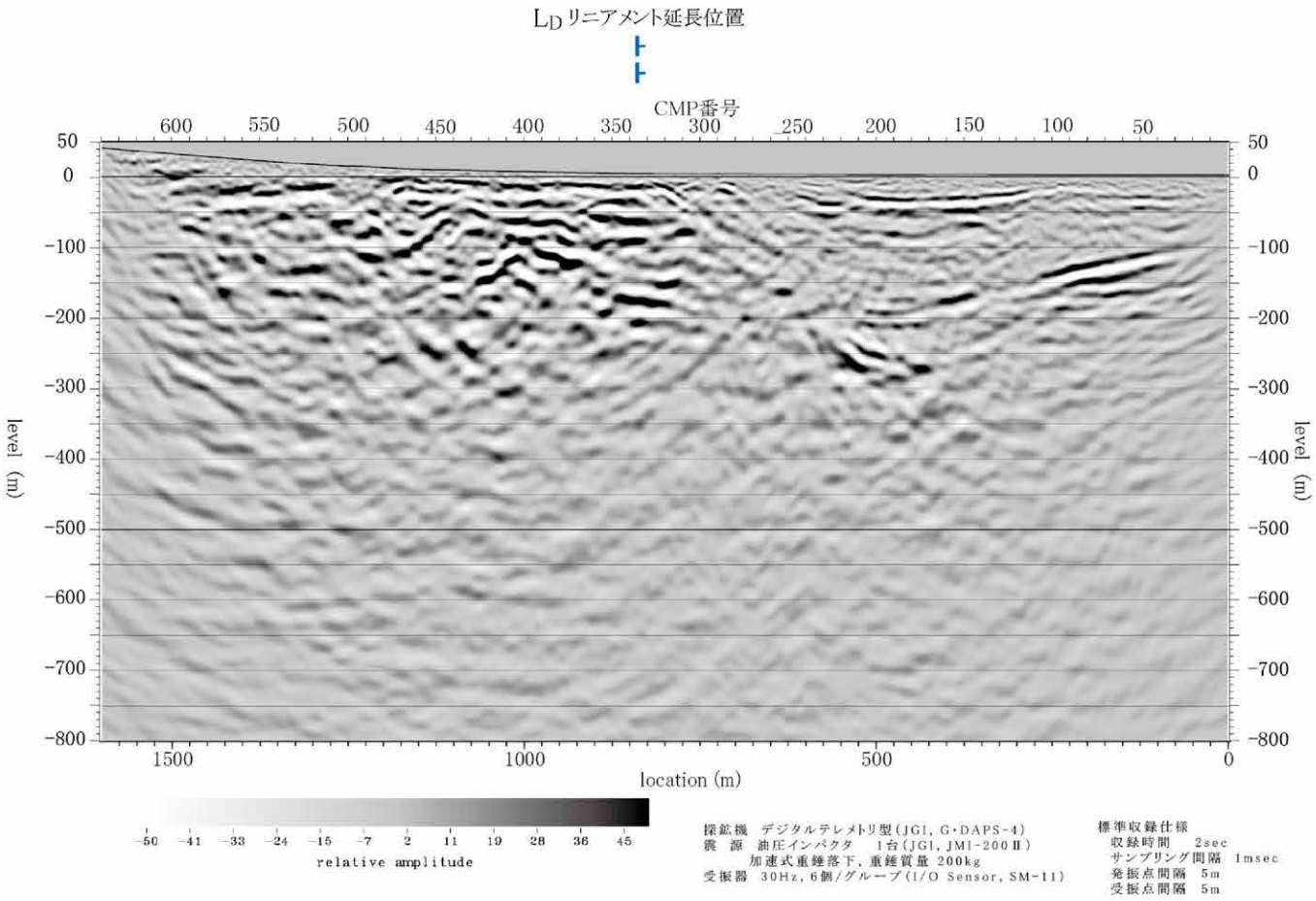

探鉱機　デジタルテレメトリ型（JGI, G・DAPS-4）
震　源　バイブロサイス 2台（IVI, Y2400）
スウィープ周波数 8～80Hz
油圧インパクタ　（補助震源）1台（JGI, JMI-200Ⅱ）
加速式重錘落下，重錘質量 200kg
受振器　10Hz，9個/グループ（I/O Sensor, SM-7）

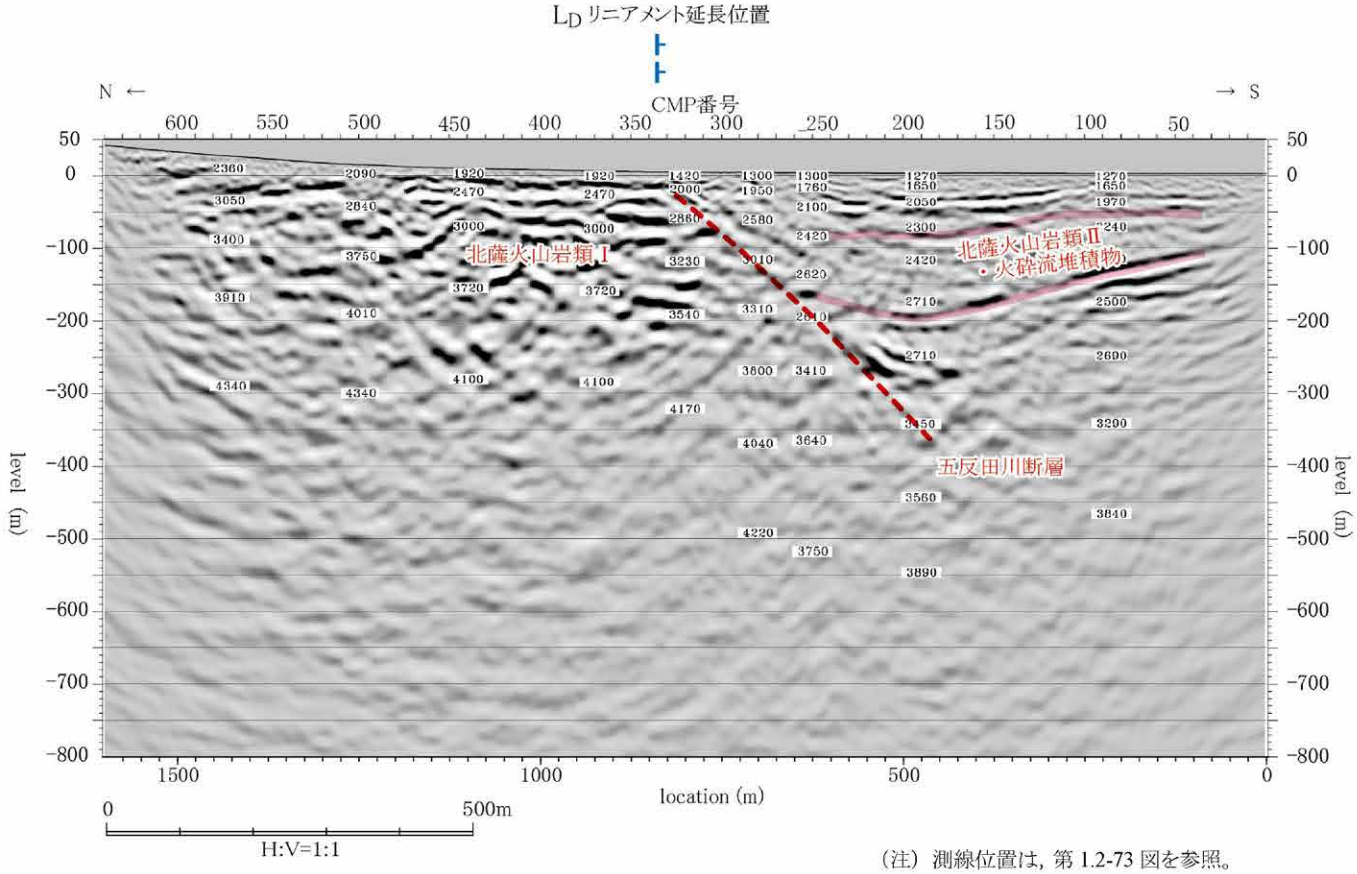
標準収録仕様
収録時間　4sec
サンプリング間隔　2msec
発振点間隔　25m
受振点間隔　25m




（注）測線位置は，第 1.2-73 図を参照。
（注）破線で示す（）付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

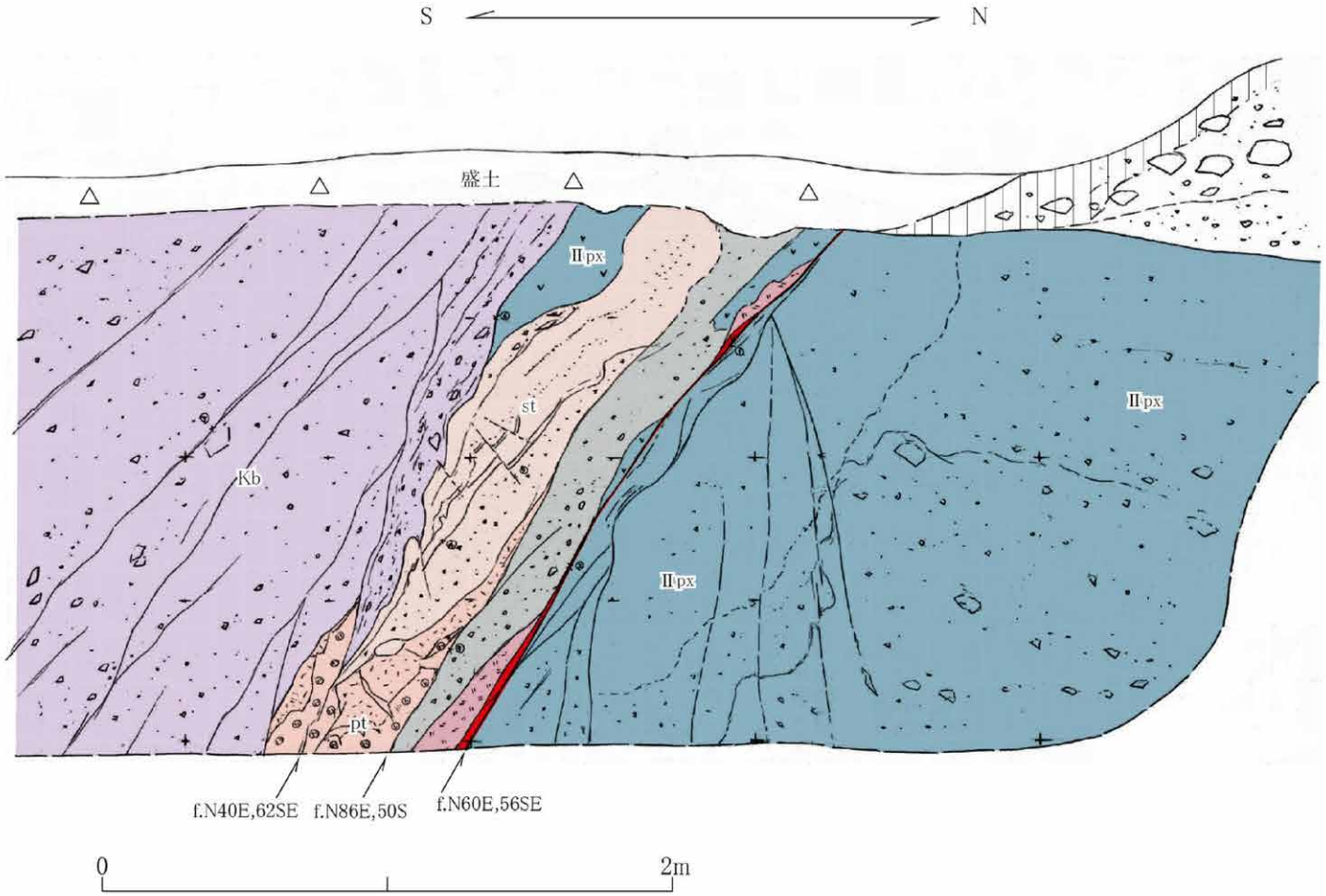
第1.2-77図（1）　反射法地震探査による深度断面とその解釈（D測線）




（注）測線位置は，第 1.2-73 図を参照。

第1.2-77図（2）　反射法地震探査による深度断面とその解釈（e測線）




南側の久保野火砕流堆積物と北側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）とを境する正断層。

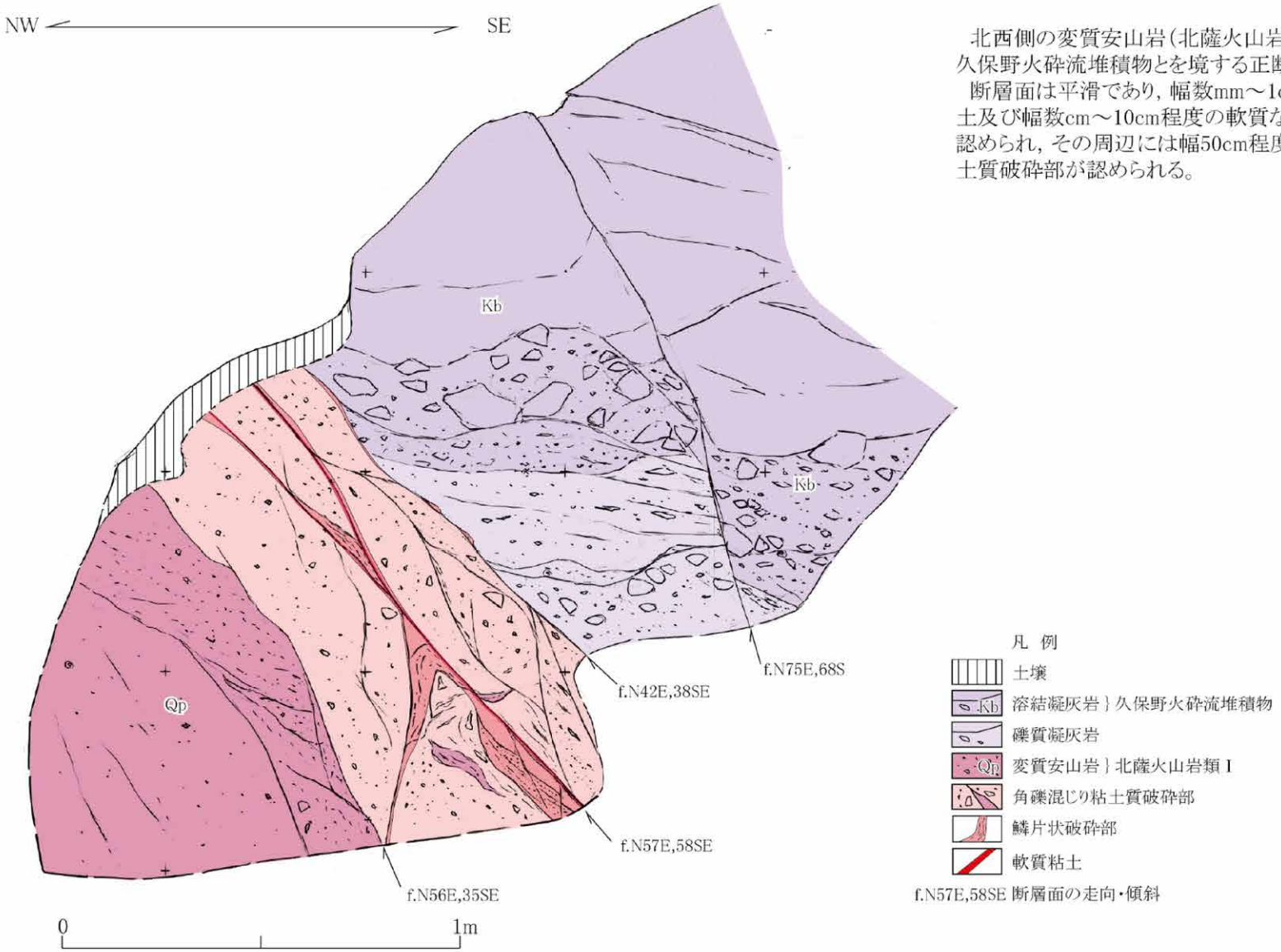
断層面は緩く湾曲するものの，平滑であり，幅数mm～2cm程度の軟質粘土が認められる。断層面上盤側には角礫状破砕部及び安山岩溶岩，凝灰岩などの擾乱部が認められる。

凡例

- 暗褐色土壌
- 旧河床礫層｝沖積層
- Kb 溶結凝灰岩｝久保野火砕流堆積物
- st 砂質凝灰岩
- pt 軽石凝灰岩
- 凝灰岩
- IIpx 輝石安山岩溶岩｝北薩火山岩類Ⅱ
- 角礫状破砕部
- 軟質粘土

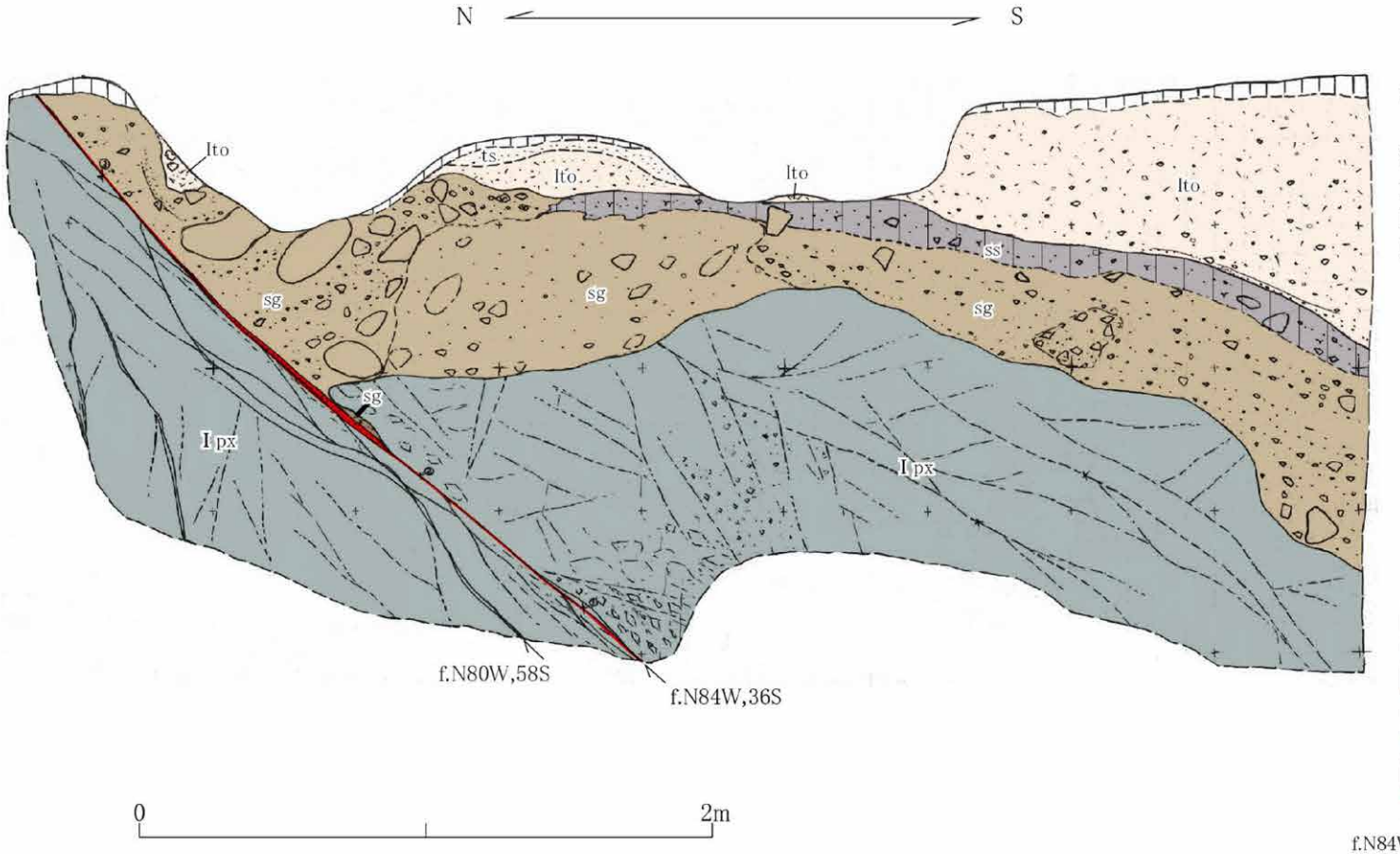
f.N86E,50S 断層面の走向・傾斜

第1.2-78図（1） 露頭スケッチ（Loc.Gt-1，薩摩川内市野下）




北西側の変質安山岩（北薩火山岩類Ⅰ）と南東側の久保野火砕流堆積物とを境する正断層。
断層面は平滑であり，幅数mm～1cm程度の軟質粘土及び幅数cm～10cm程度の軟質な鱗片状破砕部が認められ，その周辺には幅50cm程度の角礫混じり粘土質破砕部が認められる。

第1.2-78図（2） 露頭スケッチ（Loc.Gt-2，いちき串木野市八牟礼）



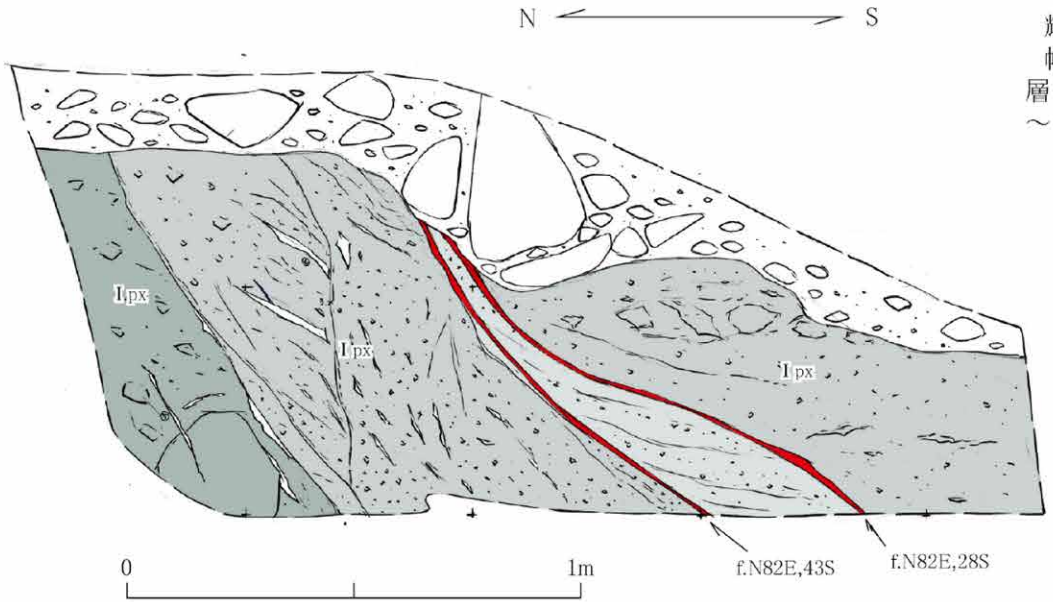

輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅰ）中の断層。

断層面は平滑であり，顕著な破砕は認められないものの，幅数 mm ～ 1cm 程度の軟質粘土が認められる。同断層は古期崖錐堆積物に鉛直 1m 以上の南落ちの変位を与えている。

凡例

- 茶褐色土壌
- ts 凝灰質砂層 } 入戸火砕流二次堆積物
- lto 軽石流堆積物 } 入戸火砕流堆積物
- ss シルト質黒色土壌 } 埋没土壌
- sg シルト質礫層 } 古期崖錐堆積物
- I px 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅰ
- 軟質粘土
- f.N84W,36S 断層面の走向・傾斜

第1.2-78図（3） 露頭スケッチ（Loc.Gt-3，いちき串木野市上名）



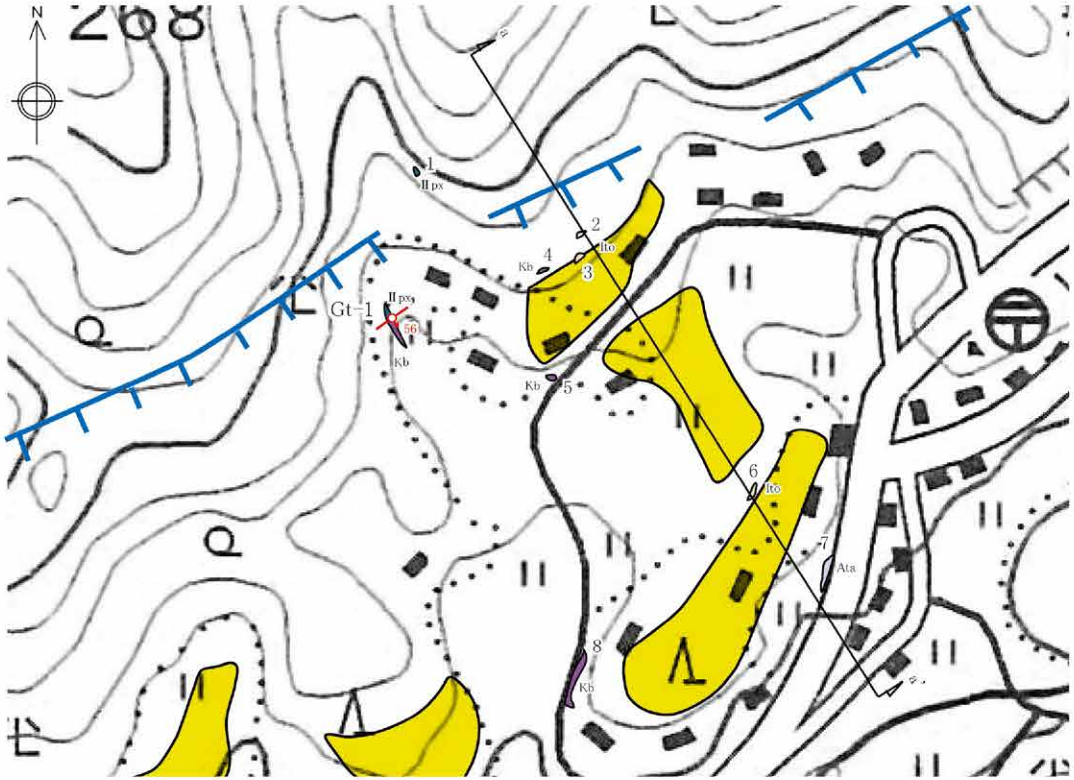

輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅰ）中の断層。
幅20cm程度の粘土質角礫破砕部を挟んでその両側に断層面が認められる。いずれの断層面も平滑であり，幅数mm～1cm程度の軟質粘土が認められる。

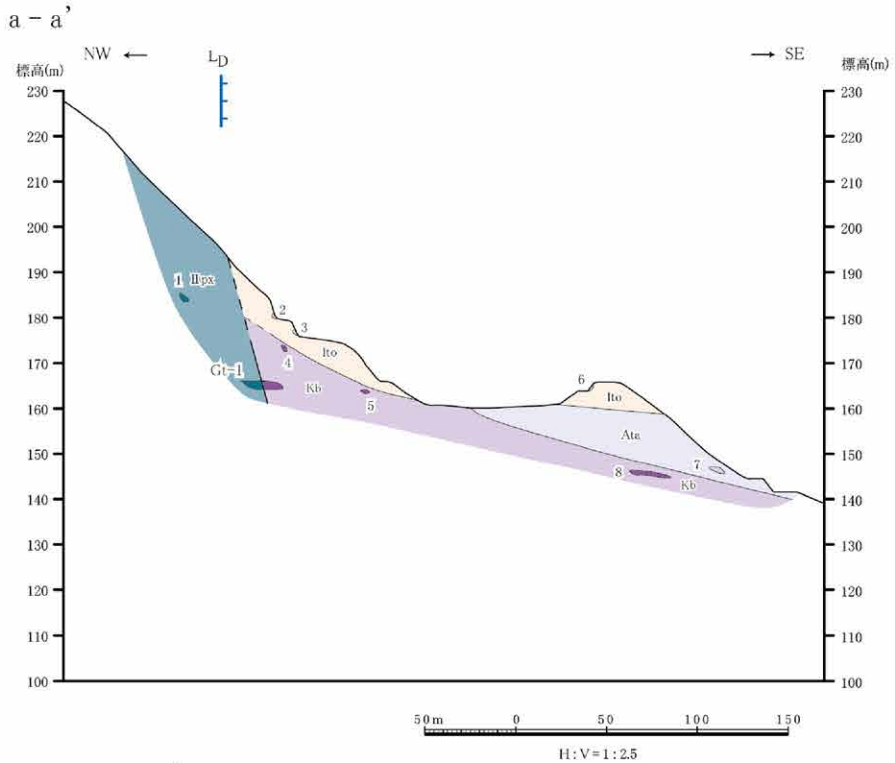
凡 例

- 旧河床礫層｝沖積層
- 石英脈
- I px 輝石安山岩溶岩
- I px 角礫状安山岩溶岩
- 北薩火山岩類Ⅰ
- 粘土質角礫破砕部
- 軟質粘土

f.N82E,43S　断層面の走向・傾斜

第1.2-78図（4）　露頭スケッチ（Loc.Gt-4，いちき串木野市河内）




この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(串木野)を使用したものである。

地形面凡例

入戸火砕流堆積面

リニアメント凡例

$L_D$ リニアメント
(短線は低下側を示す。)

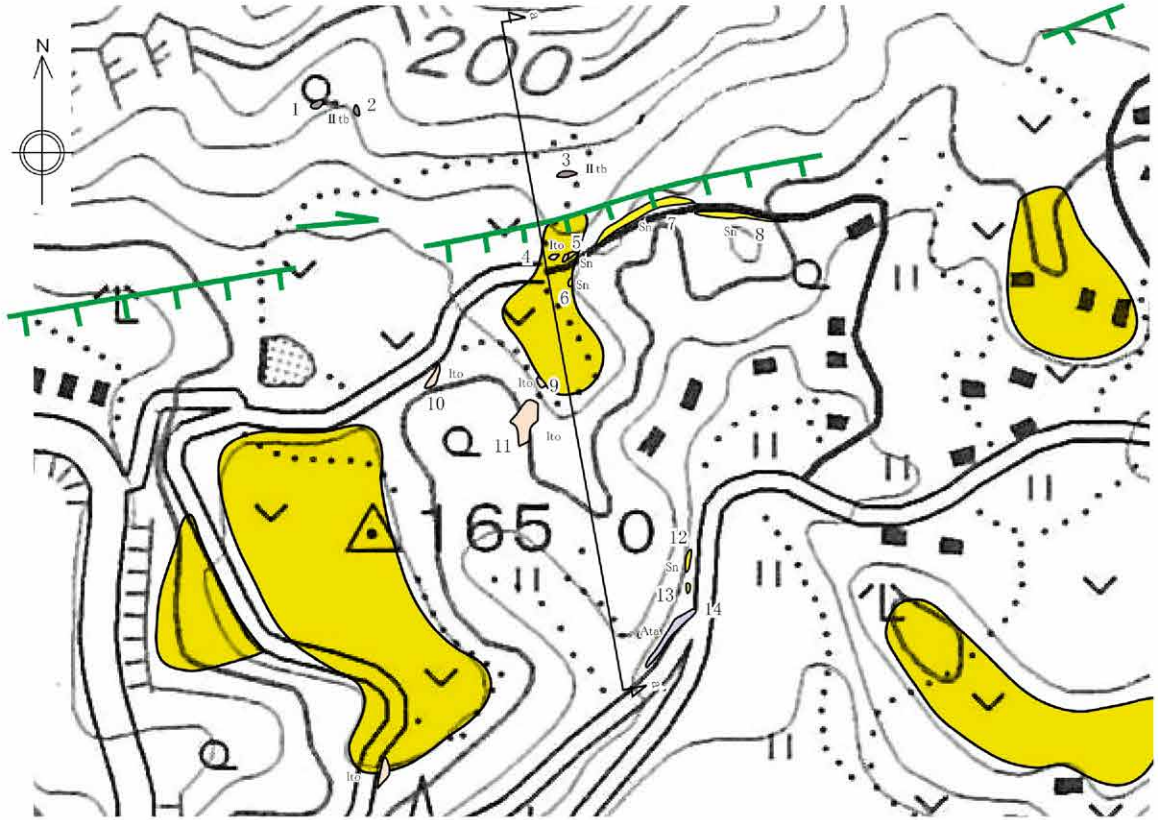
露頭凡例

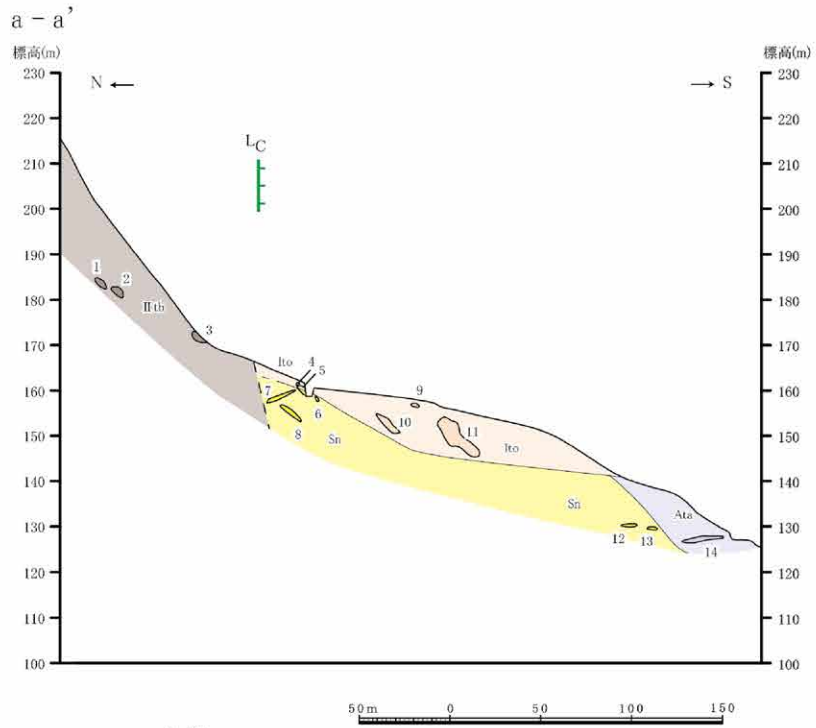
露頭位置及び露頭番号
Ito 入戸火砕流堆積物
Ata 阿多火砕流堆積物
Kb 久保野火砕流堆積物
II px 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
断層面の走向・傾斜
地質断面線位置

凡 例

Ito 入戸火砕流堆積物
Ata 阿多火砕流堆積物
Kb 久保野火砕流堆積物
II px 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
断 層
推定断層
投影露頭位置及び露頭番号

第1.2-79図（1） ルートマップ・地質断面図（薩摩川内市野下付近）




50m 0 50 100 150

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(串木野)を使用したものである。

地形面凡例

入戸火砕流堆積面

リニアメント凡例

$L_C$リニアメント

（短線は低下側を，矢印の方向は横ずれの方向を示す。）

露頭凡例

露頭位置及び露頭番号

Ito 入戸火砕流堆積物

Ata 阿多火砕流堆積物

Sn 川内火砕流堆積物

Kb 久保野火砕流堆積物

Ⅱtb 火山・凝灰角礫岩｝北薩火山岩類Ⅱ

a 4 a' 地質断面線位置

凡 例

Ito 入戸火砕流堆積物

Ata 阿多火砕流堆積物

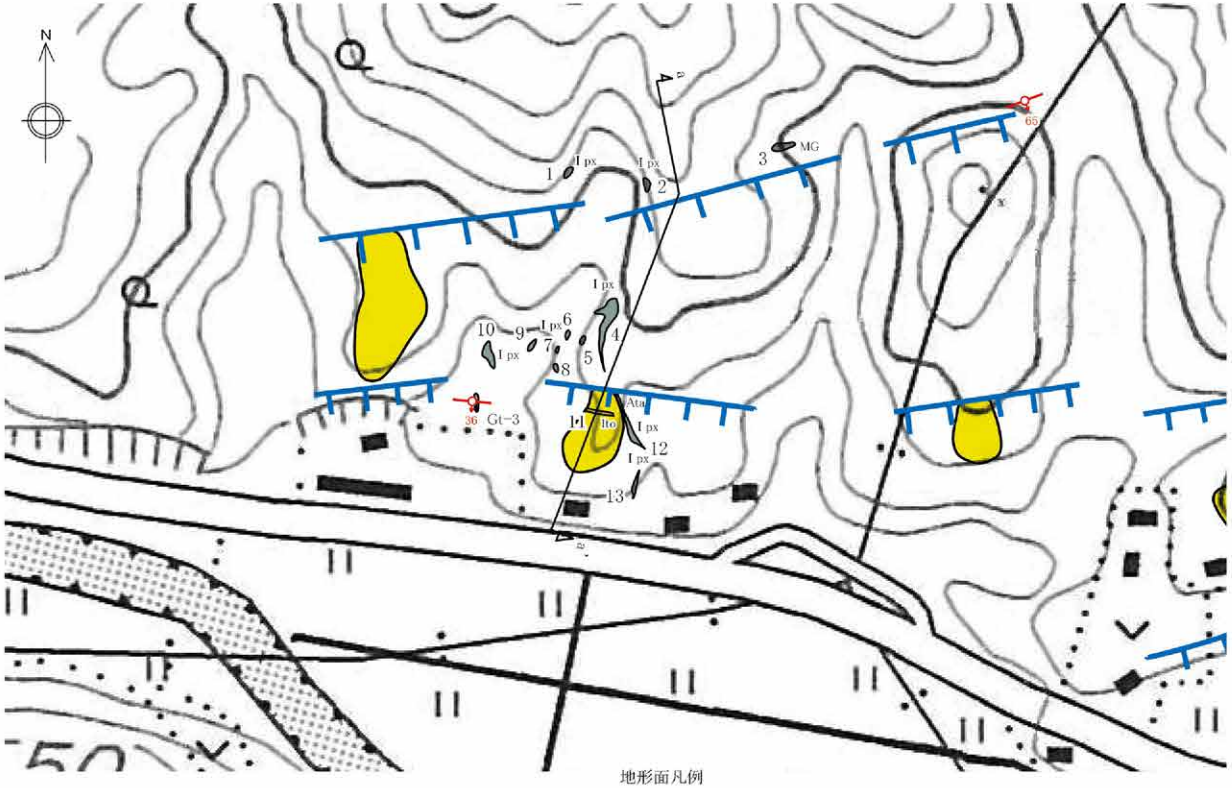
Sn 川内火砕流堆積物

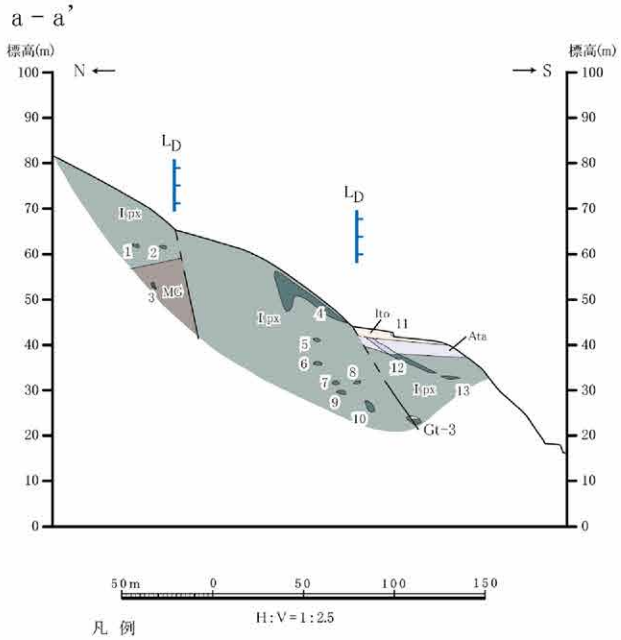
Ⅱtb 火山・凝灰角礫岩｝北薩火山岩類Ⅱ

－ － － 推定断層

投影露頭位置及び露頭番号

第1.2-79図（2） ルートマップ・地質断面図（いちき串木野市岩下付近）




50m 0 50 100 150

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(串木野)を使用したものである。

地形面凡例

入戸火砕流堆積面

リニアメント凡例

$L_D$リニアメント
(短線は低下側を示す。)

露頭凡例

露頭位置及び露頭番号

Ito 入戸火砕流堆積物

Ata 阿多火砕流堆積物

Ipx 輝石安山岩溶岩
MG 馬込礫岩
} 北薩火山岩類Ⅰ

断層面の走向・傾斜

地質断面線位置

凡 例

Ito 入戸火砕流堆積物

Ata 阿多火砕流堆積物

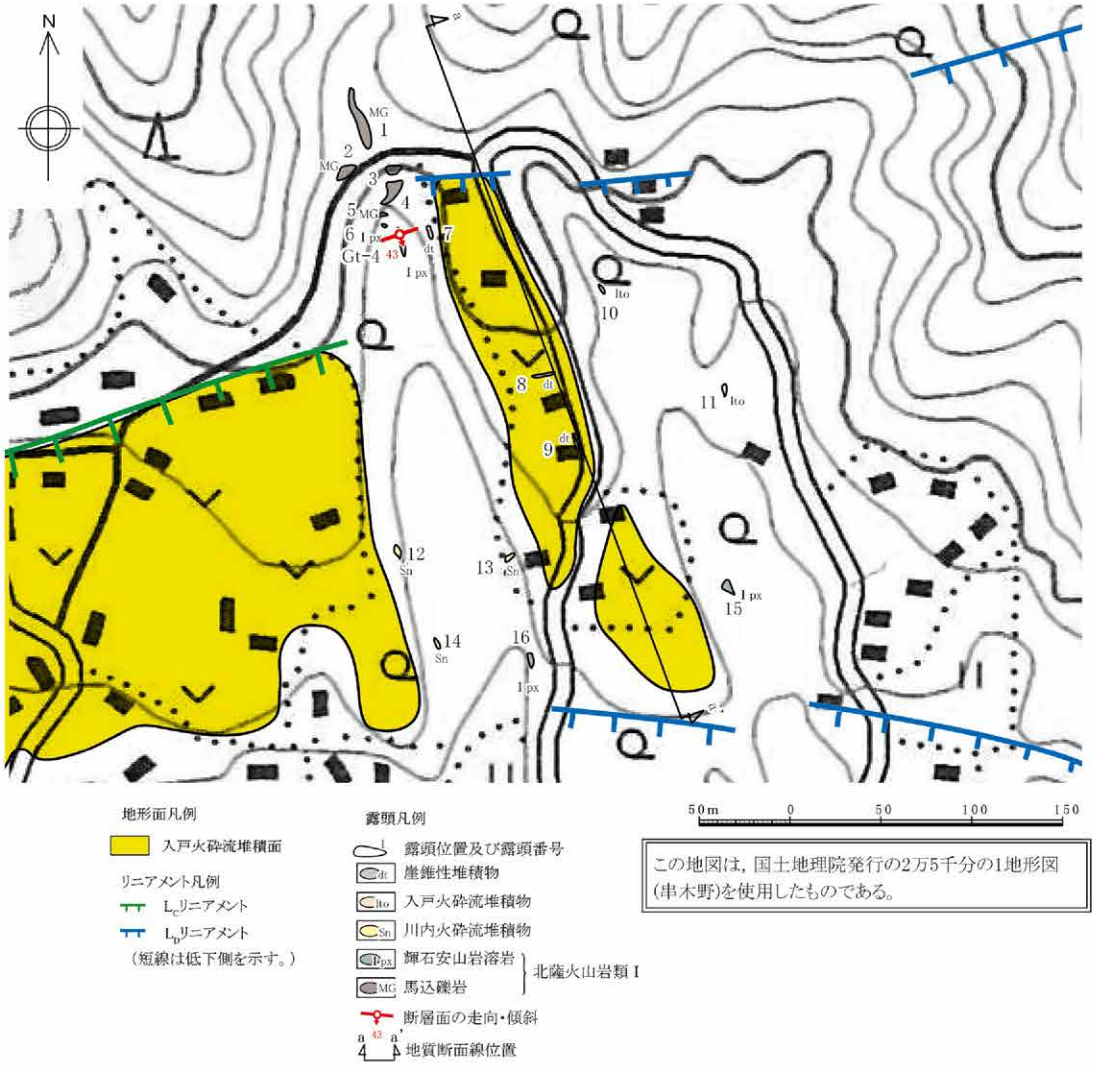
Ipx 輝石安山岩溶岩
MG 馬込礫岩
} 北薩火山岩類Ⅰ

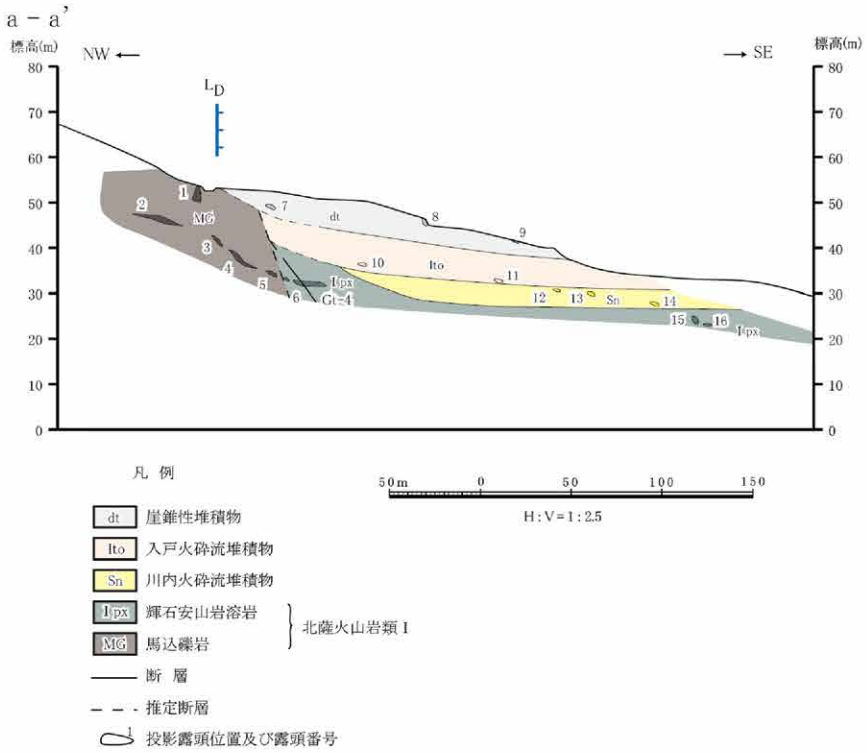
断 層

推定断層

投影露頭位置及び露頭番号

第1.2-79図(3) ルートマップ・地質断面図(いちき串木野市馬込付近)



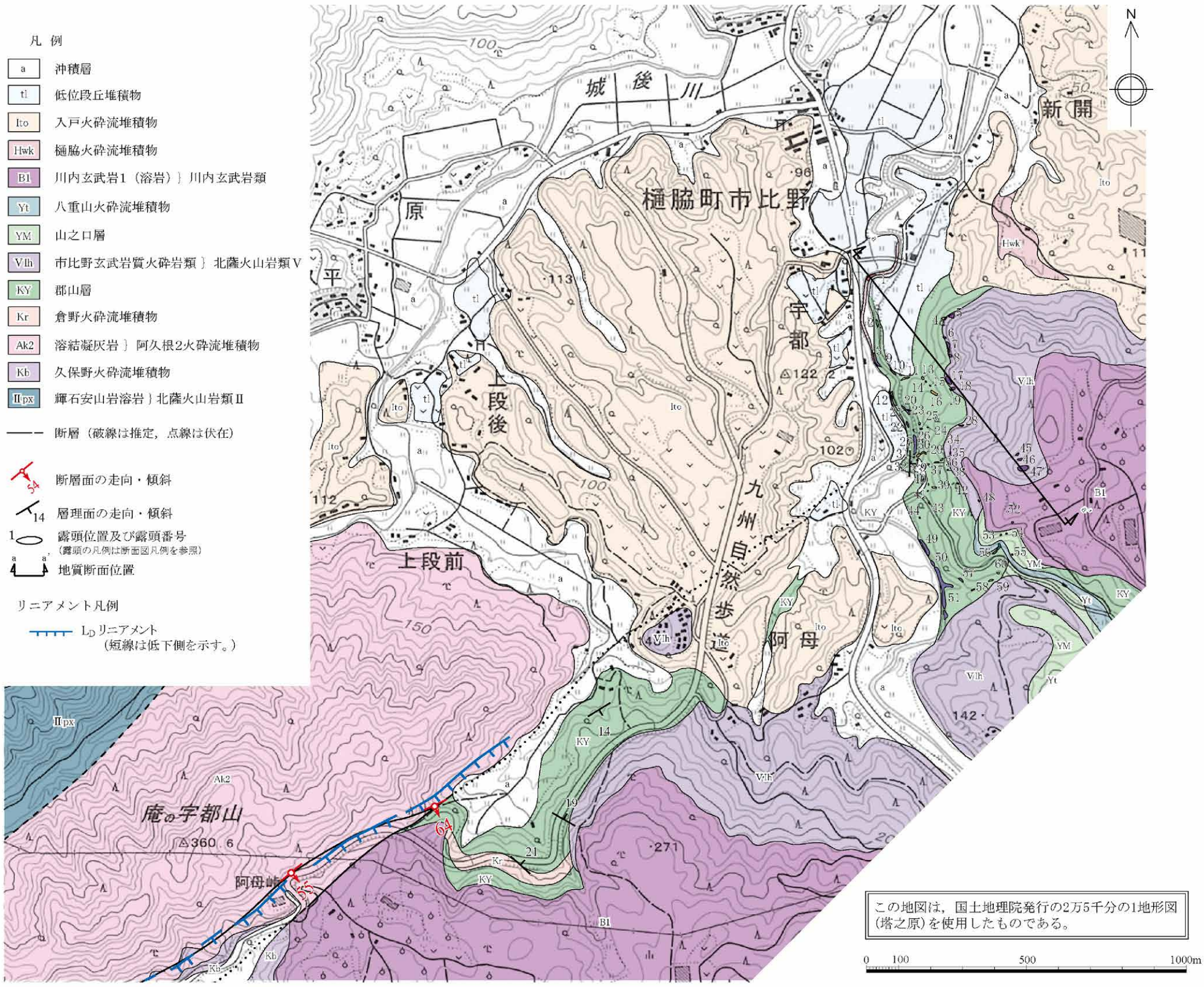

第1.2-79図（4） ルートマップ・地質断面図（いちき串木野市河内付近）

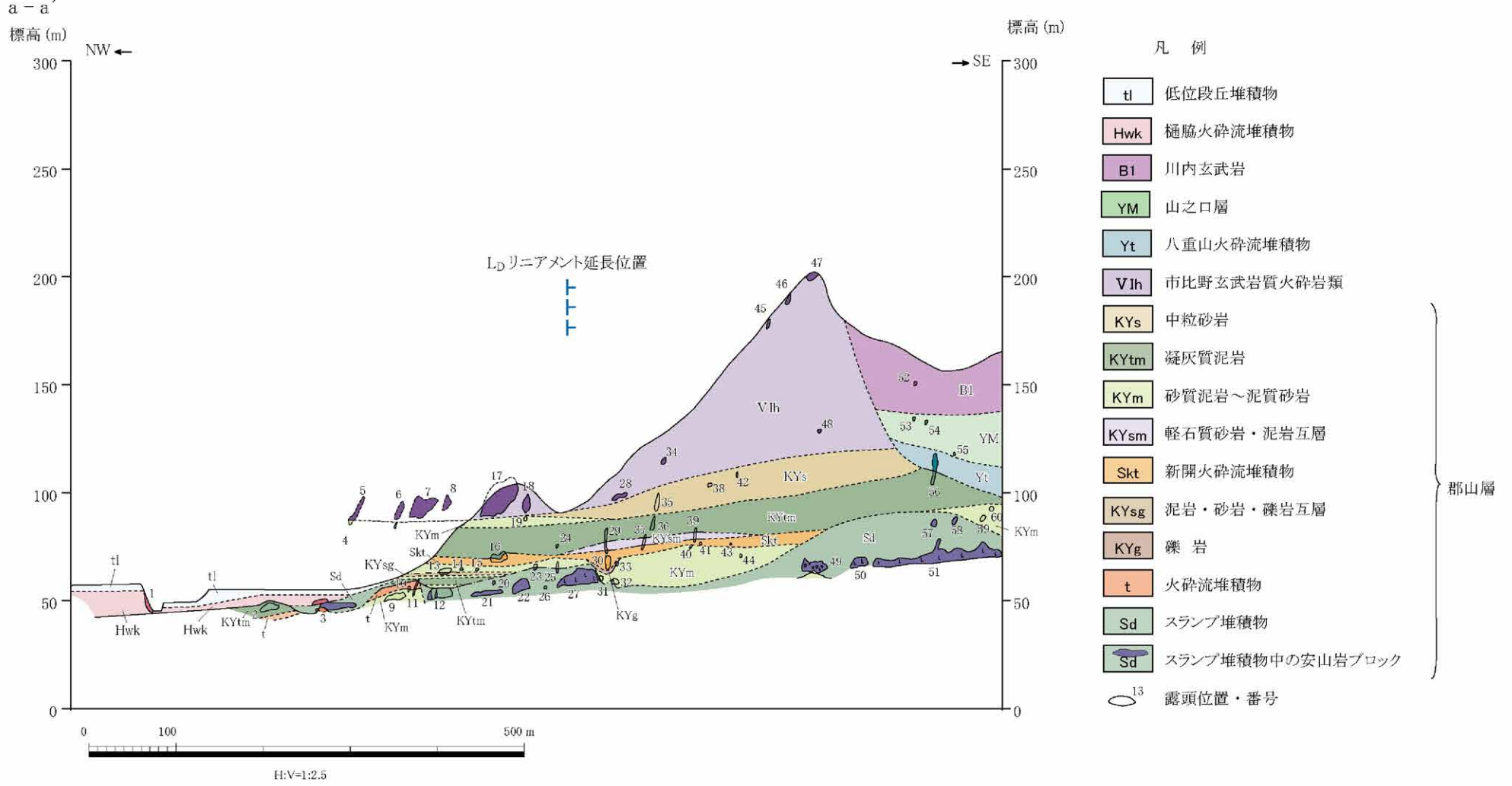
凡 例

- a　沖積層
- tl　低位段丘堆積物
- Ito　入戸火砕流堆積物
- Hwk　樋脇火砕流堆積物
- B1　川内玄武岩1（溶岩）〕川内玄武岩類
- Yt　八重山火砕流堆積物
- YM　山之口層
- VIh　市比野玄武岩質火砕岩類〕北薩火山岩類Ⅴ
- KY　郡山層
- Kr　倉野火砕流堆積物
- Ak2　溶結凝灰岩〕阿久根2火砕流堆積物
- Kb　久保野火砕流堆積物
- IIpx　輝石安山岩溶岩〕北薩火山岩類Ⅱ
- 断層（破線は推定，点線は伏在）
- 断層面の走向・傾斜
- 層理面の走向・傾斜
- 露頭位置及び露頭番号（露頭の凡例は断面図凡例を参照）
- 地質断面位置

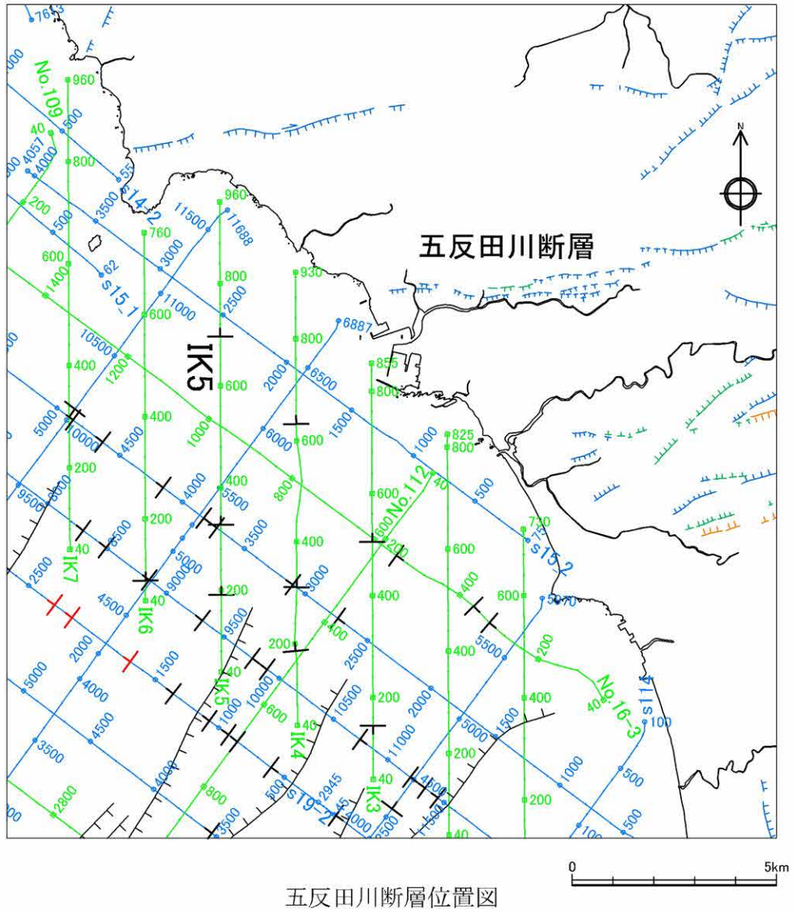
リニアメント凡例

- $L_D$ リニアメント（短線は低下側を示す。）

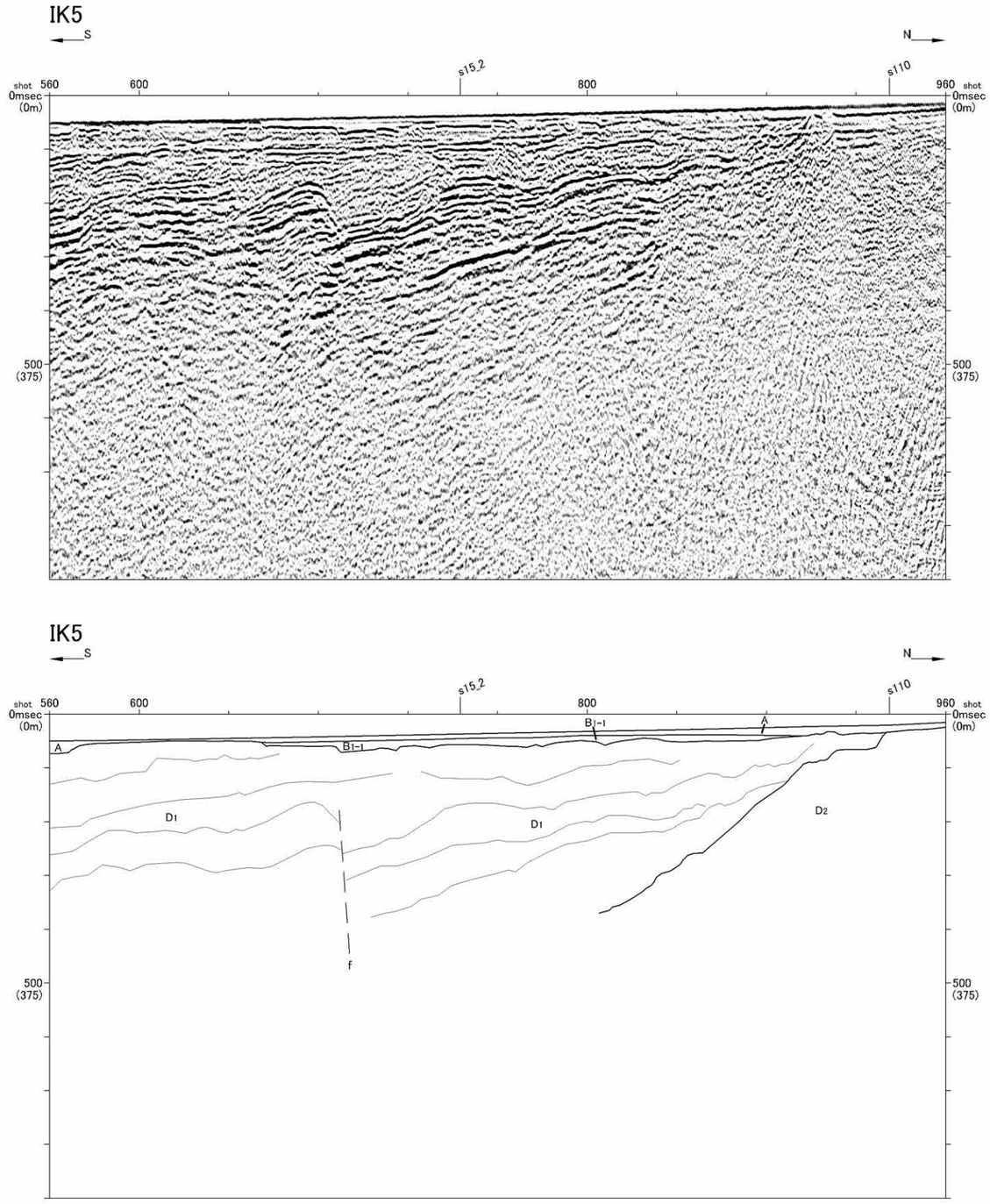



第1.2-80図　ルートマップ・地質断面図（薩摩川内市阿母付近）



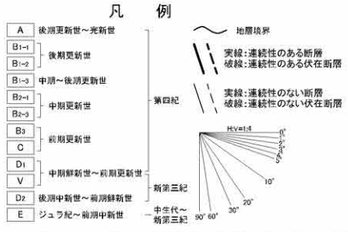

五反田川断層位置図




音波探査記録断面図

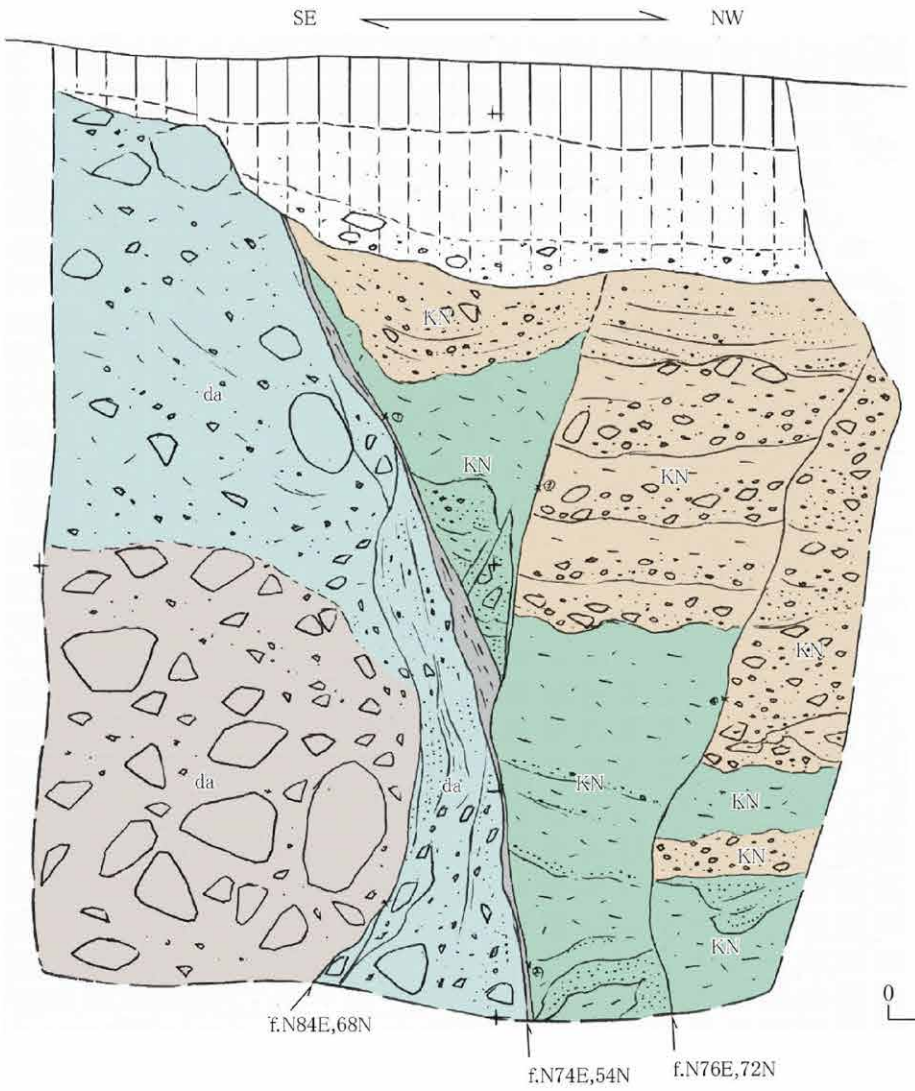
## 凡　　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- $L_B$リニアメント
- $L_C$リニアメント
- $L_D$リニアメント




水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（鹿児島）を編集したものである。

第1.2-81図　五反田川断層海域延長部（IK5測線）




南東側の岩屑なだれ堆積物と北西側の観音ヶ池層とを境する正断層。

断層面は湾曲・凹凸し，連続する平滑な断層面は認められない。幅数 cm ～ 10cm 程度の砂・シルト擾乱部が認められるものの，固結している。

凡例

- 褐色土壌
- KN シルト質砂礫層
- KN 凝灰質砂・シルト層
- da 細～中礫角礫層
- da 大礫角礫層
- 砂・シルト擾乱部

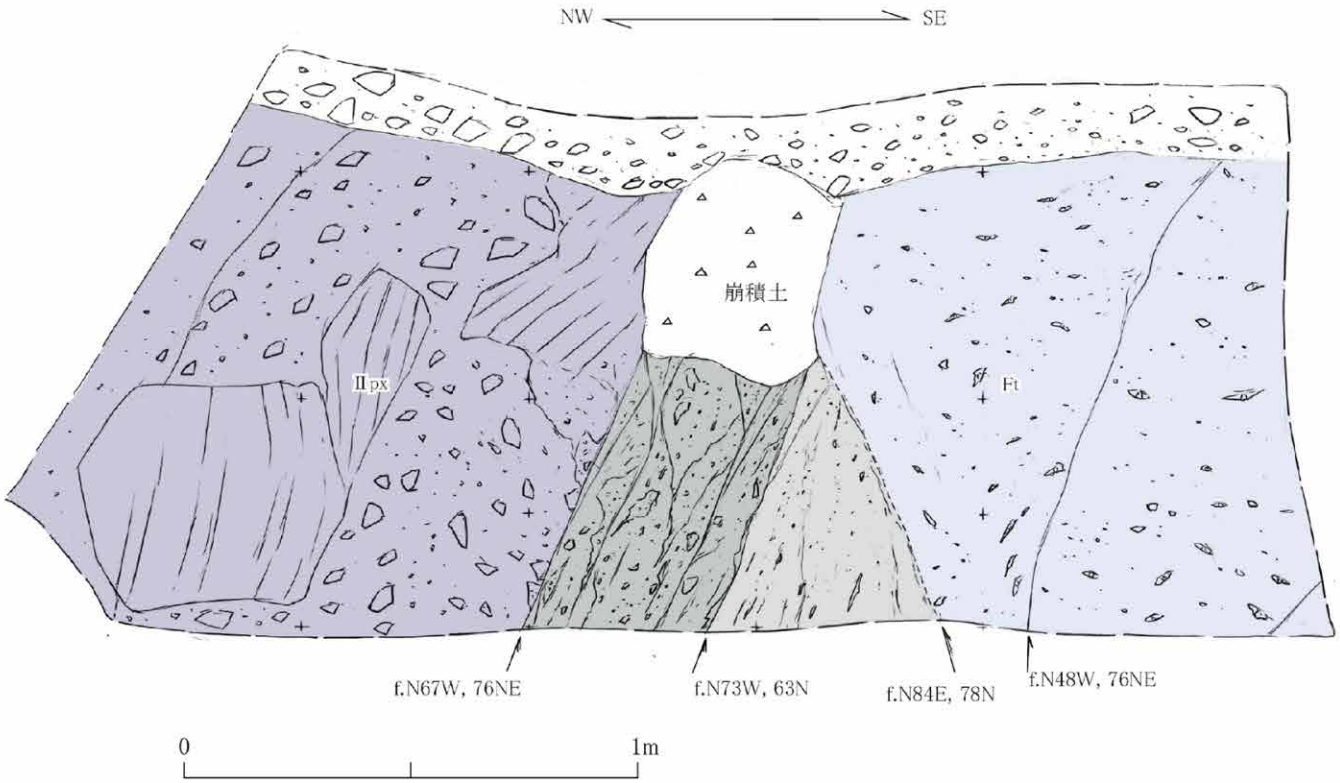
観音ヶ池層

岩屑なだれ堆積物

f.N74E,54N 断層面の走向・傾斜

0 1m

第1.2-82図（1） 露頭スケッチ（Loc.Ik-1，いちき串木野市観音ヶ池西方）



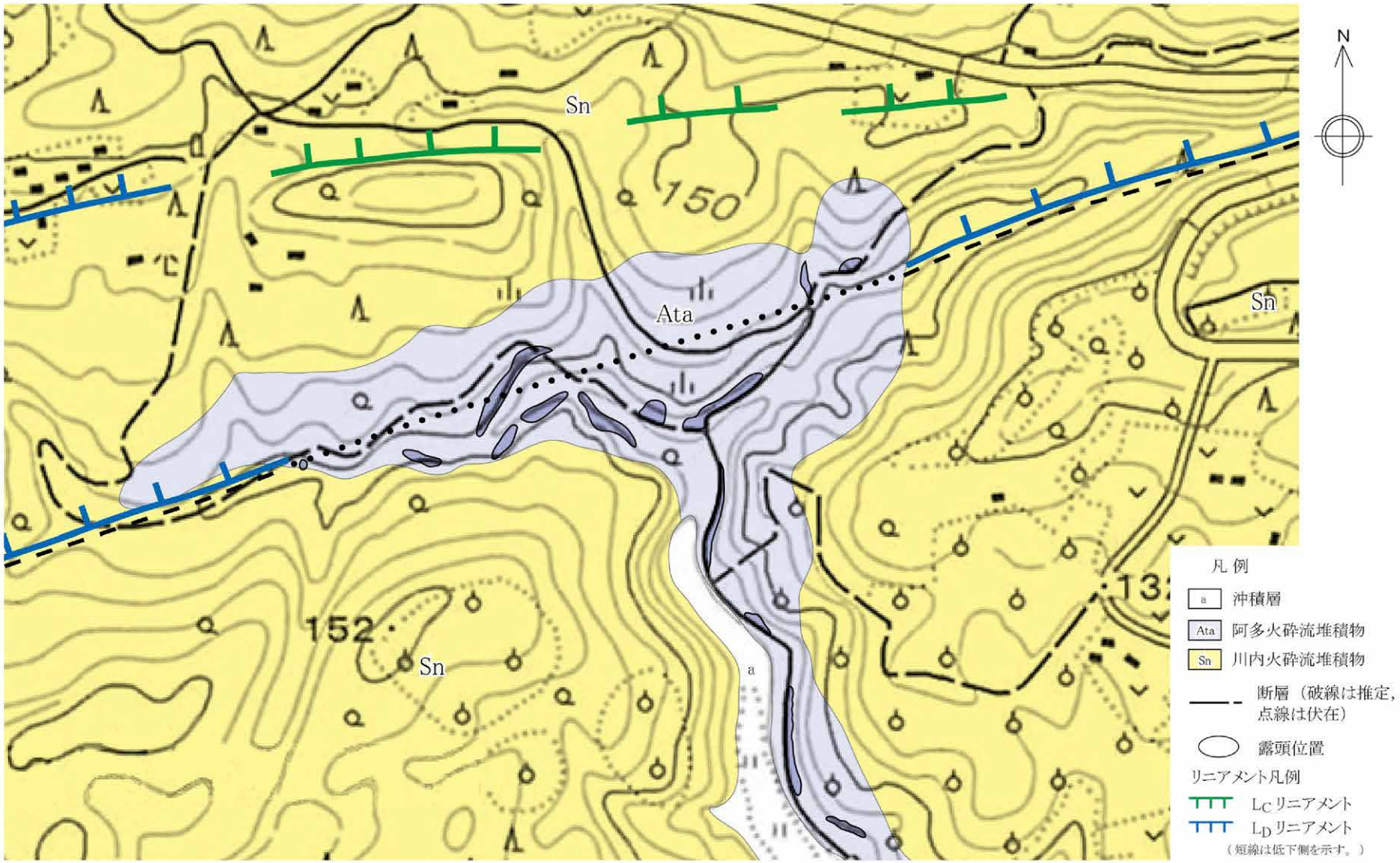

北西側の輝石安山岩自破砕溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と南東側の二俣川火砕流堆積物とを境する正断層。

断層面は一部で平滑であるが，細かく凹凸するところも多く，いずれも癒着しており，破砕部も固結している。

凡 例

- 旧河床礫層 } 沖積層
- IIpx 輝石安山岩自破砕溶岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
- Ft 弱溶結凝灰岩 } 二俣川火砕流堆積物
- 輝石安山岩溶岩角礫状破砕部
- 溶結凝灰岩角礫状破砕部
- f.N73W,63N 断層面の走向・傾斜

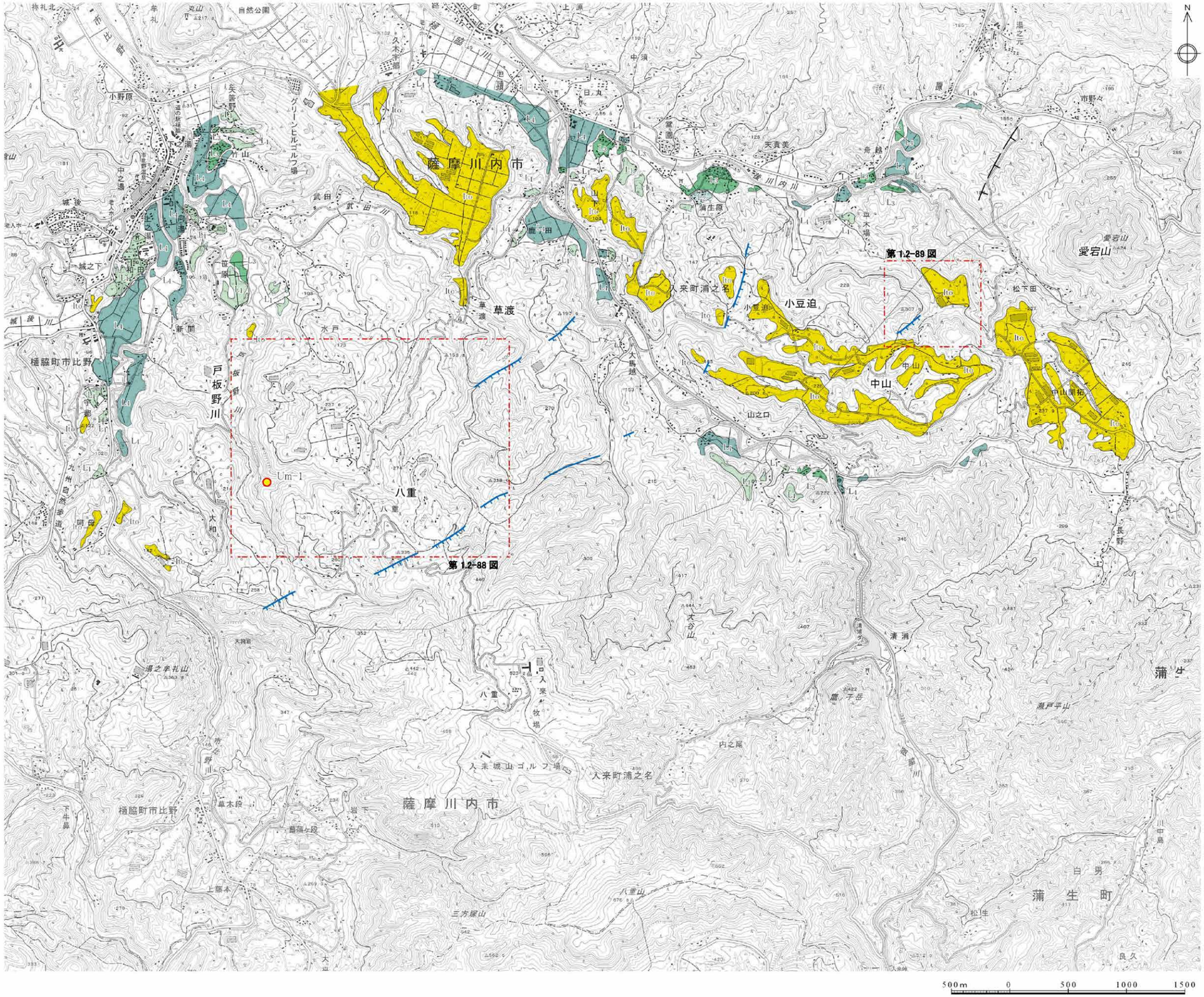
第1.2-82図（2） 露頭スケッチ（Loc.Ik-2，いちき串木野市松比良南西）




この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(串木野)を使用したものである。

（注）推定断層はリニアメントを通過するが，推定断層の位置を明確にするために，リニアメントと平行するように表示している。

第1.2-83図　ルートマップ（日置市皆田西北方付近）




地形面凡例

- $L_4$ $L_4$ 面
- $L_3$ $L_3$ 面
- $L_2$ $L_2$ 面
- Ito 入戸火砕流堆積面
- $L_1$ $L_1$ 面

リニアメント凡例

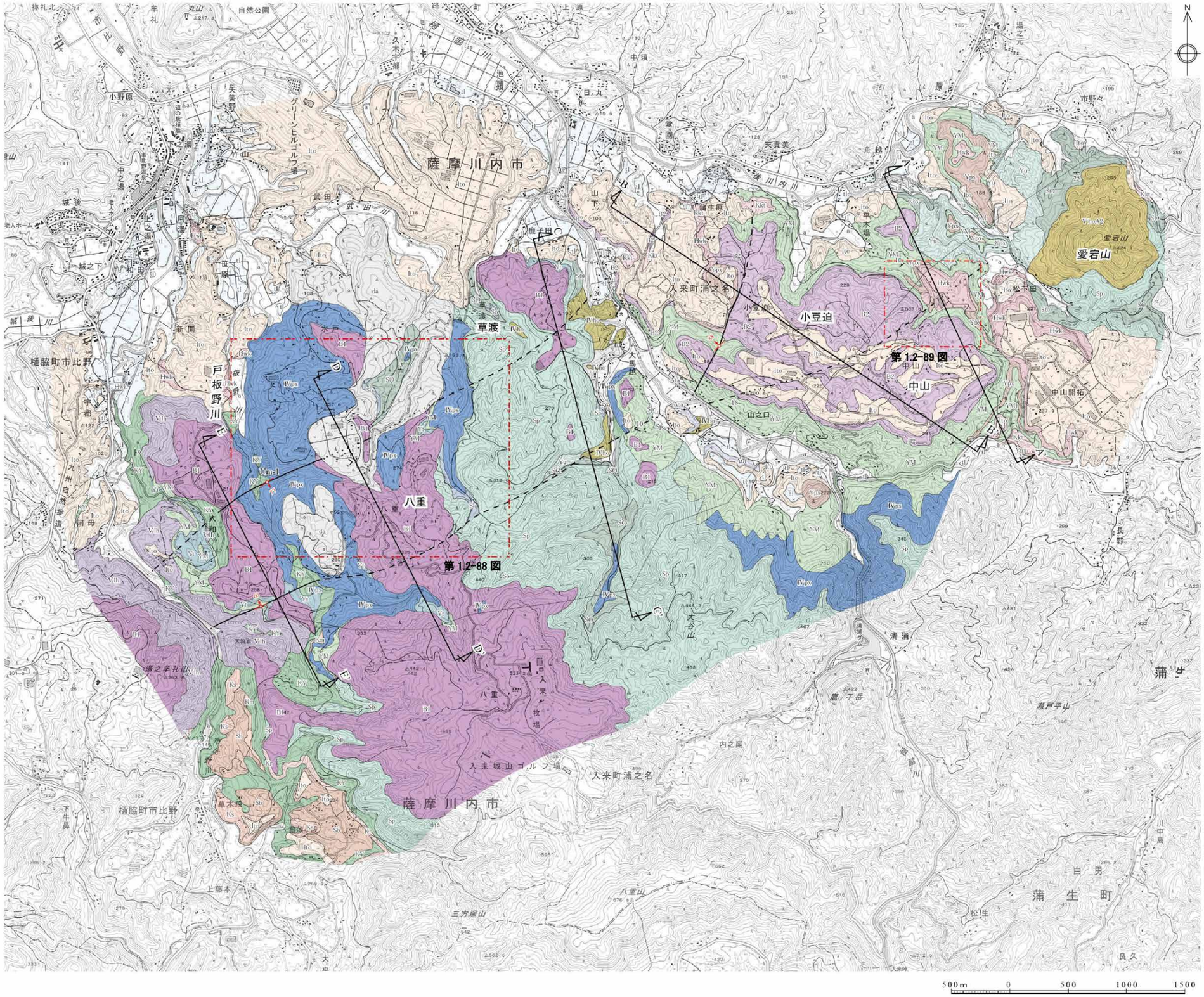
- $L_D$ リニアメント

(短線は低下側を，短線のないものは両側で高度差がないものを示す。)

- 「九州の活構造」(1989) による愛宕山西方断層
- 詳細図範囲
- Um-1 露頭位置及び露頭番号

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原・薩摩郡山)を使用したものである。

第1.2-84図　浦之名断層系周辺の空中写真判読図




凡　例

- a　沖積層
- tl　低位段丘堆積物
- Ito　入戸火砕流堆積物
- Ata　阿多火砕流堆積物
- Kkt　加久籐火砕流堆積物
- Hwk　樋脇火砕流堆積物
- da　岩屑なだれ堆積物
- B2　川内玄武岩2（溶岩）
- B1　川内玄武岩1（溶岩）
  - 川内玄武岩類
- Yt　八重山火砕流堆積物
- Ypx　輝石安山岩溶岩
- YM　山之口層
- VIIoA2　愛宕山角閃石安山岩溶岩
- VIIb　市比野玄武岩質火砕岩類
  - 北薩火山岩類Ⅴ
- Sp　三方塚山火砕流堆積物
- Yu　湯之元火砕流堆積物
- Sc　草渡火砕流堆積物
- SO　草渡層
- IVpx　輝石安山岩溶岩
- IVIto　角閃石安山岩溶岩
  - 北薩火山岩類Ⅳ
- Ks　草木段火砕流堆積物
- Km　楠元火砕流堆積物
- Sh　菖蒲ヶ段火砕流堆積物
- Ky　郡山層
- Kr　倉野火砕流堆積物

Um-1　断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号

14　層理面の走向・傾斜

地質境界

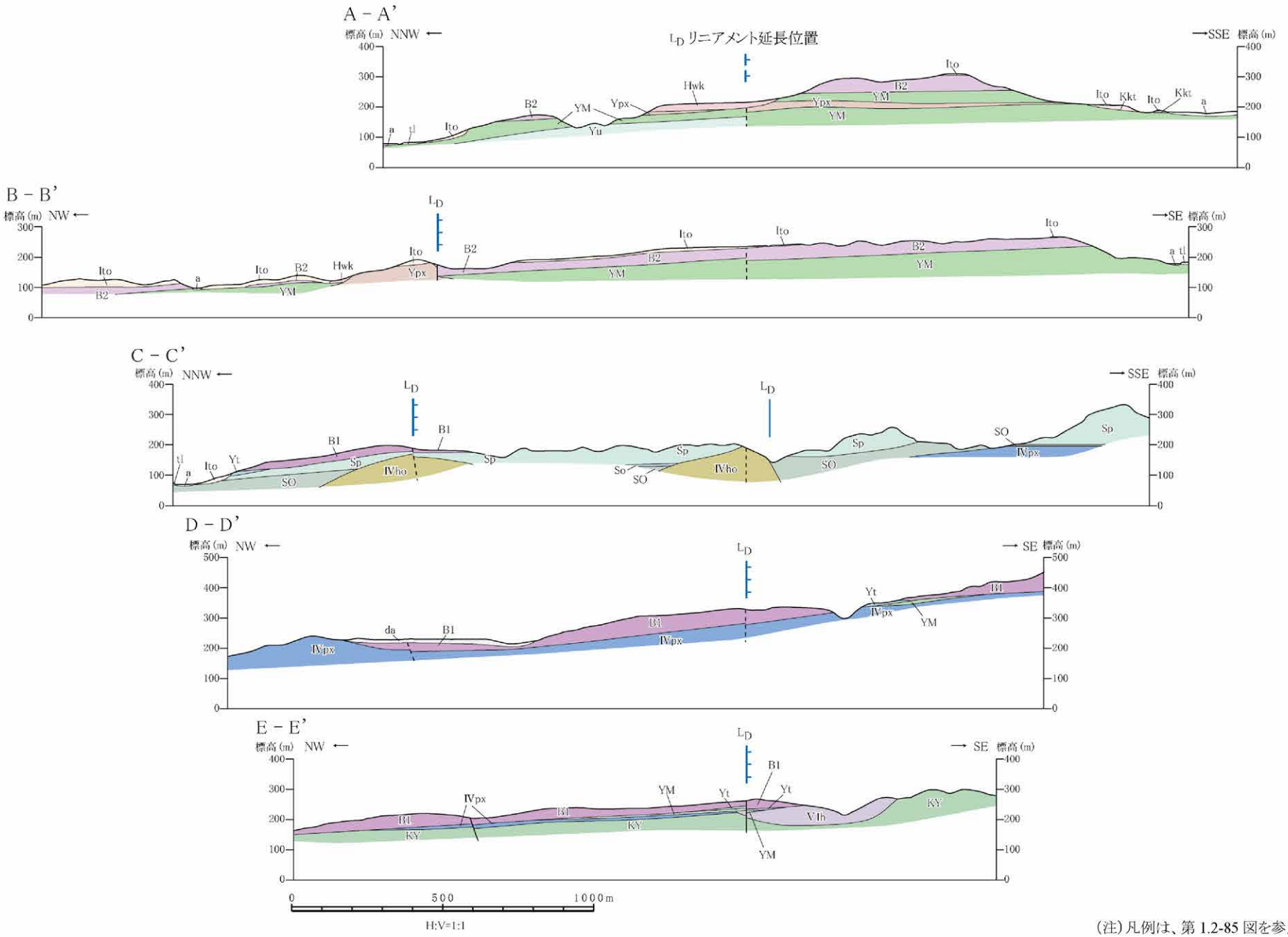
断層（破線は推定，点線は伏在）

A　A'　断面線位置及び番号

詳細図範囲

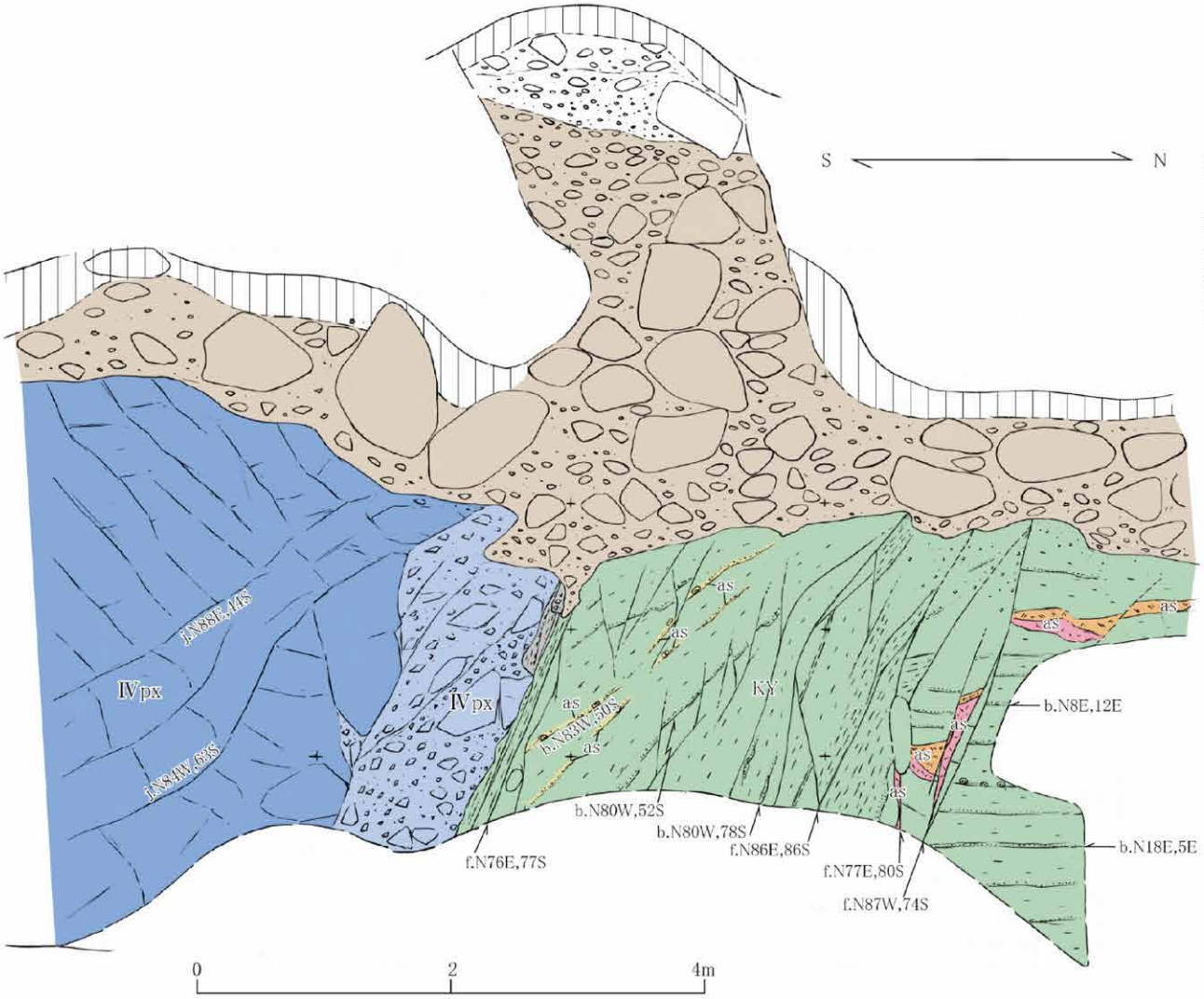
この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原・薩摩郡山)を使用したものである。

第1.2-85図　浦之名断層系周辺の地質図




(注)凡例は、第 1.2-85 図を参照。

第1.2-86図　浦之名断層系周辺の地質断面図




南側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅳ）と北側の郡山層とを境する正断層。

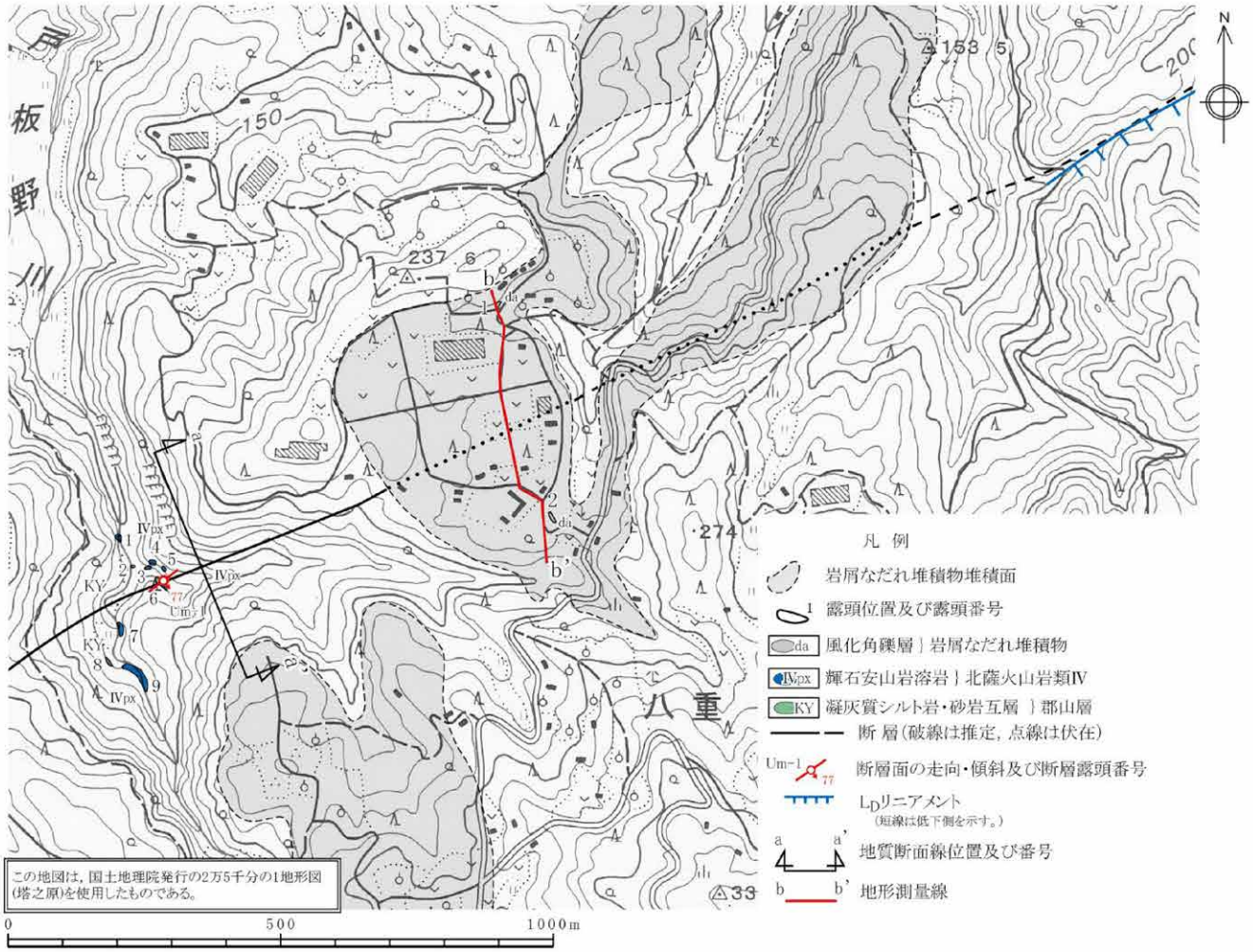
郡山層の凝灰質シルト岩中の断層面は，平面的であるが，癒着しており，破砕部は認められない。輝石安山岩溶岩（同火山岩類Ⅳ）と郡山層とを境する断層面沿いには，安山岩・シルト岩擾乱部が認められるものの，固結している。

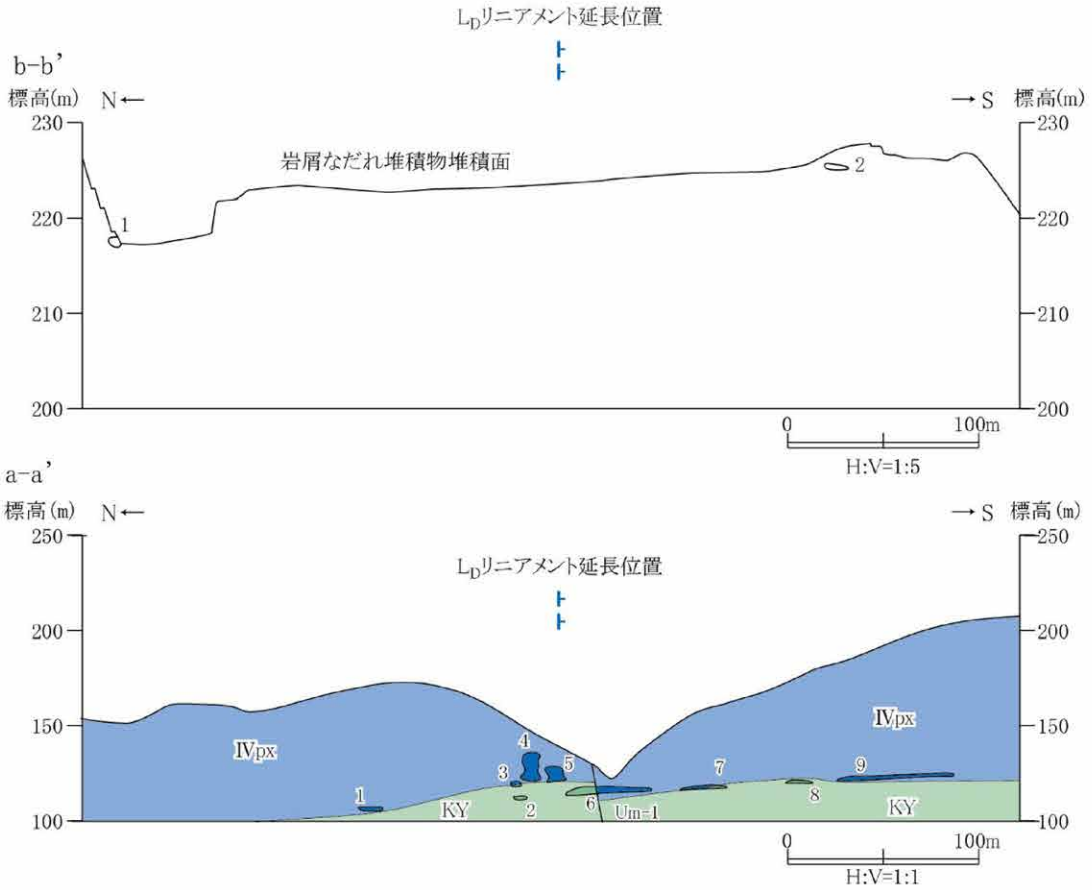
凡例

- 黒色土壌
- 不淘汰礫層
- 亜円礫層 } 段丘堆積物
- 塊状輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅳ
- 輝石安山岩自破砕状溶岩 } 北薩火山岩類Ⅳ
- 火山灰層 } 郡山層
- 凝灰質シルト岩 } 郡山層
- 安山岩・シルト岩擾乱部

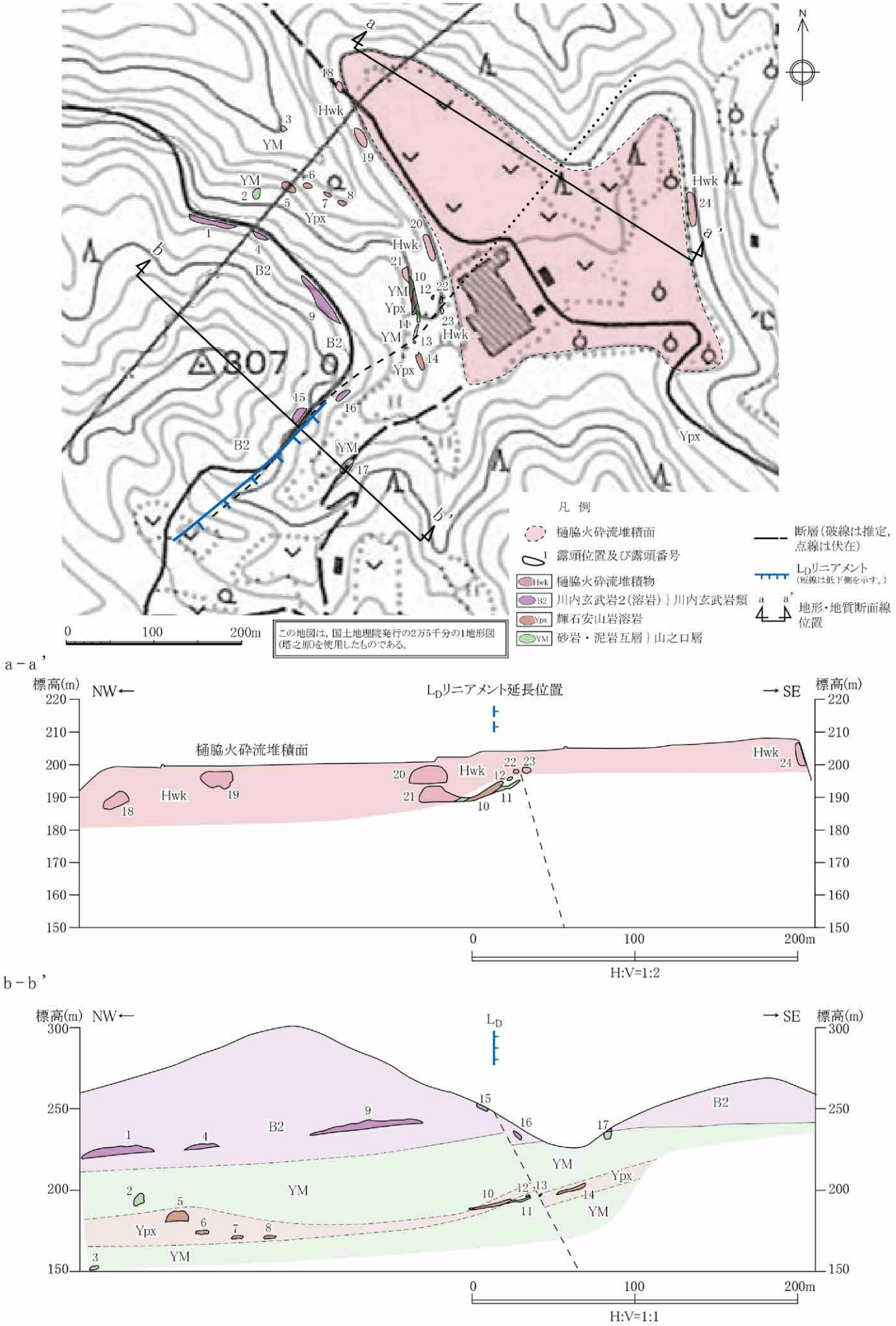
f.N77E,80S 断層面の走向・傾斜
j.N88E,44S 節理面の走向・傾斜
b.N83W,50S 層理面の走向・傾斜

第1.2-87図　露頭スケッチ（Loc.Um-1，薩摩川内市戸板野川支流左岸）

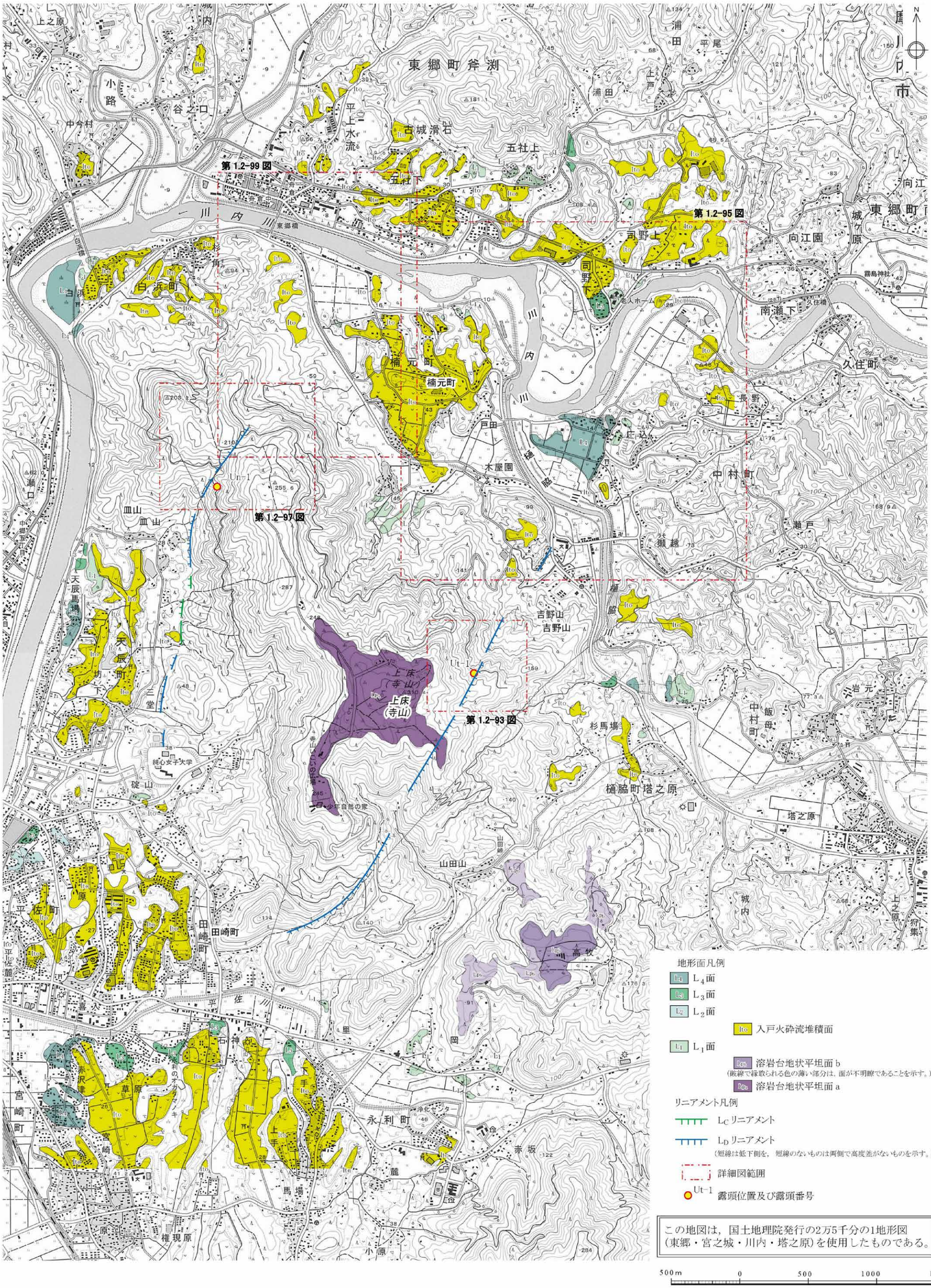


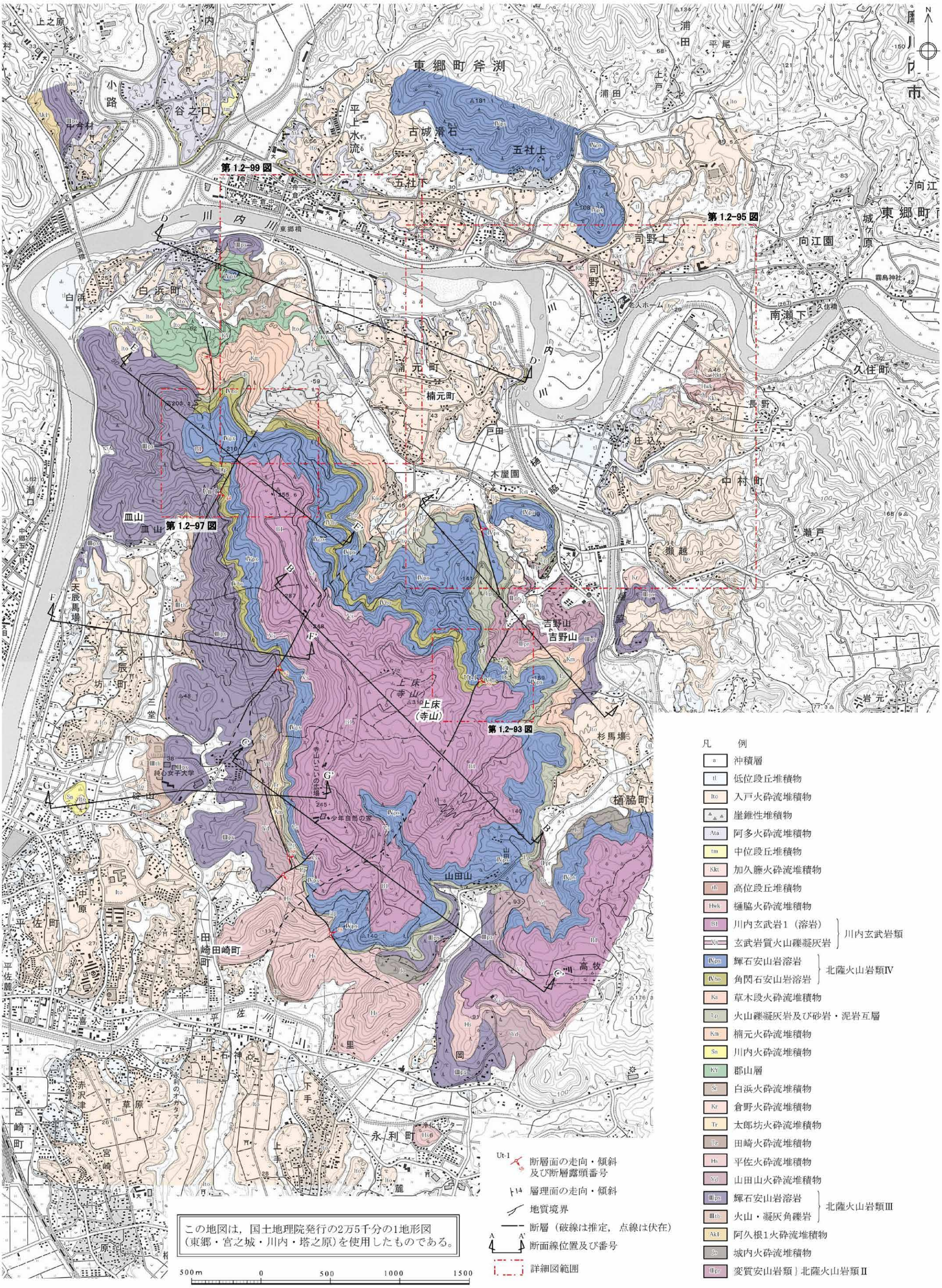

第1.2-88図　ルートマップ及び地形・地質断面図(薩摩川内市八重付近)



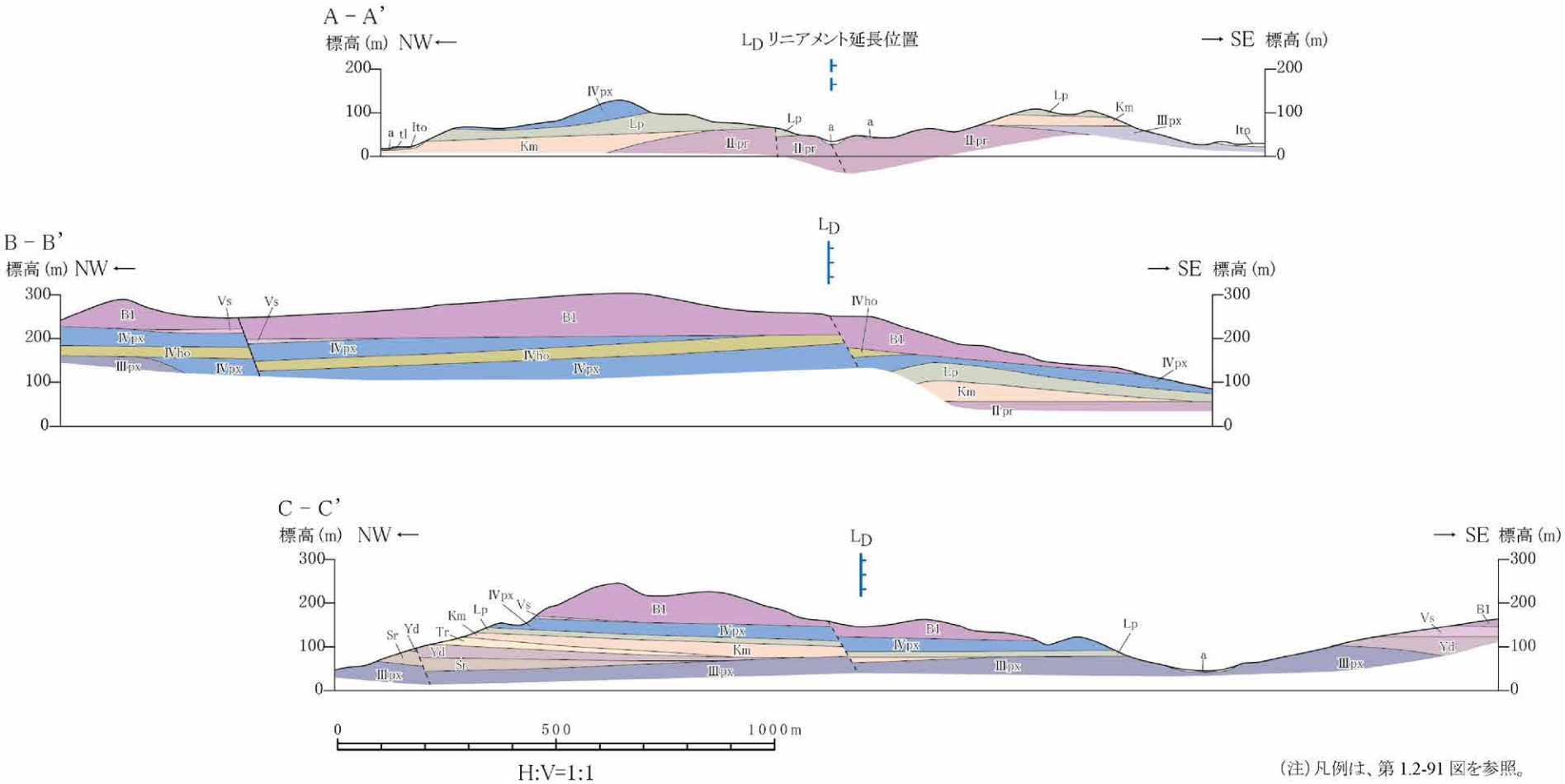

第1.2-89図　ルートマップ及び地形・地質断面図（薩摩川内市中山北方付近）




第1.2-90図　上床断層及び上床西リニアメント周辺の空中写真判読図

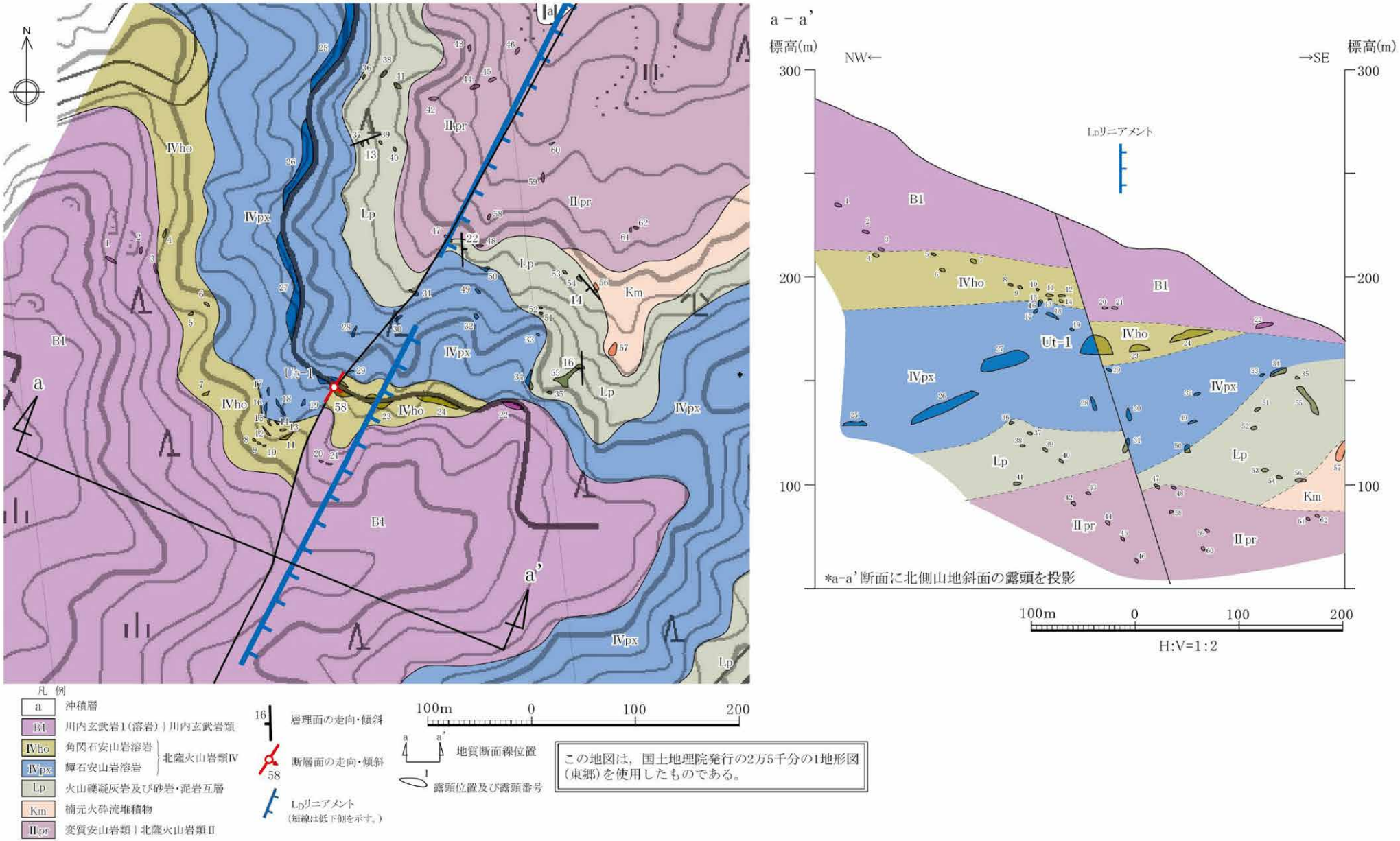



第1.2-91図　上床断層及び上床西リニアメント周辺の地質図

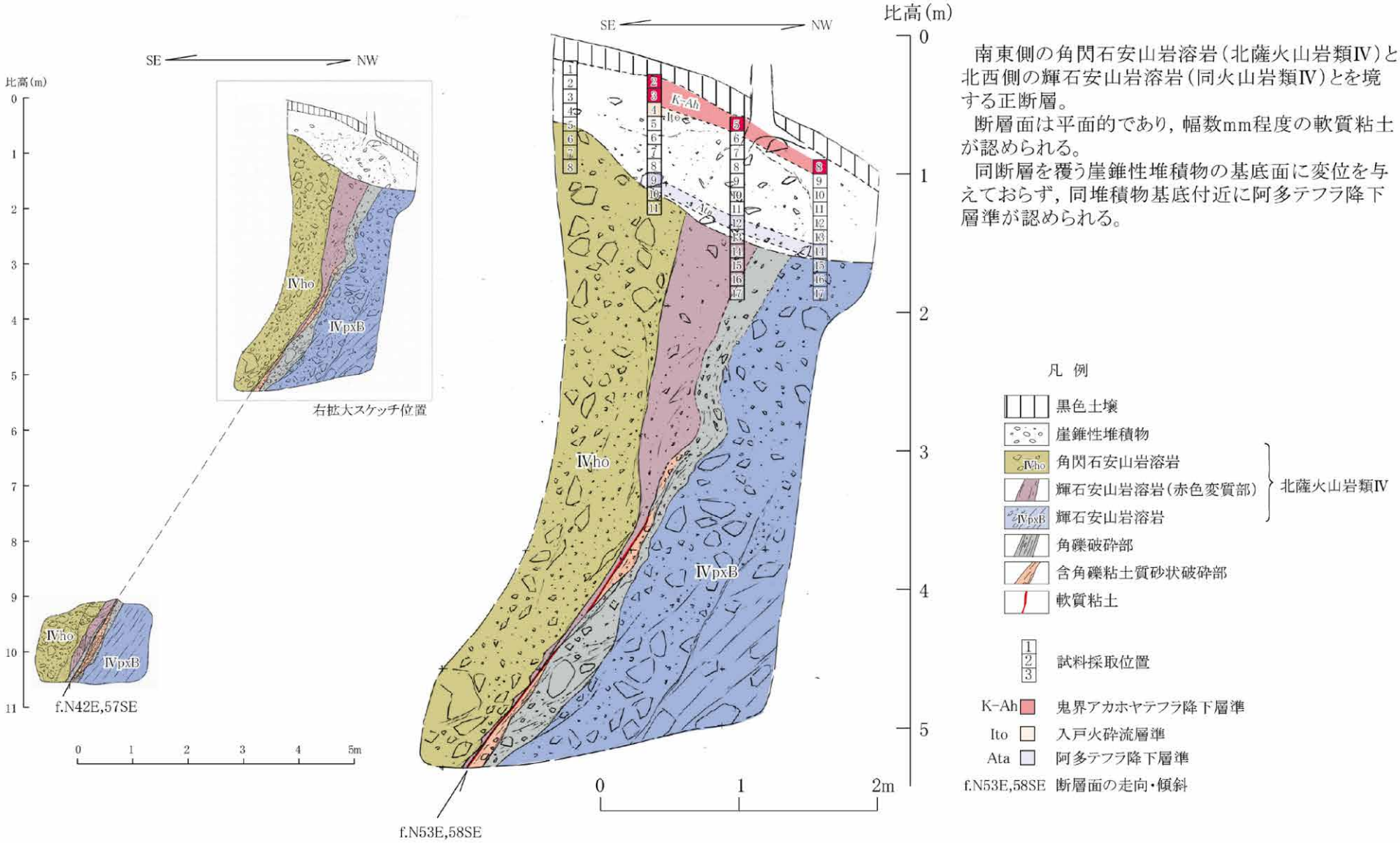



(注)凡例は、第 1.2-91 図を参照。

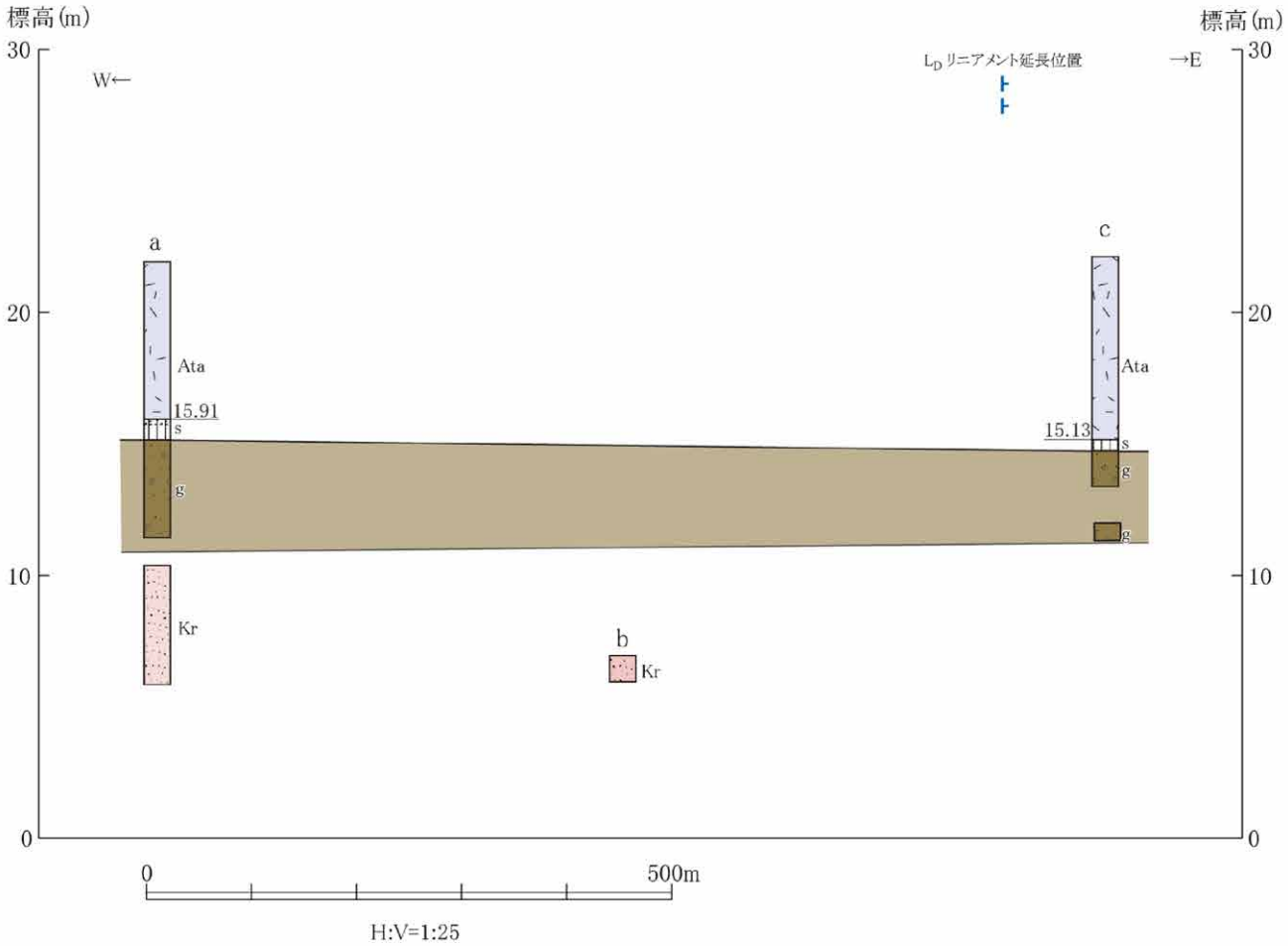
第1.2-92図　上床断層周辺の地質断面図

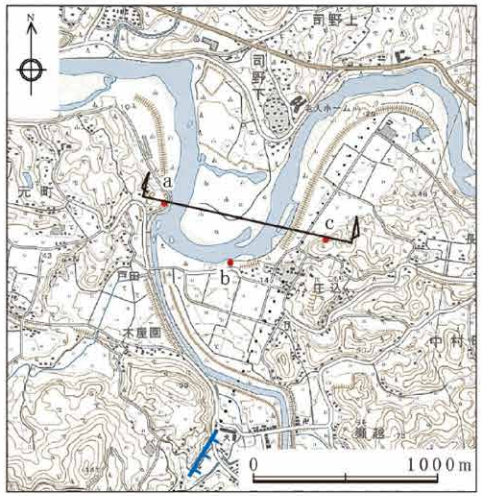



第1.2-93図　ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市吉野山南方付近)




第1.2-94図　露頭スケッチ(Loc.Ut-1，薩摩川内市吉野山南方)




この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

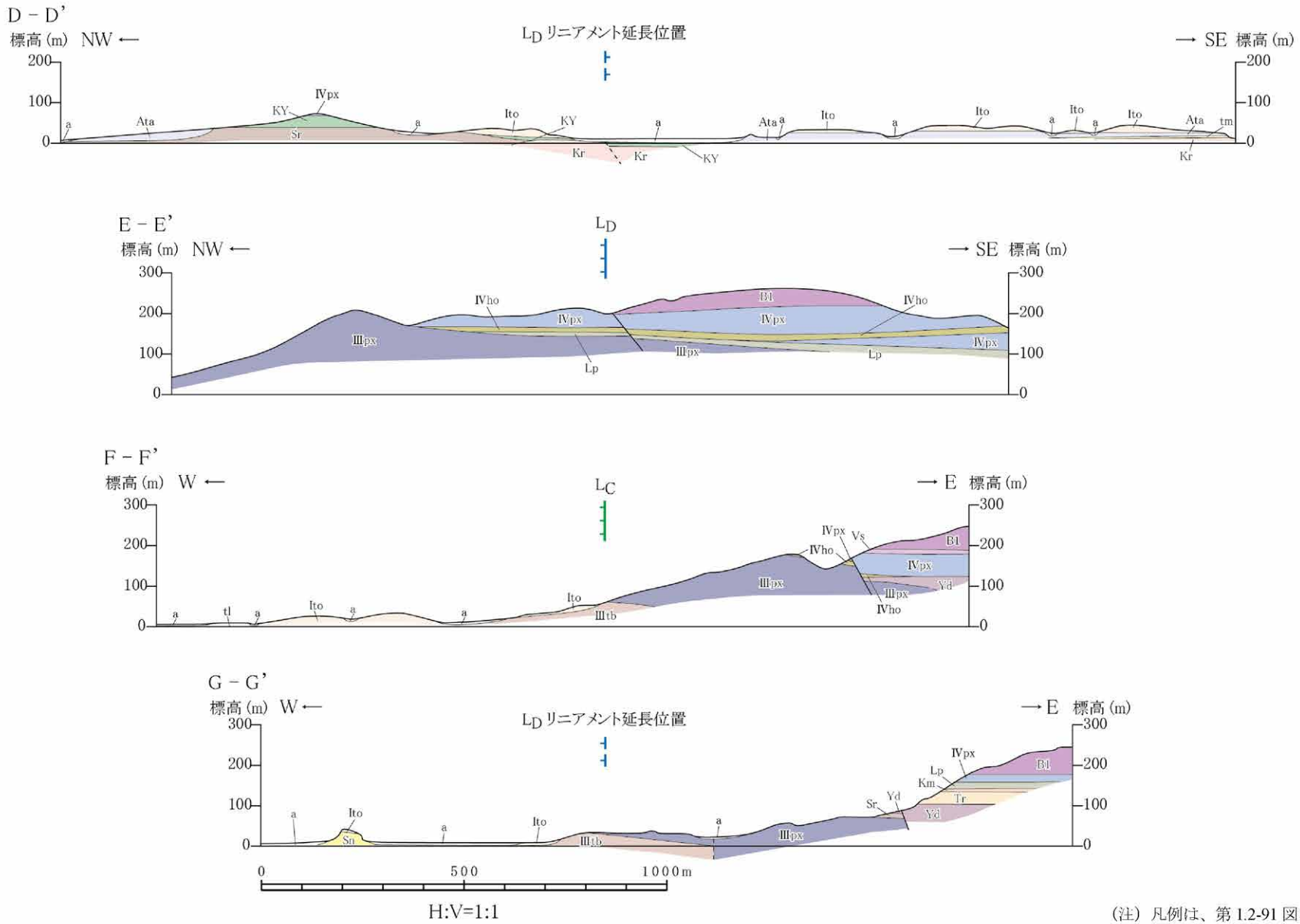
凡例

- Ata 阿多火砕流堆積物
- s 土壌化帯
- g 礫層 } 中位段丘堆積物
- Kr 倉野火砕流堆積物
- a 柱状作成位置・番号
- 断層(破線は推定，点線は伏在)

リニアメント凡例

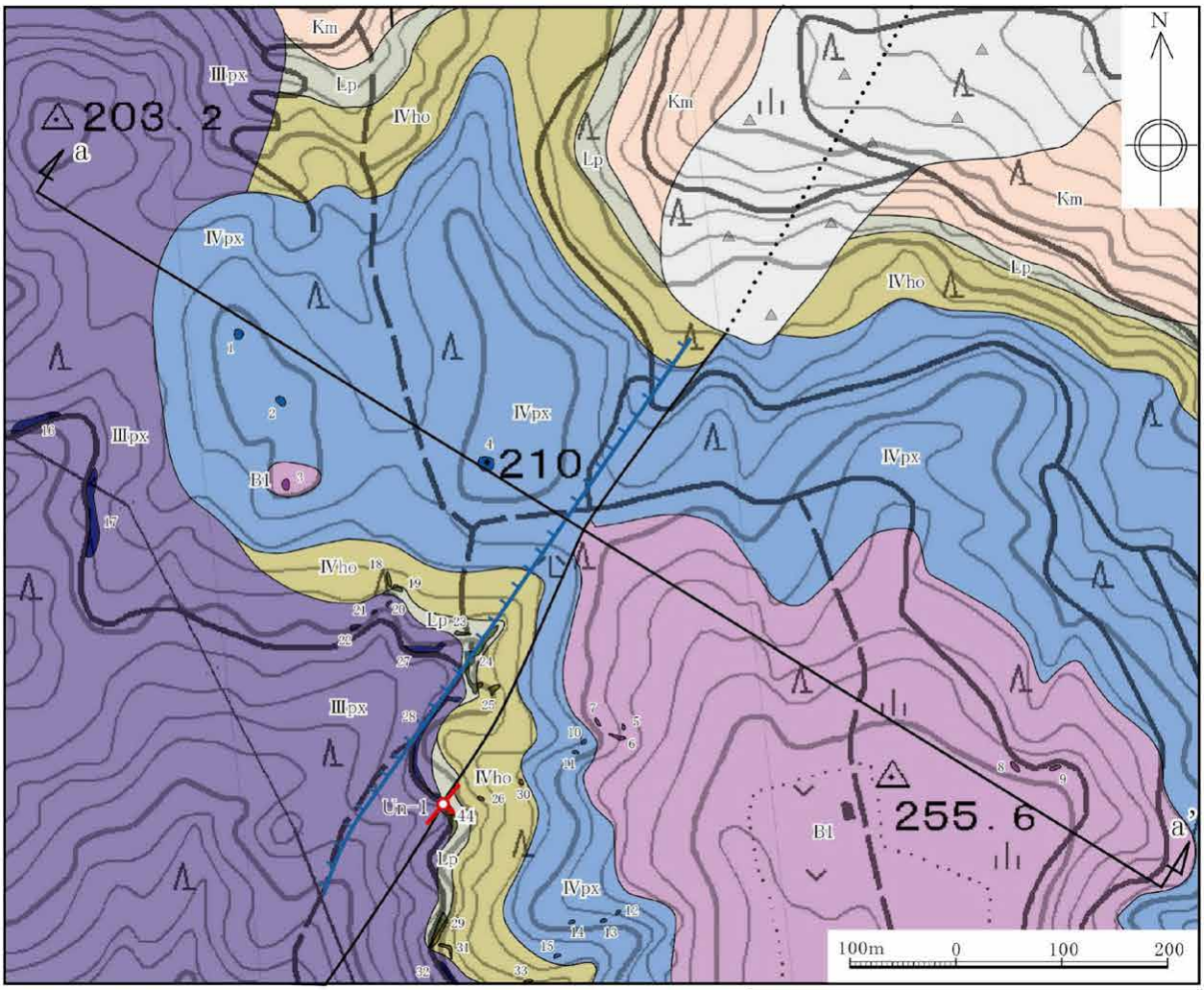
- $L_D$リニアメント
  (短線は低下側を示す。)

第1.2-95図　薩摩川内市戸田－庄込間の柱状対比




（注）凡例は、第 1.2-91 図を参照。

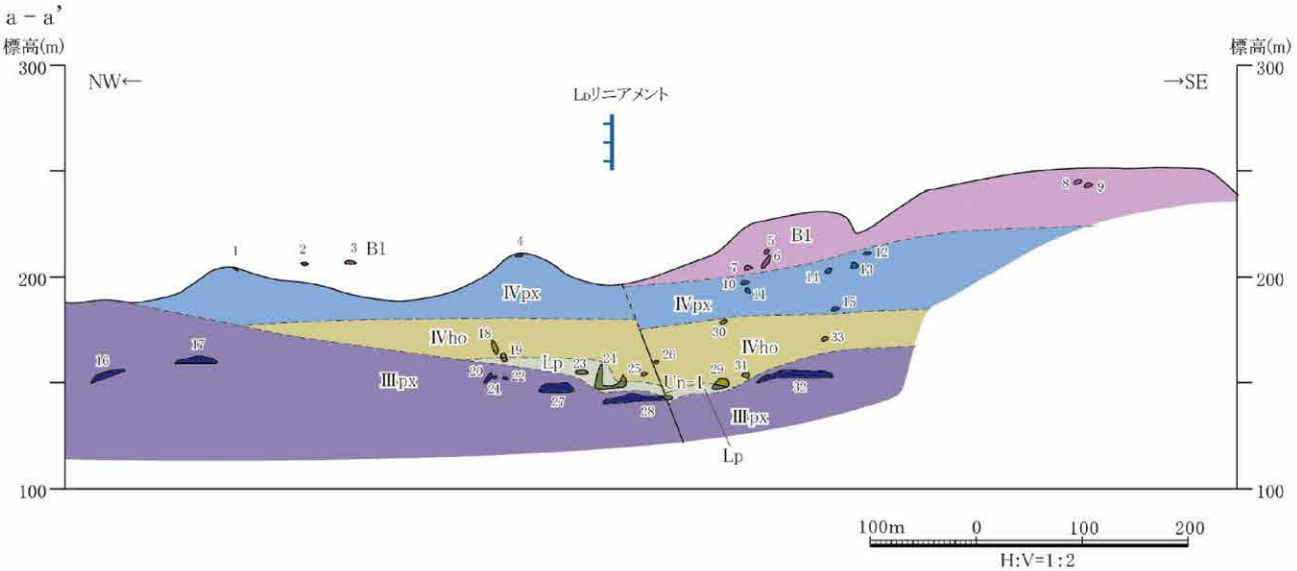
第1.2-96図　上床西リニアメント周辺の地質断面図




凡 例

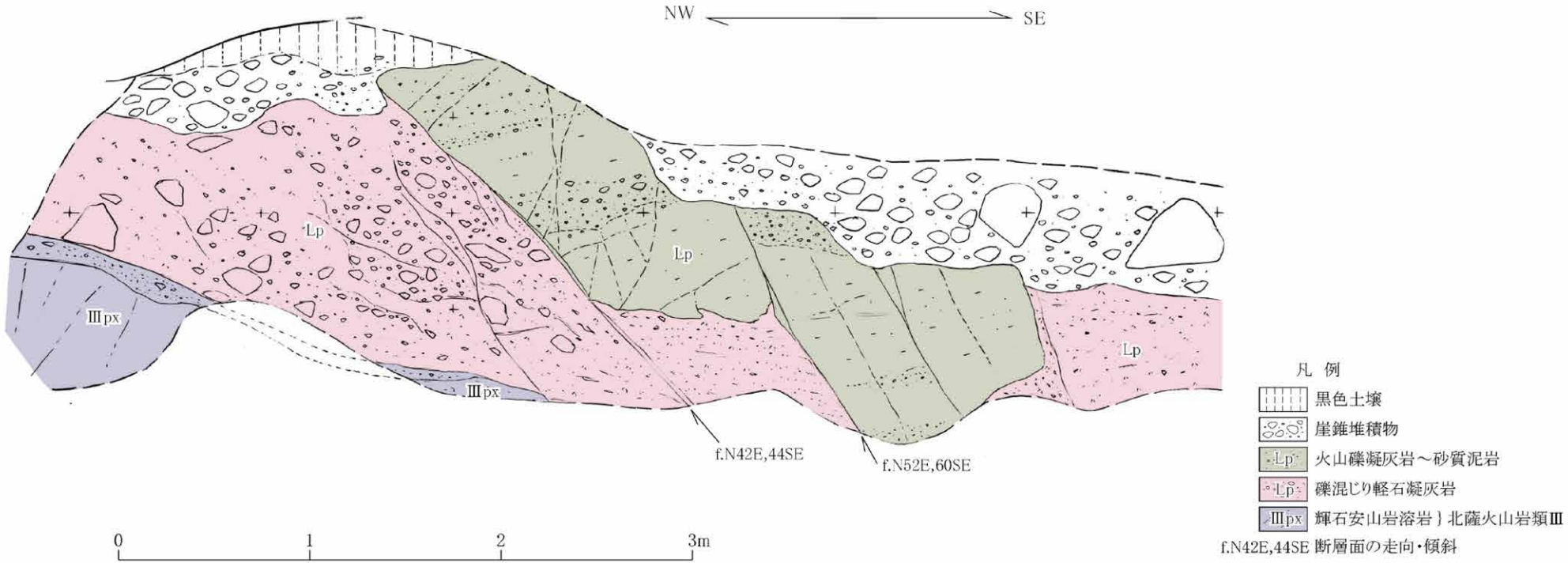
- 崖錐性堆積物
- B1 川内玄武岩1(溶岩) } 川内玄武岩類
- IVpx 輝石安山岩溶岩
- IVho 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類IV
- Lp 火山礫凝灰岩
- Km 楠元火砕流堆積物
- IIIpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類III
- 断層（破線は推定，点線は伏在）
- 44 断層面の走向・傾斜
- $L_D$ リニアメント（短線は低下側を示す。）
- a a' 地質断面線位置
- 1 露頭位置及び露頭番号

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

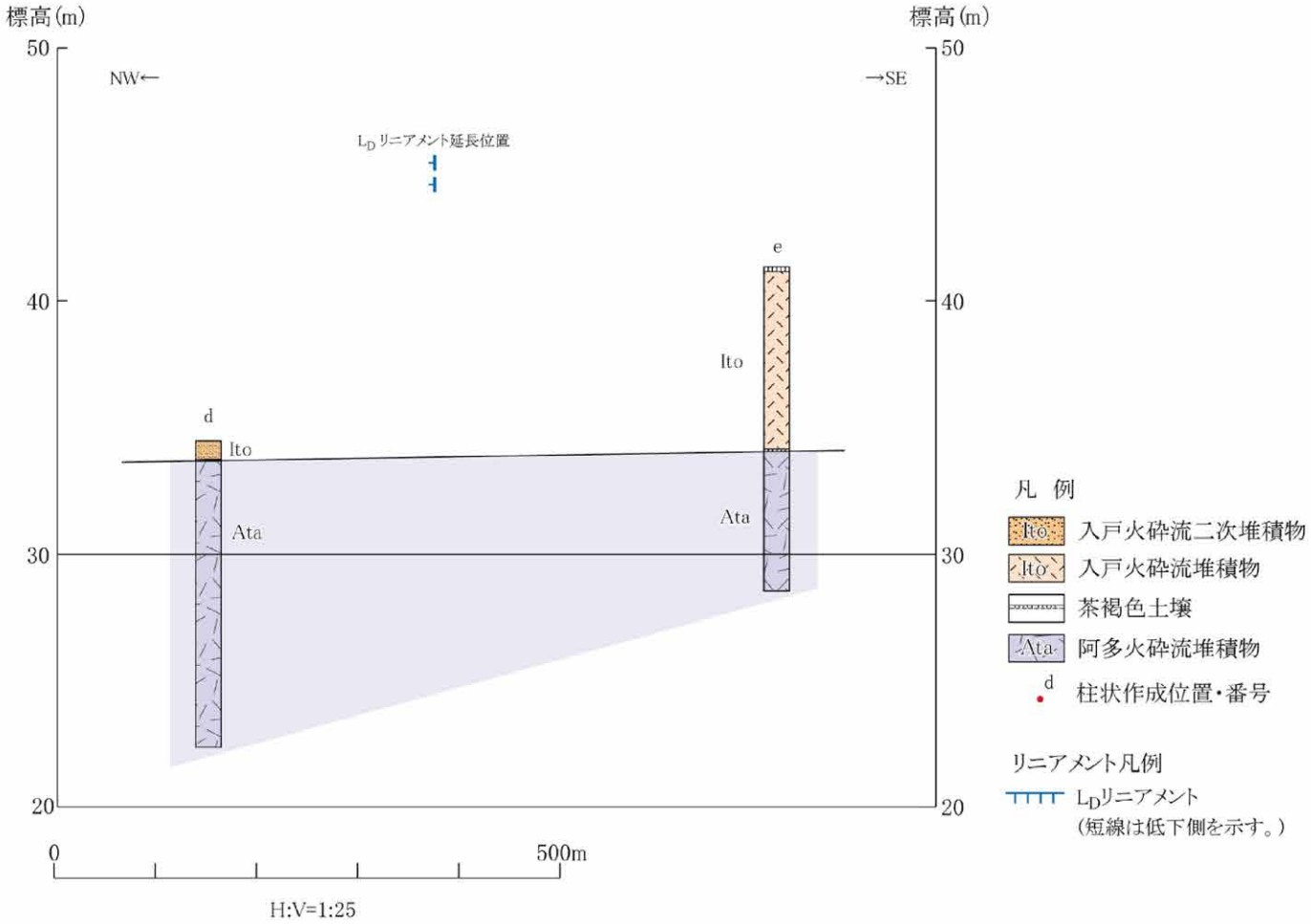


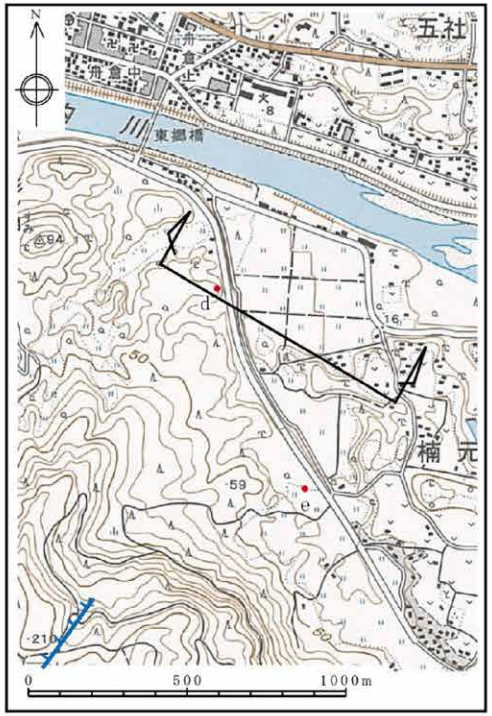

第1.2-97図　ルートマップ・地質断面図（薩摩川内市皿山北東付近）

輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅲ）並びにその上位の礫混じり軽石凝灰岩及び火山礫凝灰岩～砂質泥岩に，いずれも南東落ちの変位を与える数条の正断層。
いずれの断層面も平面的であるが，癒着している。また，断層面近傍の破砕も認められない。



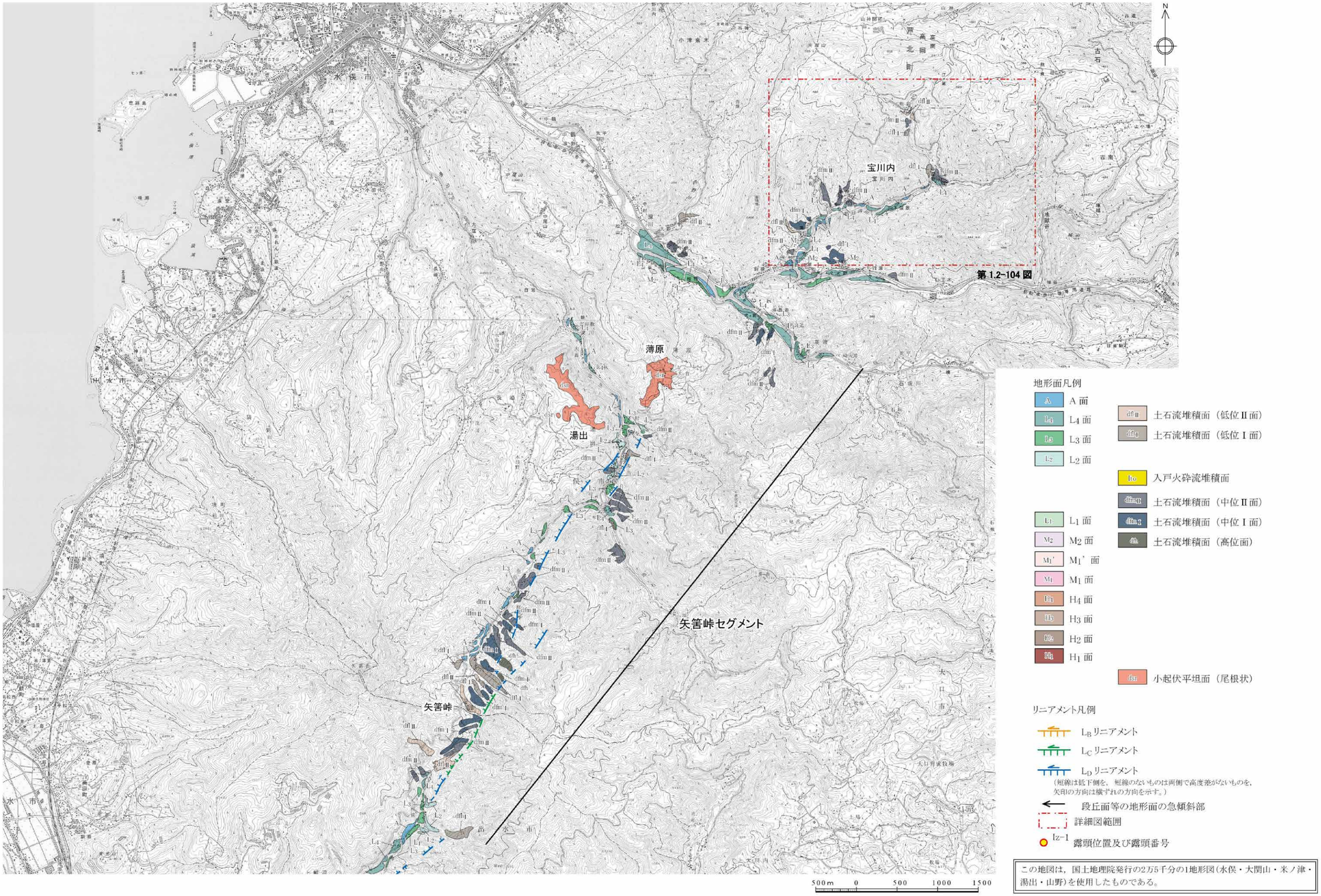

第1.2-98図　露頭スケッチ（Loc.Un-1，薩摩川内市皿山北東）



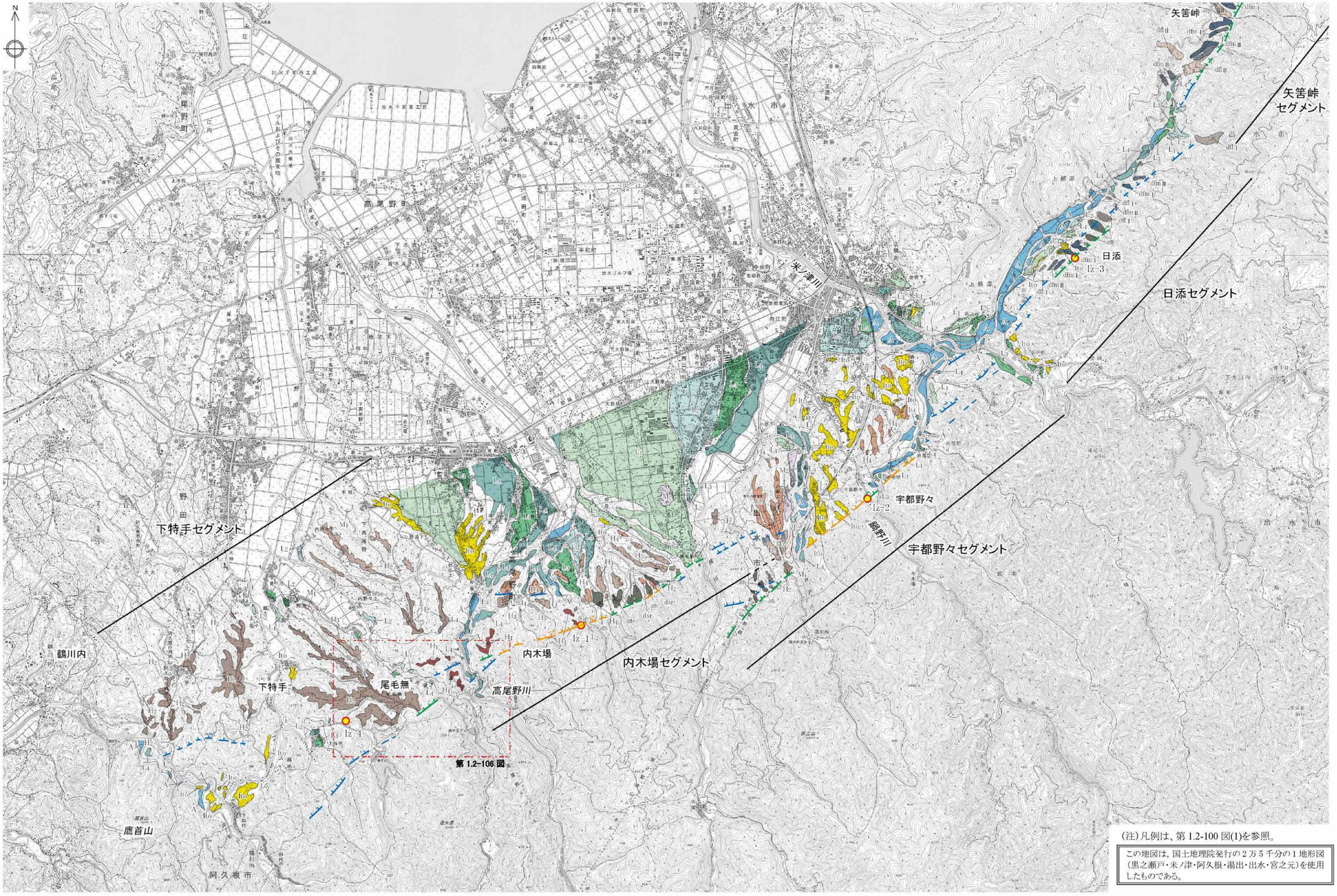

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

第1.2-99図　薩摩川内市白浜町－楠元町間の柱状対比




この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図（水俣・大関山・米ノ津・湯出・山野）を使用したものである。

第1.2-100図（1） 出水断層系周辺の空中写真判読図（北部）

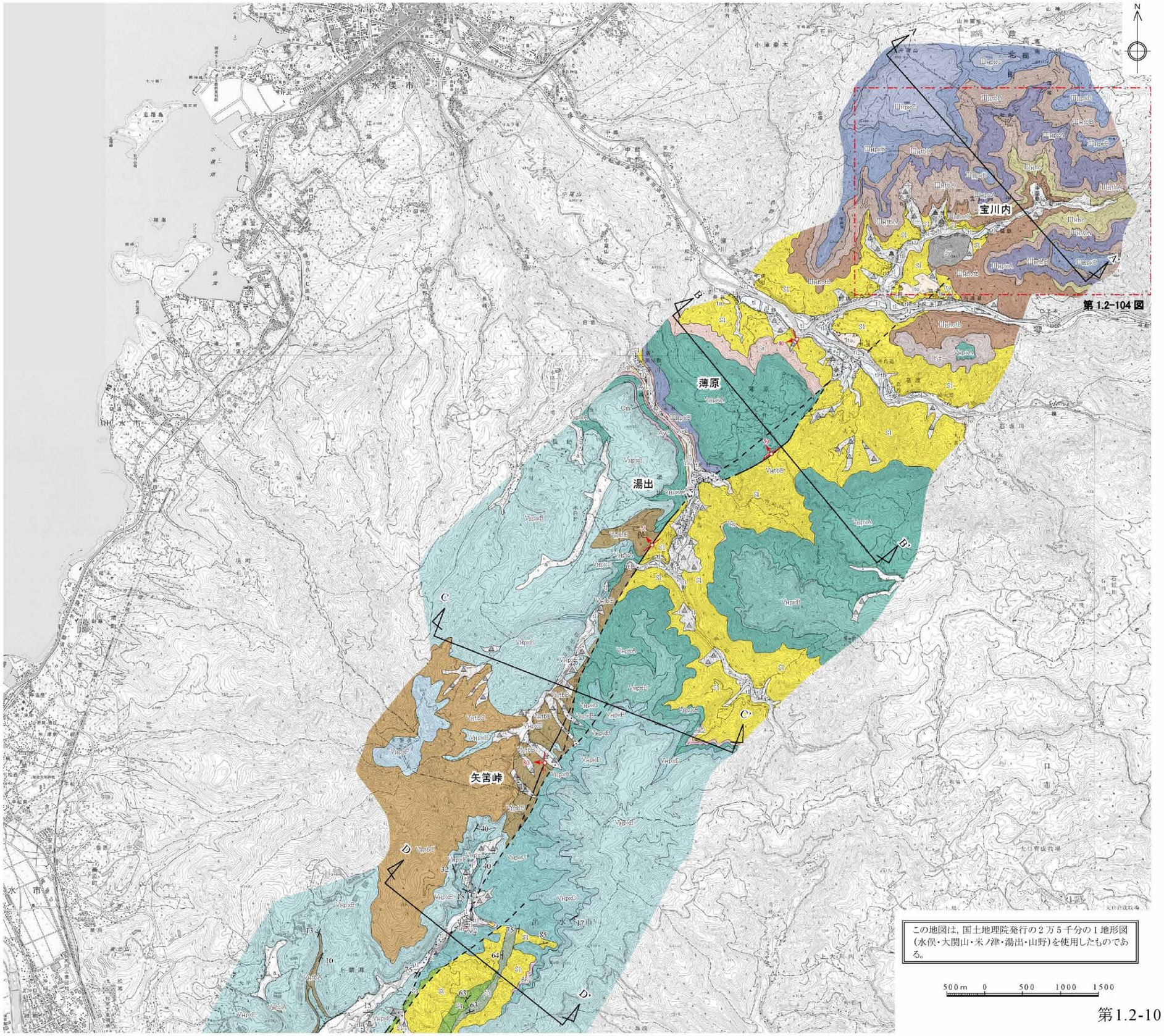



(注)凡例は、第 1.2-100 図(1)を参照。

この地図は，国土地理院発行の２万５千分の１地形図（黒之瀬戸・米ノ津・阿久根・湯出・出水・宮之元）を使用したものである。

500m 0 500 1000 1500

第1.2-100図（2） 出水断層系周辺の空中写真判読図（南部）




凡　例

- a　沖積層
- 土石流～崖錐性堆積物
- ti　低位段丘堆積物
- Ito　入戸火砕流堆積物
- tm　中位段丘堆積物
- th　高位段丘堆積物
- TU　鶴川内層
- VHpxF　玄武岩質安山岩溶岩
- VHtbC　凝灰角礫岩 C
- VHtbB　凝灰角礫岩～火山円礫岩 B
- VHpxE　輝石安山岩溶岩 E
- VHpxD　輝石安山岩溶岩 D
- VHtbA　凝灰角礫岩 A
- VHpxC　輝石安山岩溶岩 C
- Ay2　赤林2火砕流堆積物
- VHpxB　細粒輝石安山岩溶岩 B
- VHpxA　輝石安山岩溶岩 A

} 肥薩火山岩類Ⅴ

- Om　大森火砕流堆積物
- Ay1　赤林1火砕流堆積物
- Yk　湯出川火砕流堆積物
- Ss　薄原火砕流堆積物
- Kz　葛渡火砕流堆積物
- IIIHpxC　輝石安山岩溶岩 C
- IIIHpxB　輝石安山岩溶岩 B
- IIIHtbB　凝灰角礫岩 B
- IIIHpxA　輝石安山岩溶岩 A
- IIIHtbA　凝灰角礫岩 A
- dy　岩脈（角閃石安山岩）
- IIIHho　輝石角閃石安山岩溶岩
- IIIHhbB　角閃石安山岩質凝灰角礫岩

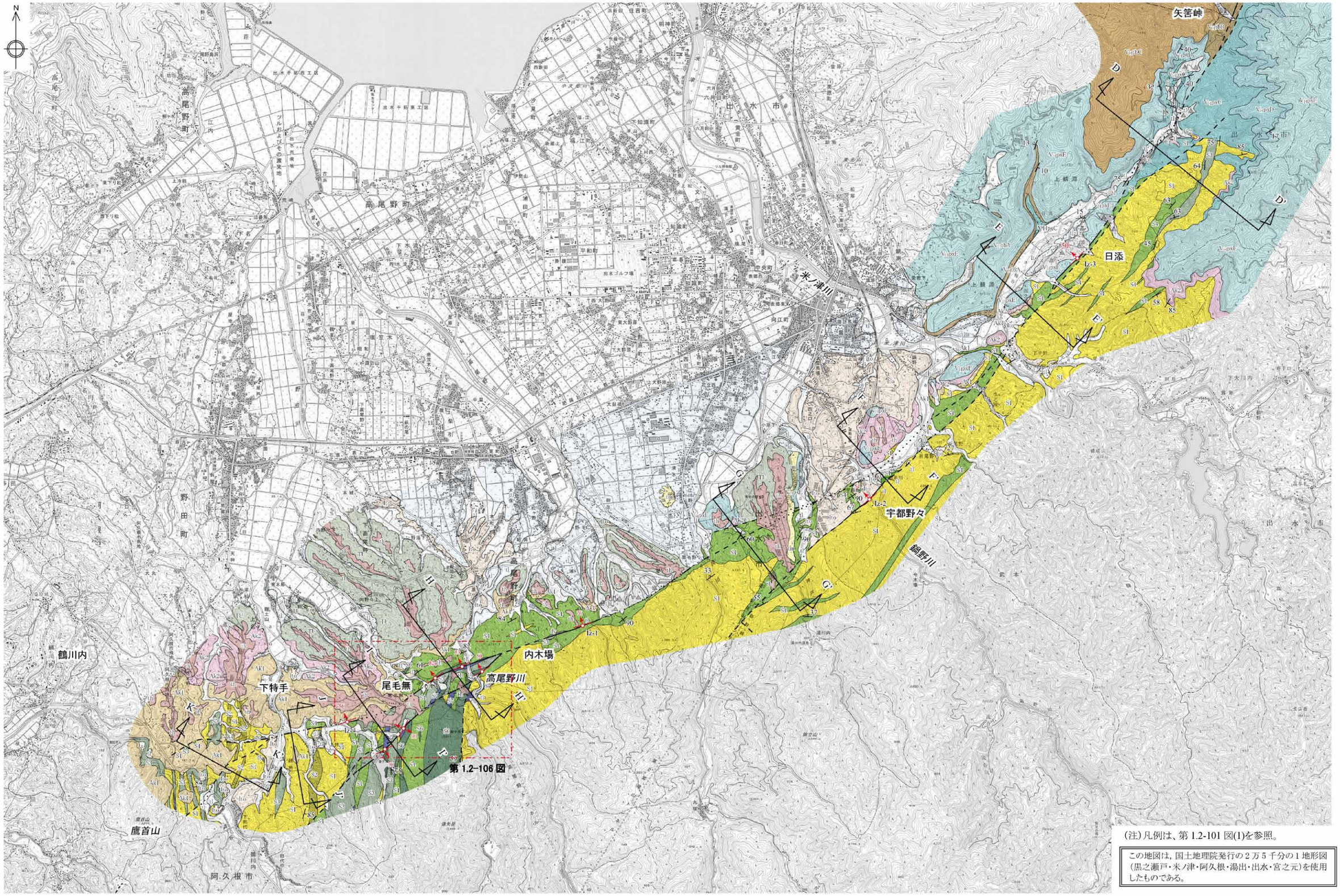
} 肥薩火山岩類Ⅲ

- Ak2　阿久根2火砕流堆積物
- Fn　舟川火砕流堆積物
- Ak1　阿久根1火砕流堆積物
- 含礫泥岩
- 暗緑色玄武岩
- S4　頁岩
- S3　頁岩優勢砂岩頁岩互層
- S2　砂岩優勢砂岩頁岩互層
- S1　砂岩

} 四万十層群

- Iz-1 50　断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 14　層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層（破線は推定，点線は伏在）
- A A'　断面線位置及び番号
- 詳細図範囲

第1.2-101図（1）　出水断層系周辺の地質図（北部）

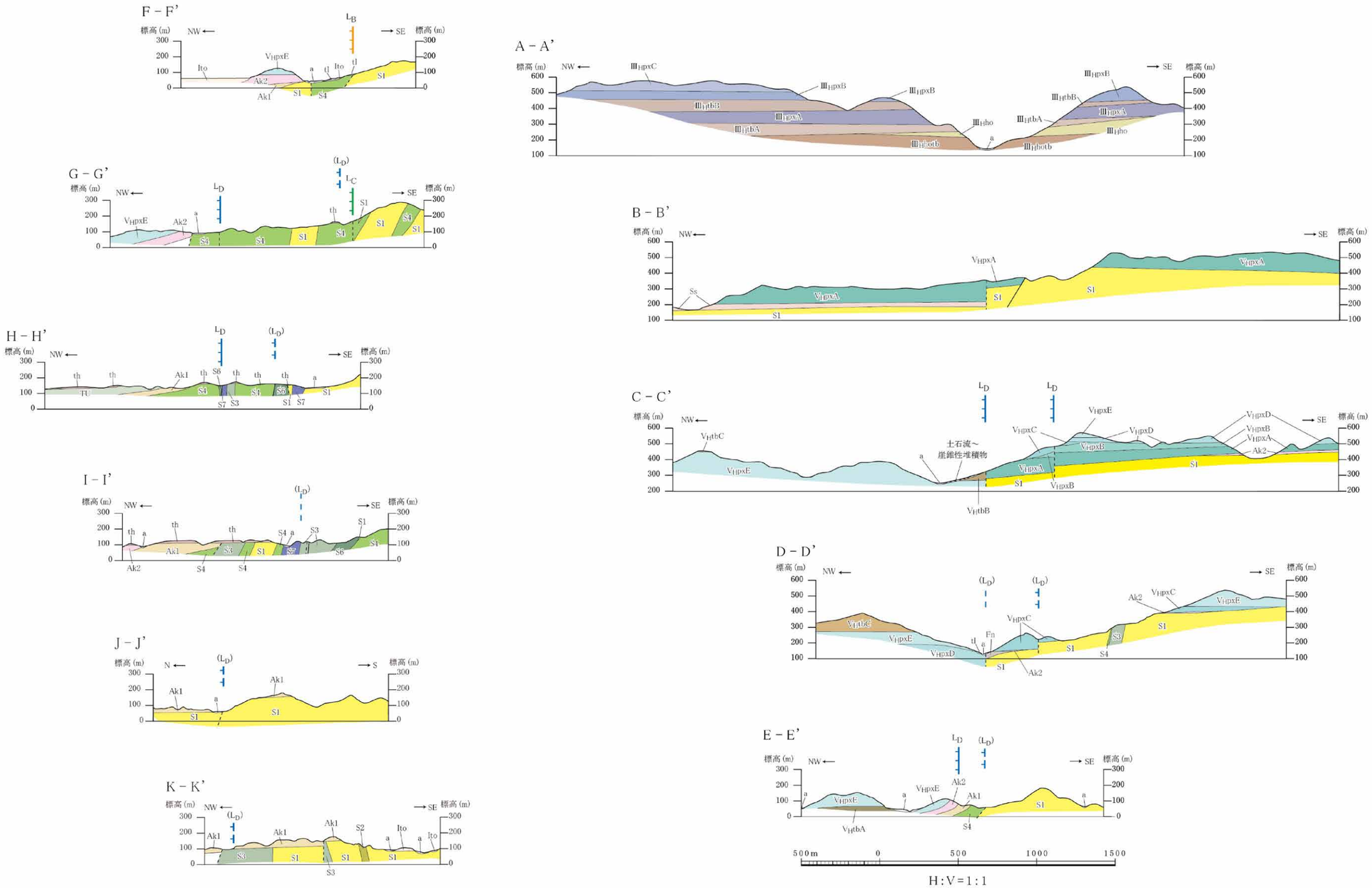



(注)凡例は、第 1.2-101 図(1)を参照。

この地図は，国土地理院発行の２万５千分の１地形図(黒之瀬戸・米ノ津・阿久根・湯出・出水・宮之元)を使用したものである。

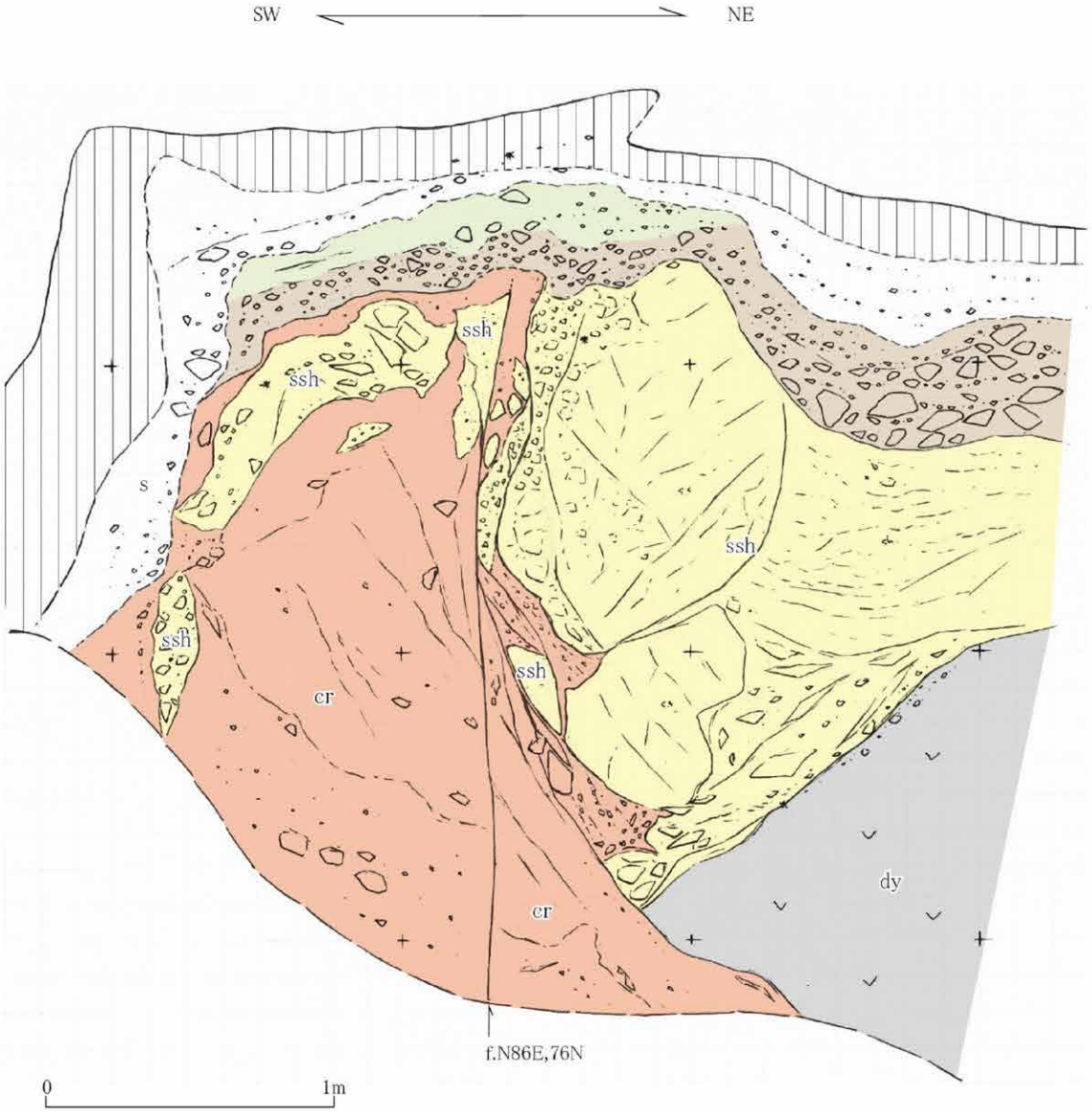
500m 0 500 1000 1500

第1.2-101図（2） 出水断層系周辺の地質図（南部）




（注）凡例は、第 1.2-101 図(1)を参照。
（注）破線で示す()付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-102図　出水断層系周辺の地質断面図



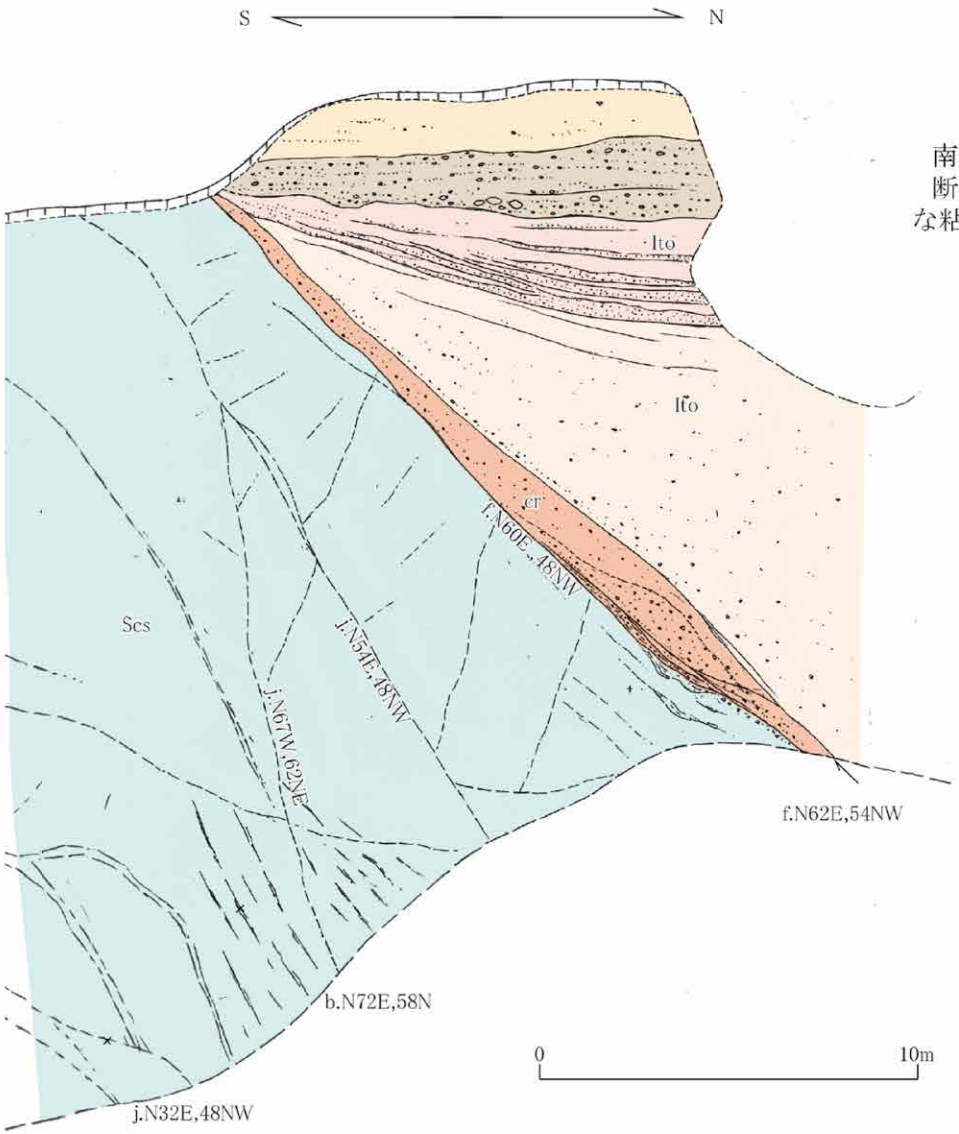

四万十層群中の幅 1m 以上の粘土破砕部中に認められる断層。
断層面は平面的であり，連続も良い。

凡例

- 茶褐色土壌
- 褐色土壌
- シルト質砂層
- 礫層
- 貫入岩
- 含角礫粘土破砕部 } 四万十層群
- 砂岩・頁岩 } 四万十層群

f.N86E,76N 断層面の走向・傾斜

第1.2-103図（1） 露頭スケッチ（Loc.Iz-1，出水市内木場）



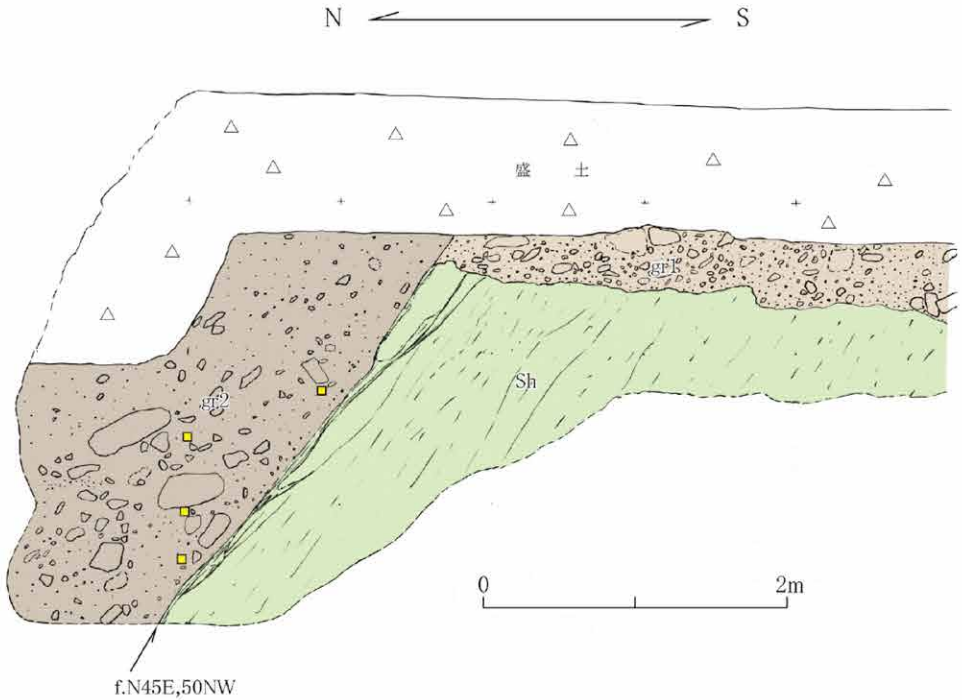

南側の四万十層群と北側の入戸火砕流堆積物とを境する正断層。
断層面は平面的であり，面に沿って幅数 10cm ～ 1.5m 程度の軟質な粘土破砕部が認められる。

凡例

- 茶褐色土壌
- ローム質砂層
- 河成礫層
- Ito 入戸火砕流堆積物（二次堆積）
- Ito 入戸火砕流堆積物
  } 入戸火砕流堆積物
- Ses 石灰質砂岩・含礫頁岩 } 四万十層群
- cr 茶褐色礫混じり粘土破砕部

f.N62E,54NW 断層面の走向・傾斜
b.N72E,58N 層理面の走向・傾斜
j.N54E,48NW 節理面の走向・傾斜

第1.2-103図（2） 露頭スケッチ（Loc.Iz-2，出水市鍋野川左岸）



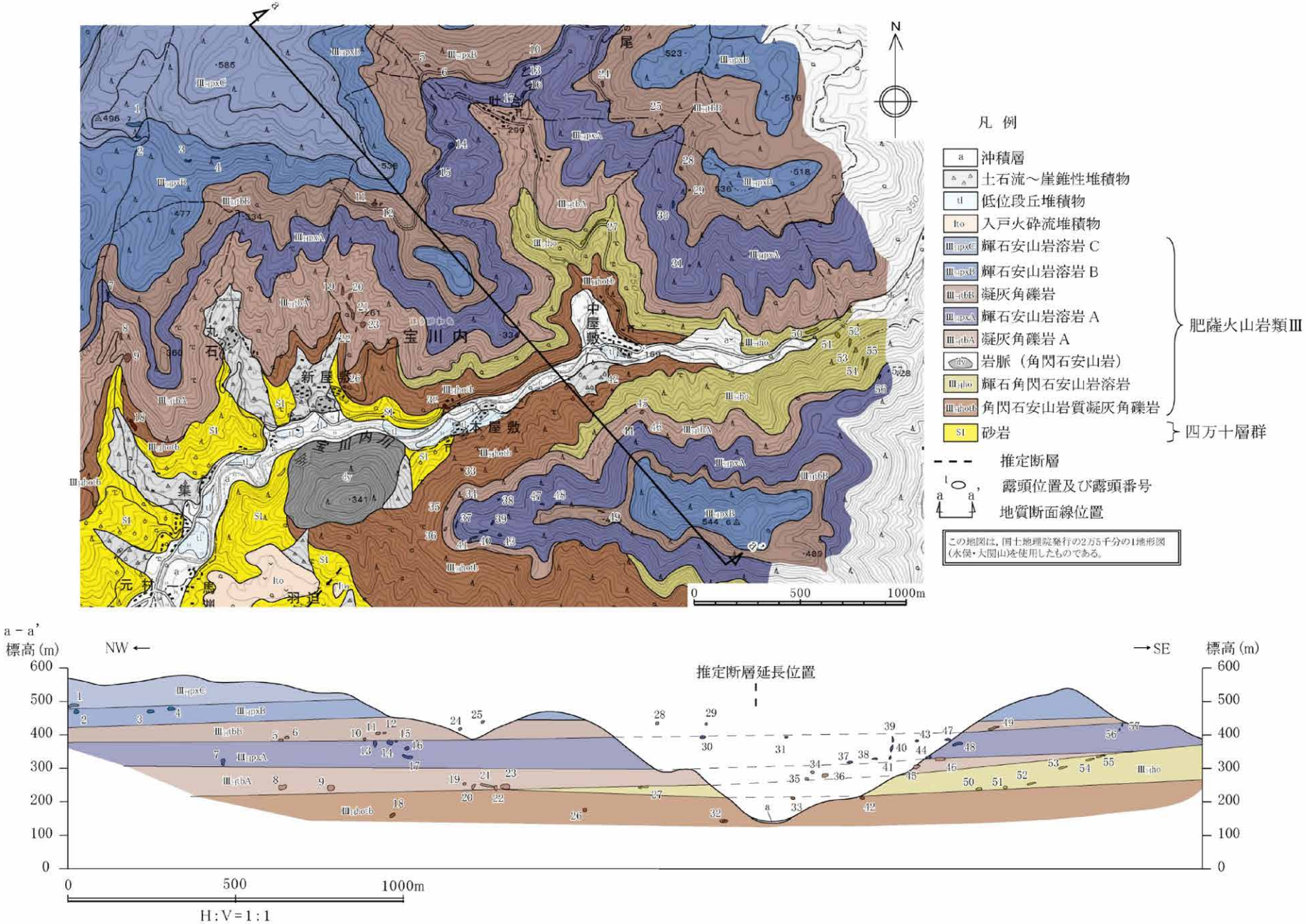

北側の暗褐色礫層と南側の四万十層群とを境する正断層。断層面は平滑であるが，破砕部は認められない。断層面上盤側の暗褐色礫層には入戸火砕流堆積物起源の火山ガラスが認められる。

凡 例

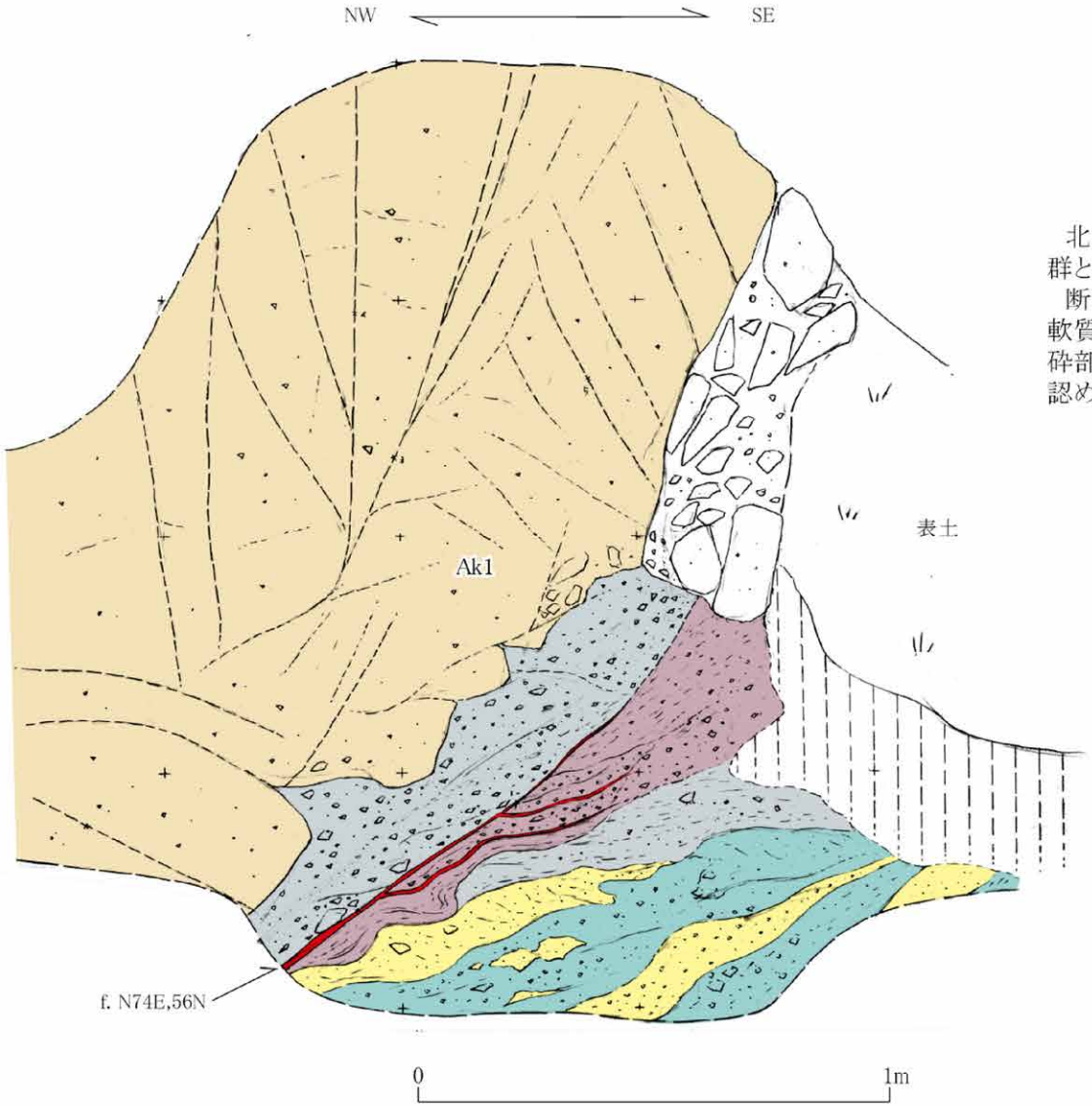
- 暗褐色礫層
- 黄褐色礫層
- 頁岩 } 四万十層群
- 入戸火砕流堆積物起源の火山ガラス検出地点

f.N45E,50NW 断層面の走向・傾斜

第1.2-103図（3） 露頭スケッチ（Loc.Iz-3，出水市日添）




第1.2-104図　ルートマップ・地質断面図（熊本県水俣市宝川内付近）

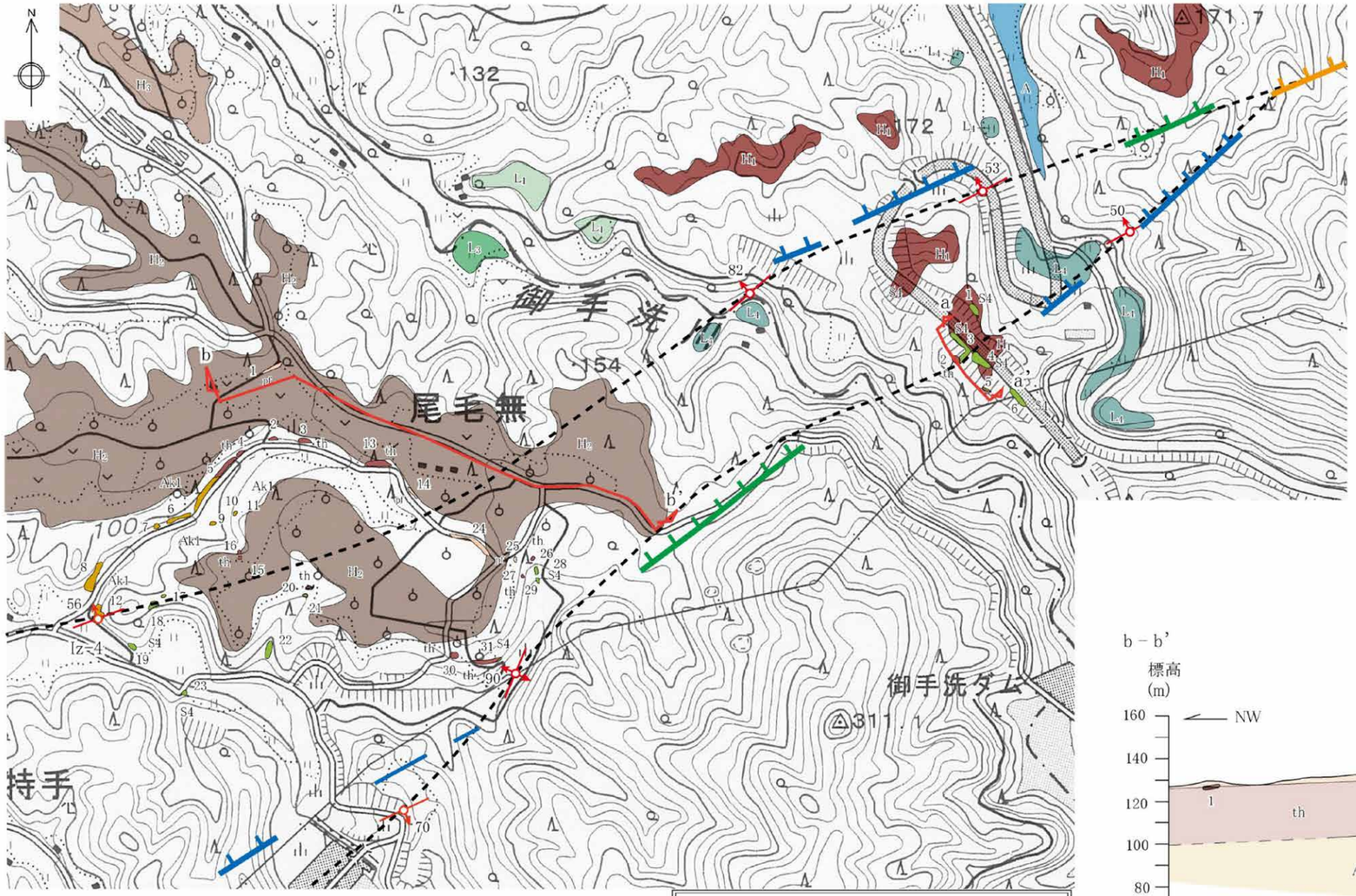



北西側の阿久根1火砕流堆積物と南東側の四万十層群とを境する断層。
断層面はやや湾曲するものの，幅5mm～3cm程度の軟質粘土が認められる。また，断層面上盤側の角礫破砕部には阿久根1火砕流堆積物の溶結凝灰岩の礫が認められる。

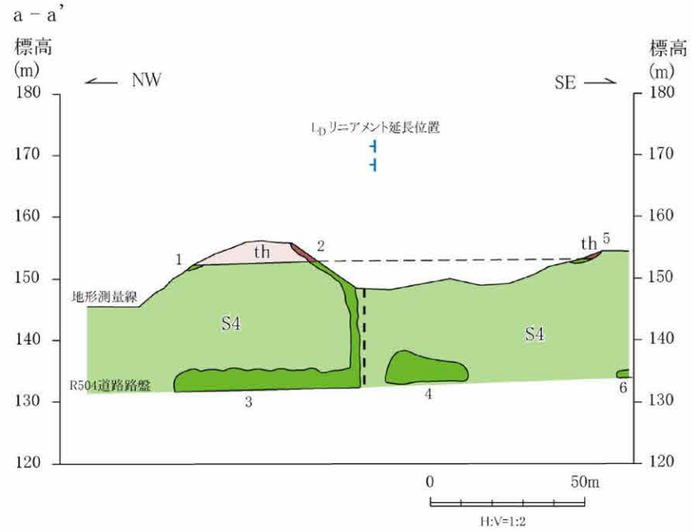
凡　例

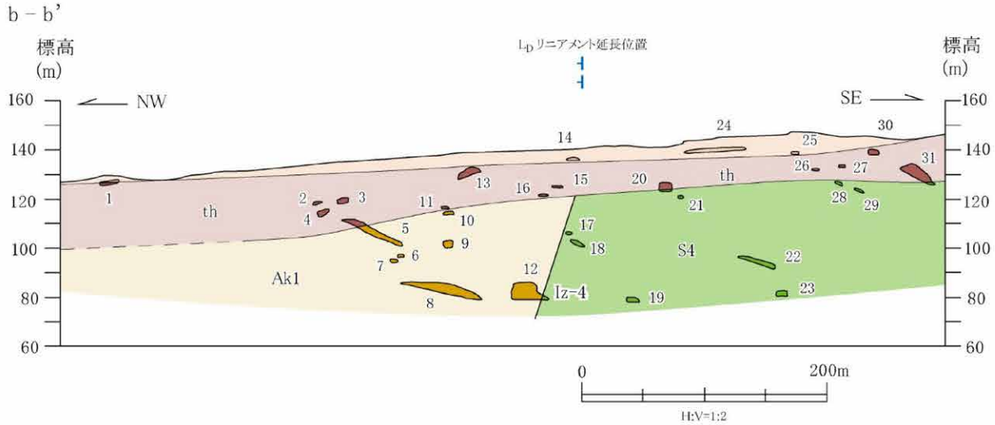
- 茶褐色土壌
- 崖錐堆積物
- Ak1 溶結凝灰岩 ｝ 阿久根1火砕流堆積物
- 角礫状砂岩・頁岩互層 ｝ 四万十層群
- 角礫破砕部
- 粘土質角礫破砕部
- 軟質粘土
- f. N74E,56N 断層面の走向・傾斜

第1.2-105図　露頭スケッチ（Loc.Iz-4，出水市野田町上特手）




この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(出水)を使用したものである。




地形面凡例

- A 面
- $L_4$面
- $L_3$面
- $L_1$面
- $H_3$面
- $H_2$面
- $H_1$面

リニアメント凡例

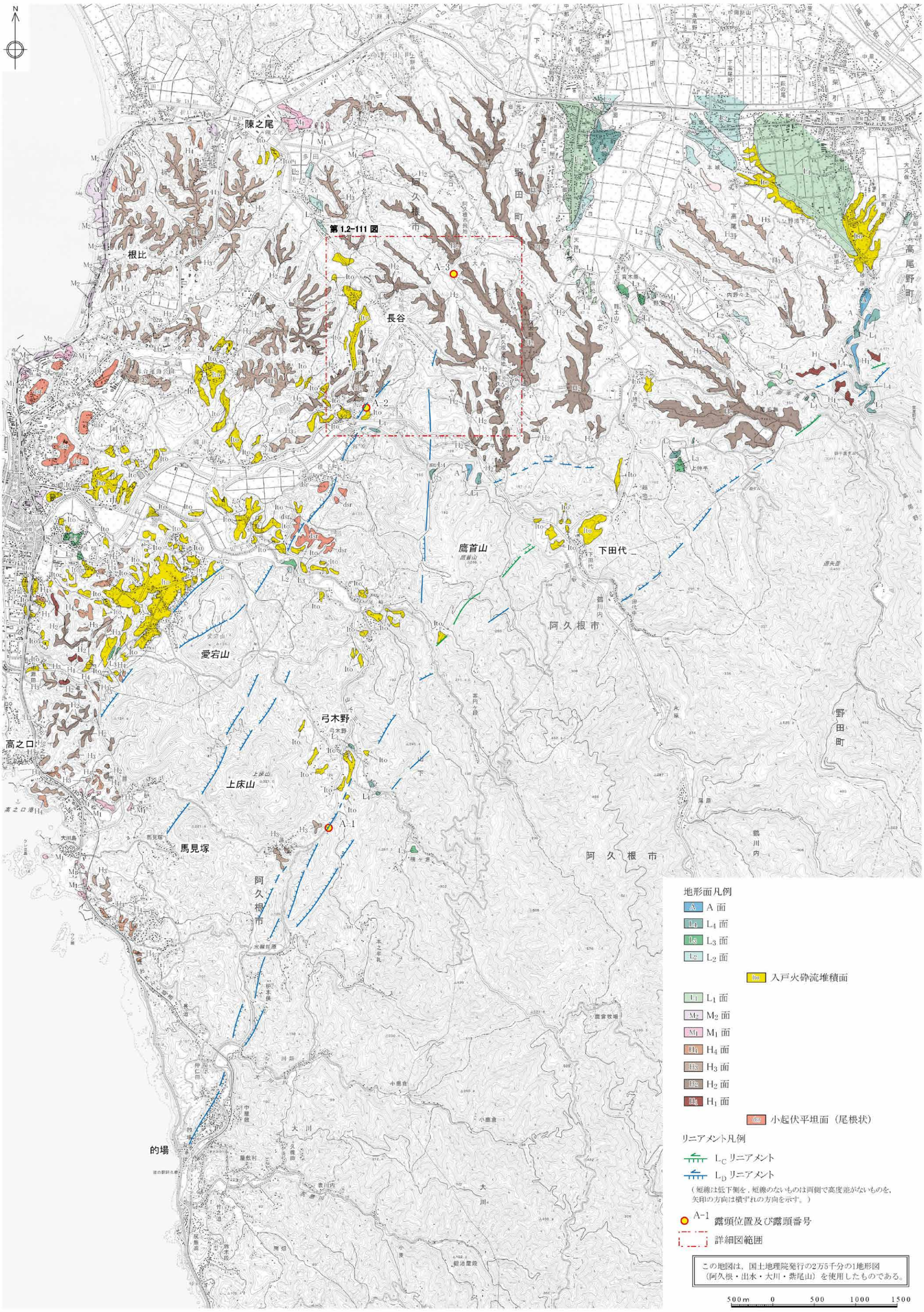
- $L_B$ リニアメント
- $L_C$ リニアメント
- $L_D$ リニアメント

(短線は低下側を，短線のないものは両側で高度差がないものを示す。)

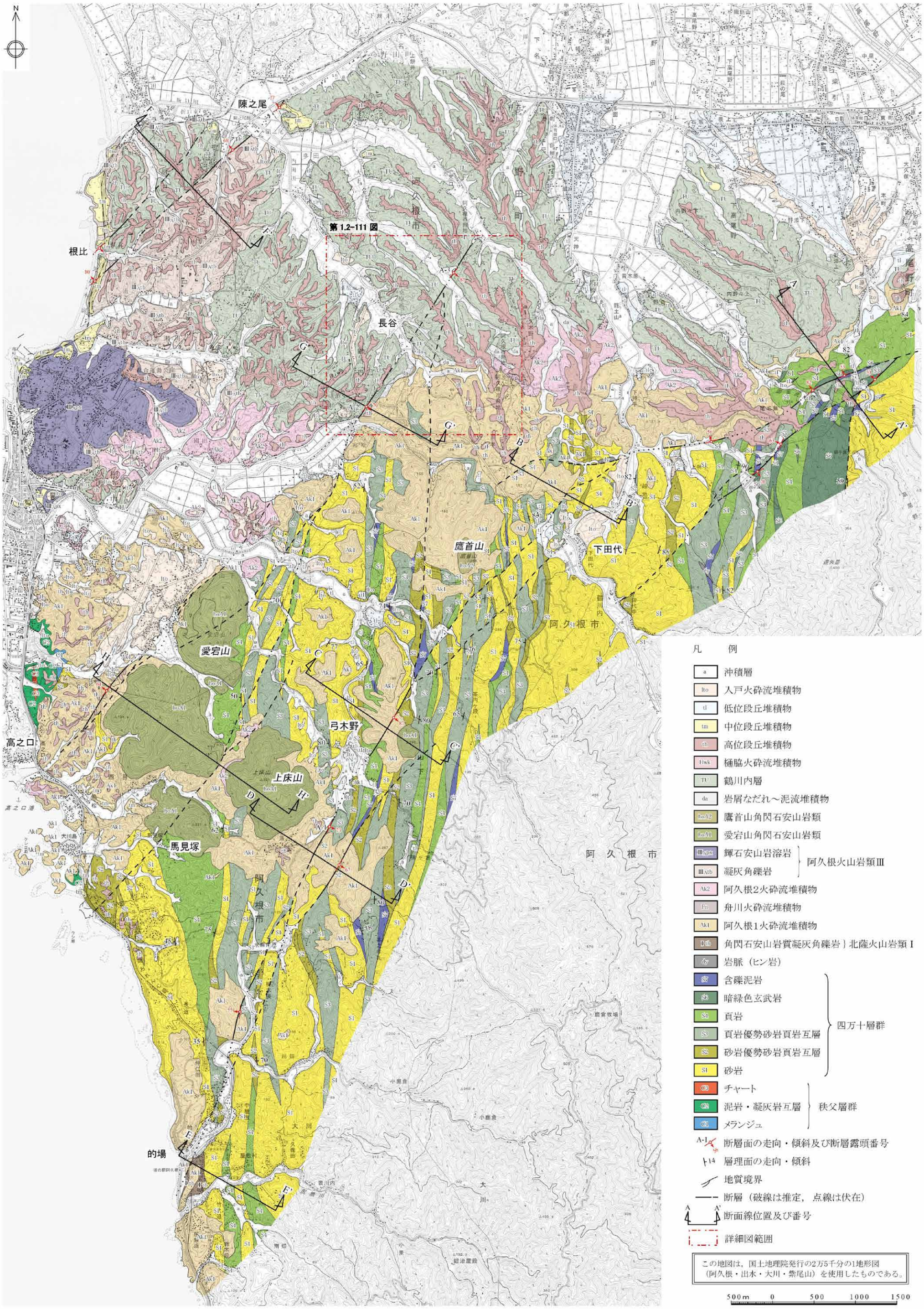
露頭凡例

- 火砕流堆積物
- 高位段丘堆積物
- 阿久根1火砕流堆積物
- 暗緑色玄武岩
- 頁岩
- 砂岩
- 四万十層群
- 断層(推定・伏在を含む)
- 断層面の走向・傾斜
- 露頭位置及び露頭番号
- 地形測量線

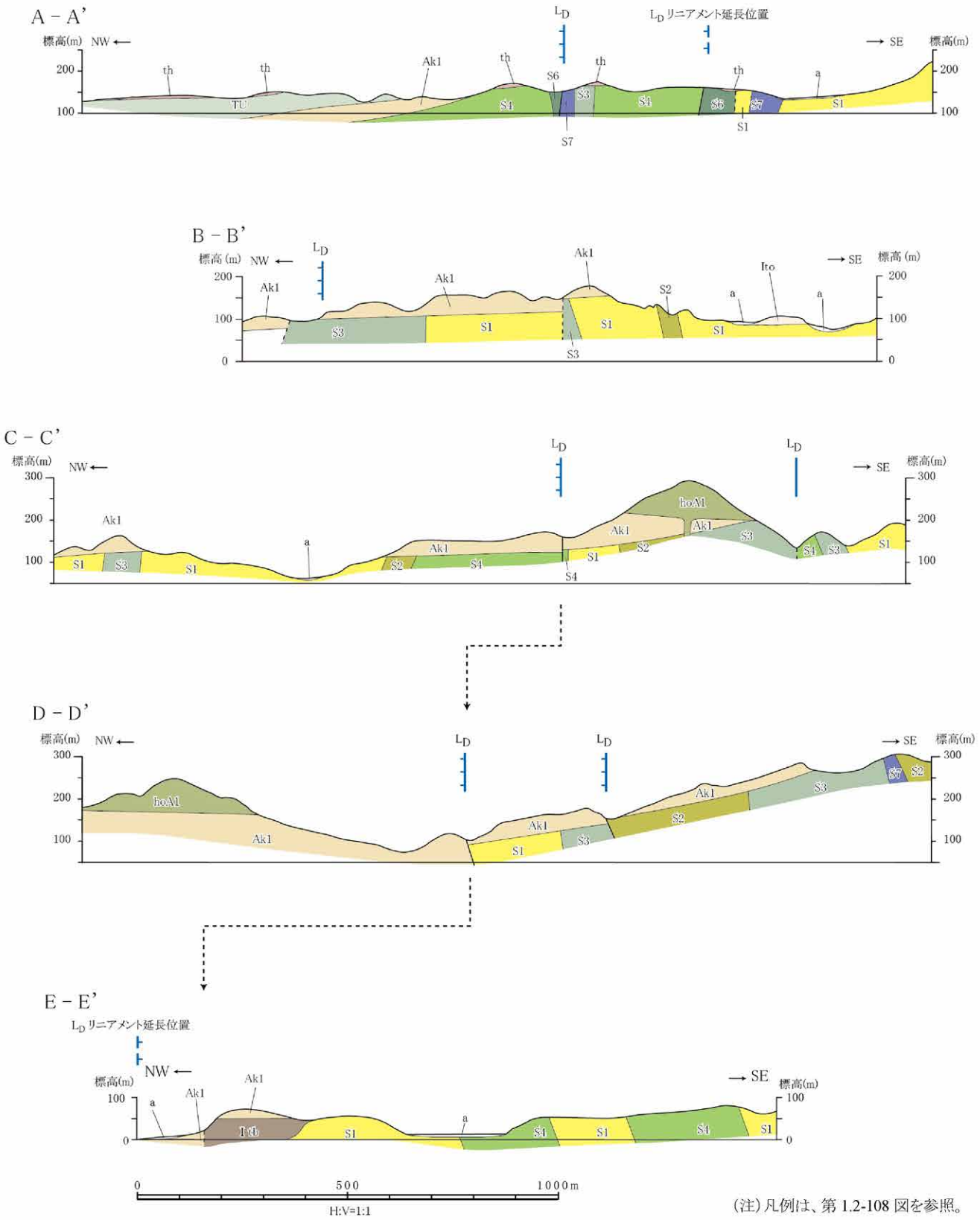
第1.2-106図　ルートマップ及び地形・地質断面図(出水市尾毛無付近)




第1.2-107図　阿久根東方リニアメント群周辺の空中写真判読図

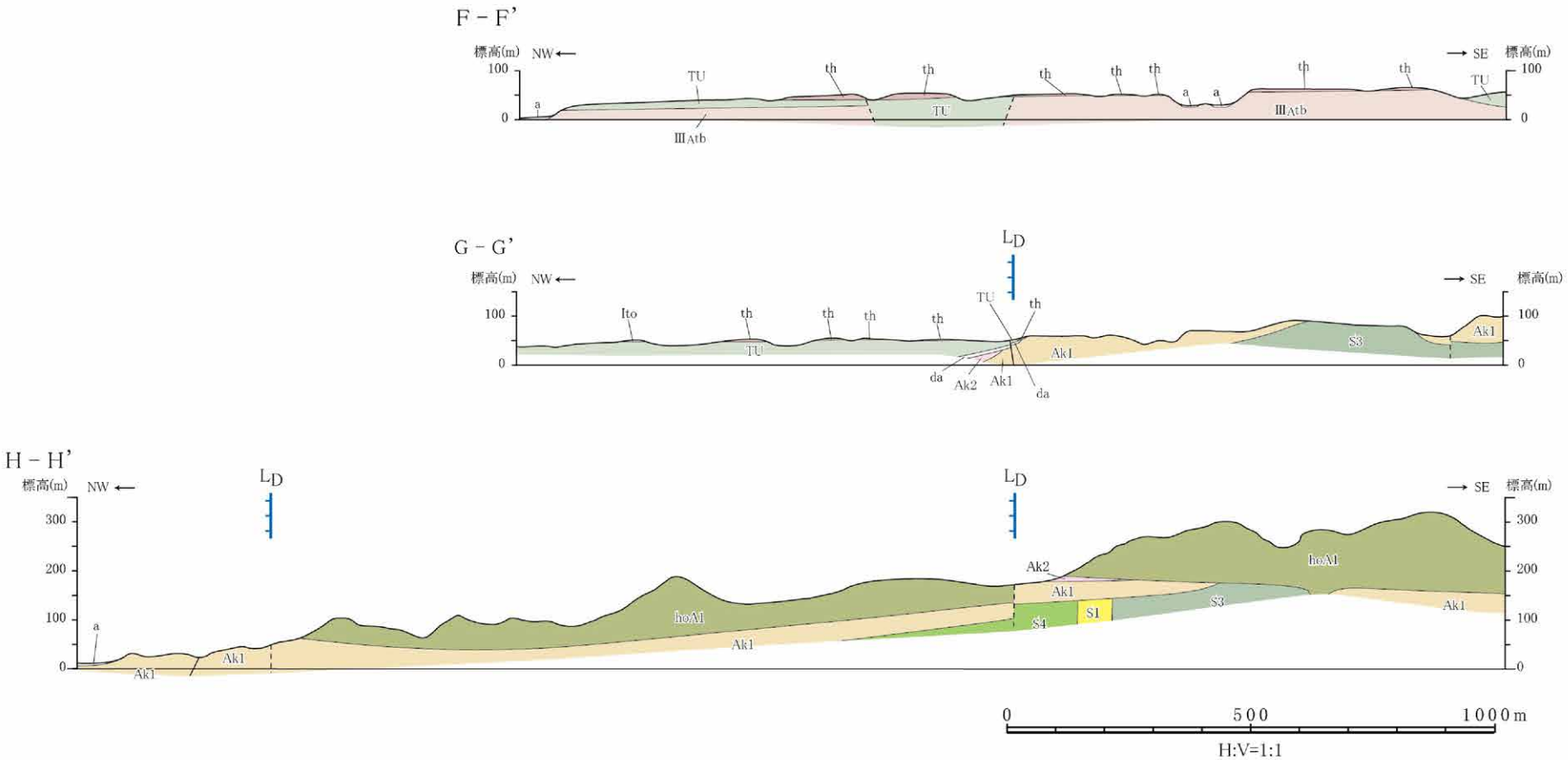



第1.2-108図　阿久根東方リニアメント群周辺の地質図



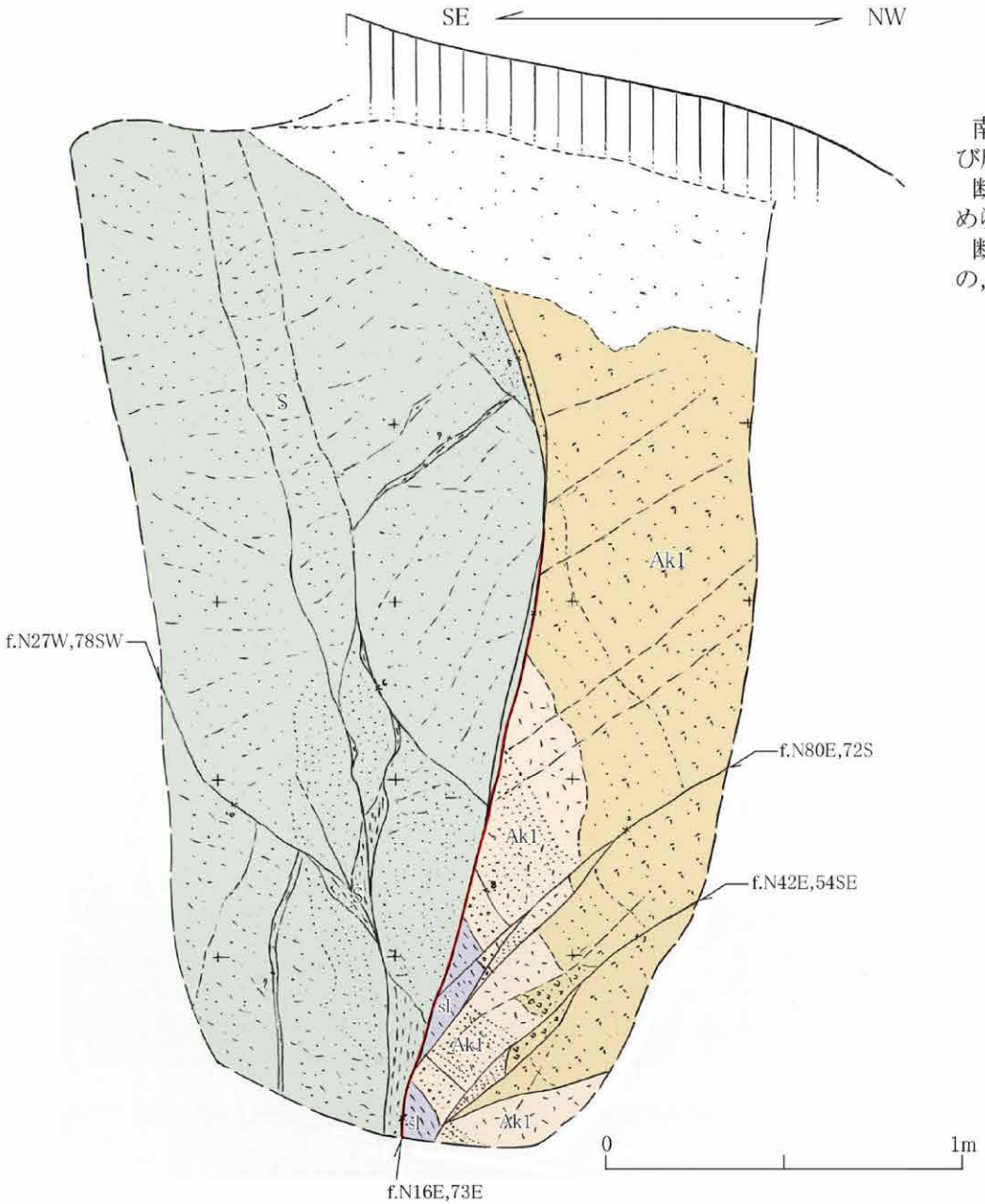

(注)凡例は、第 1.2-108 図を参照。

第1.2-109図(1)　阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図(その1)




（注）凡例は、第 1.2-108 図を参照。

第1.2-109図（2） 阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図（その2）

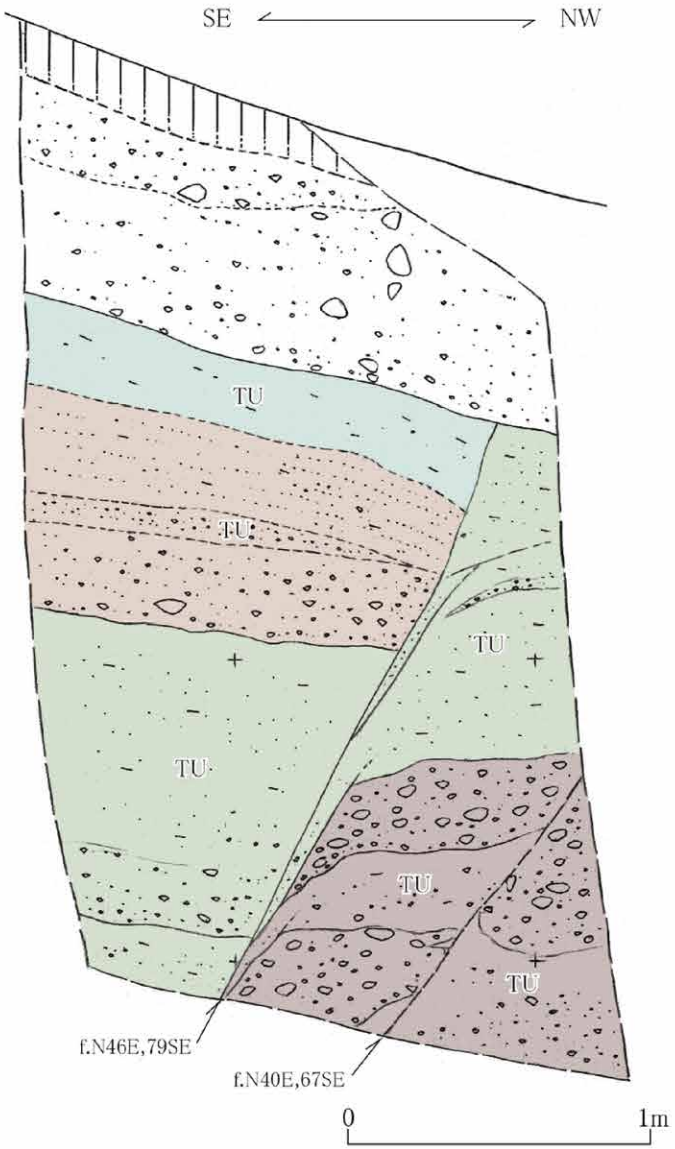



南東側の四万十層群と北西側の阿久根1火砕流堆積物及び腐植質シルトとを境する逆断層。
断層面は湾曲し，幅 1mm ～ 5mm 程度の軟質粘土が認められる。
断層面近傍の四万十層群内には節理が認められるものの，顕著な破砕は認められない。

凡例

- 黒褐色土壌
- 茶褐色シルト質砂（一部土壌化）
- 茶褐色細粒凝灰岩 } 阿久根 1 火砕流堆積物
- 軽石凝灰岩 } 阿久根 1 火砕流堆積物
- 腐植質シルト
- 細粒砂岩 } 四万十層群
- 軟質粘土
- f.N16E,73E 断層面の走向・傾斜

第1.2-110図（1） 露頭スケッチ（Loc.A-1，阿久根市弓木野南方）




鶴川内層中の正断層。
断層面は平面的であるものの，軟質な破砕部は認められない。

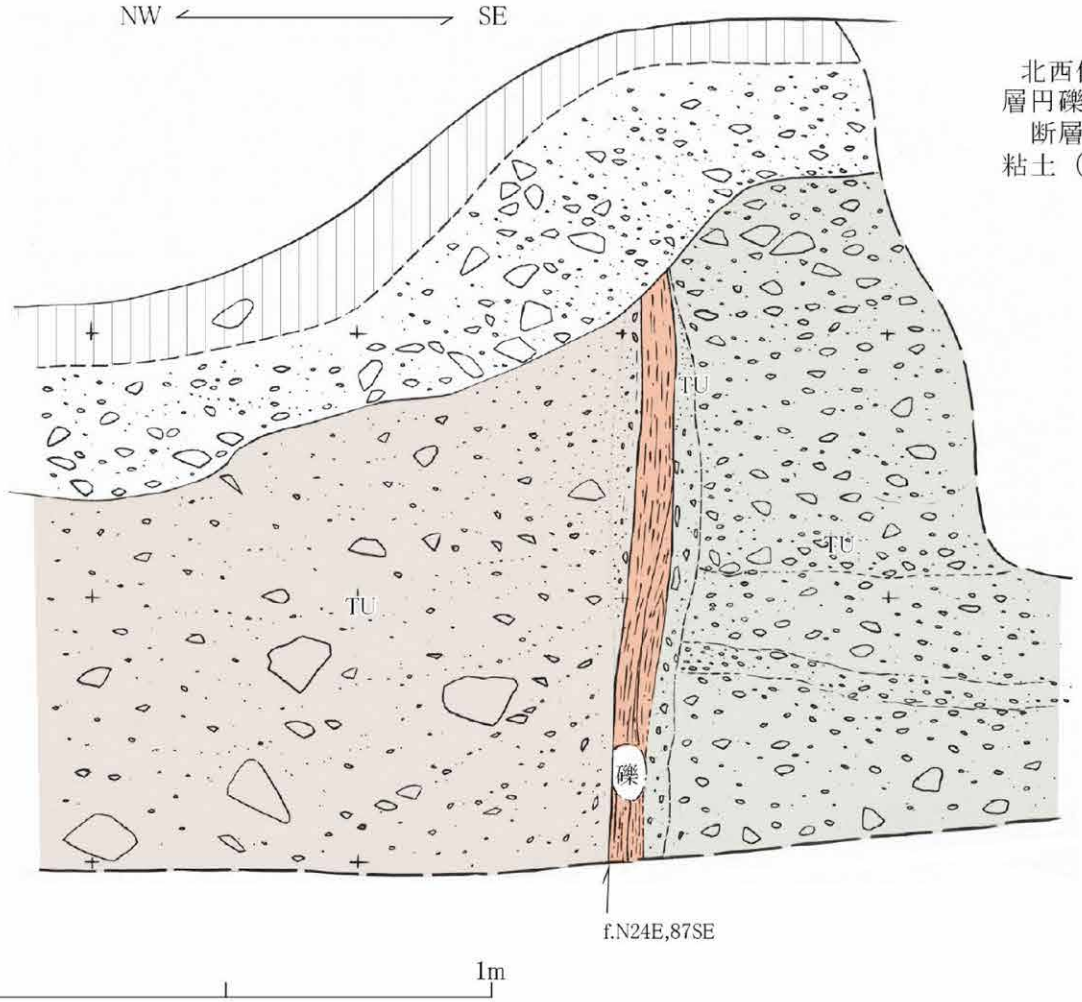
凡例

- 黒褐色土壌
- ローム質礫層
- 茶褐色シルト
- 砂層・細礫層
- 砂質シルト層
- 礫層・砂層

（茶褐色シルト～礫層・砂層：鶴川内層）

f.N46E,79SE　断層面の走向・傾斜

第1.2-110図（2）　露頭スケッチ（Loc.A-2，阿久根市栫）



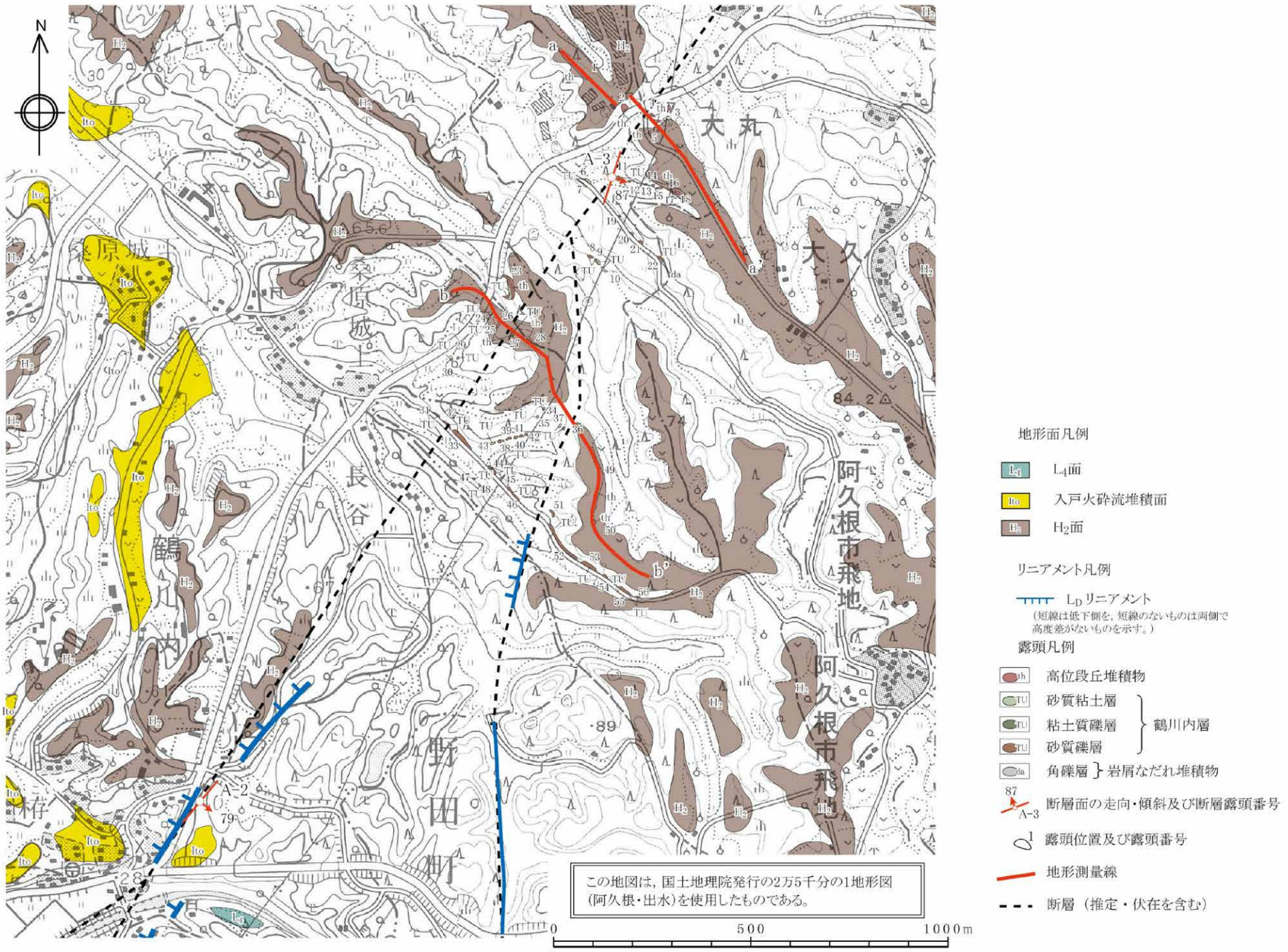

北西側の鶴川内層砂・シルト質角礫岩と南東側の同層円礫岩とを境する高角度断層。
断層面は不明瞭であるが，断層面に沿って礫混じり粘土（擾乱部）及び礫の再配列が認められる。

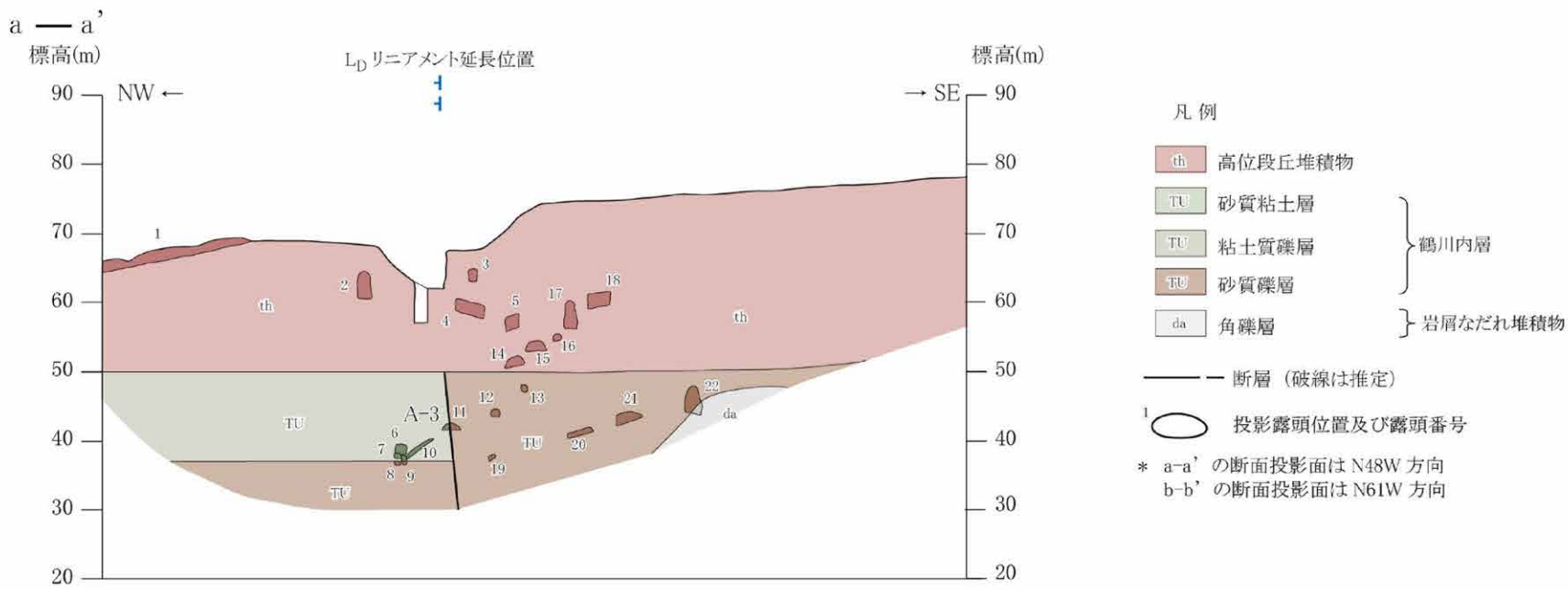
凡例

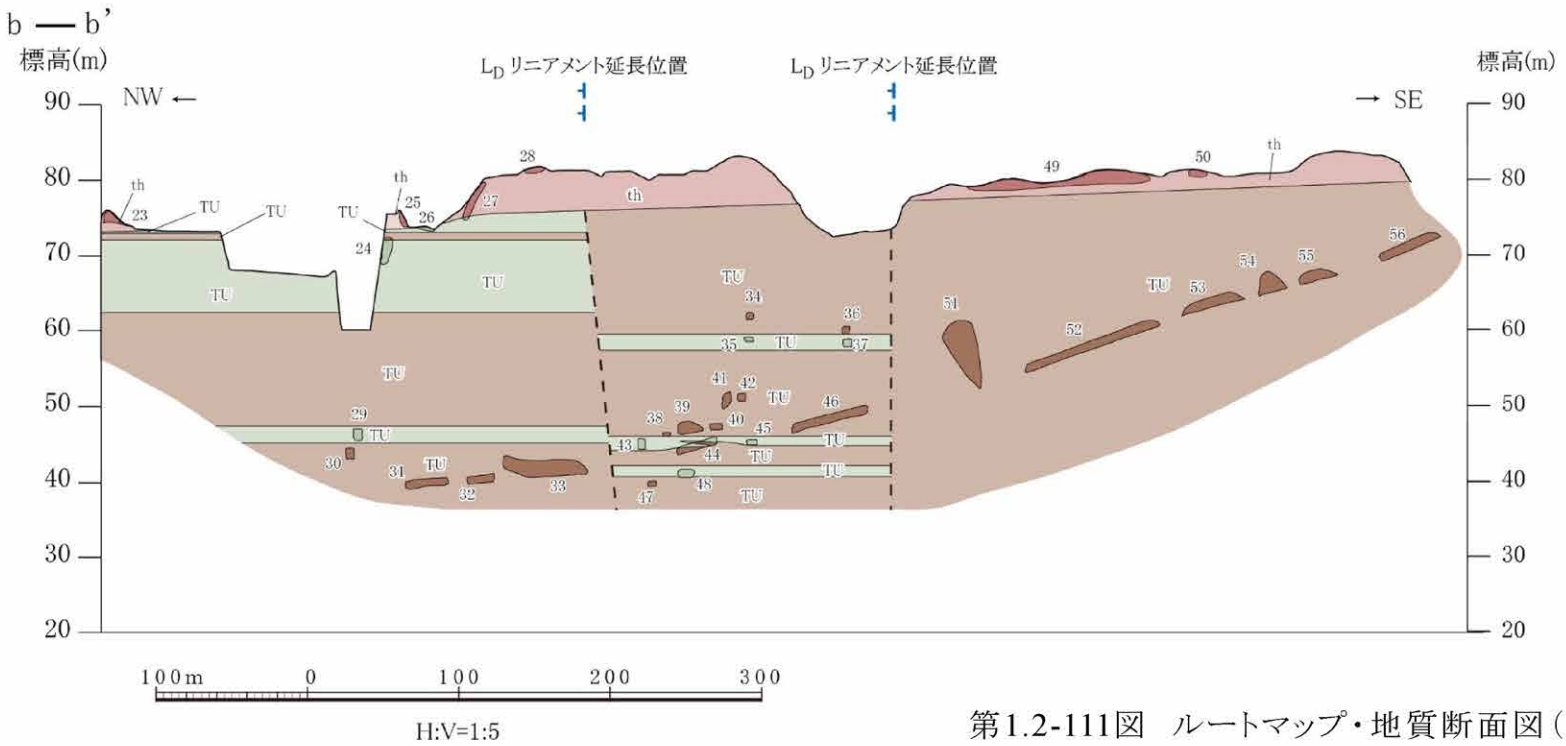
- 茶褐色土壌
- 崖錐性堆積物
- 円礫岩 } 鶴川内層
- 砂・シルト質角礫岩 } 鶴川内層
- 礫混じり粘土（擾乱部）

f.N24E,87E　断層面の走向・傾斜

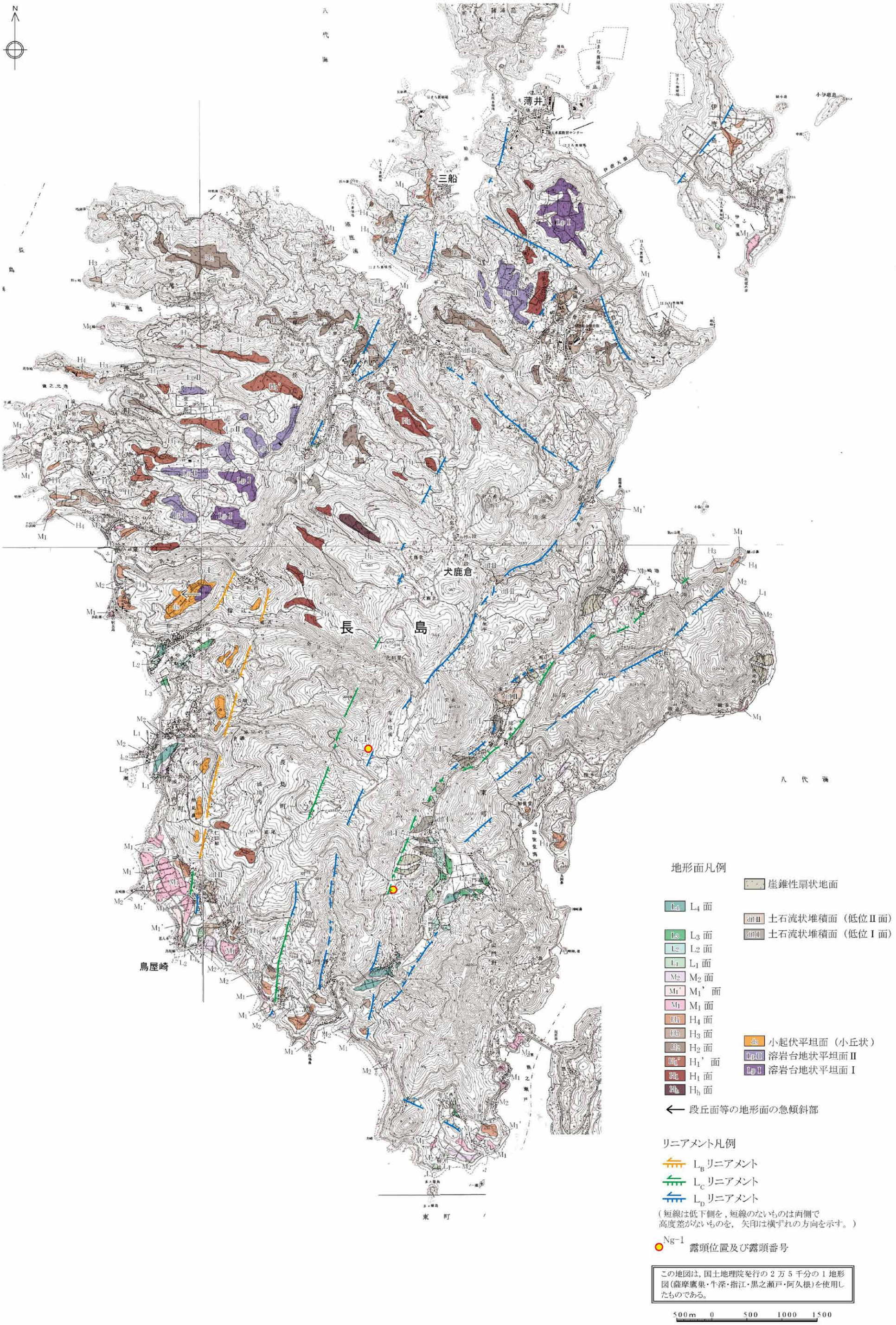
第1.2-110図（3）　露頭スケッチ（Loc.A-3，出水市大丸）



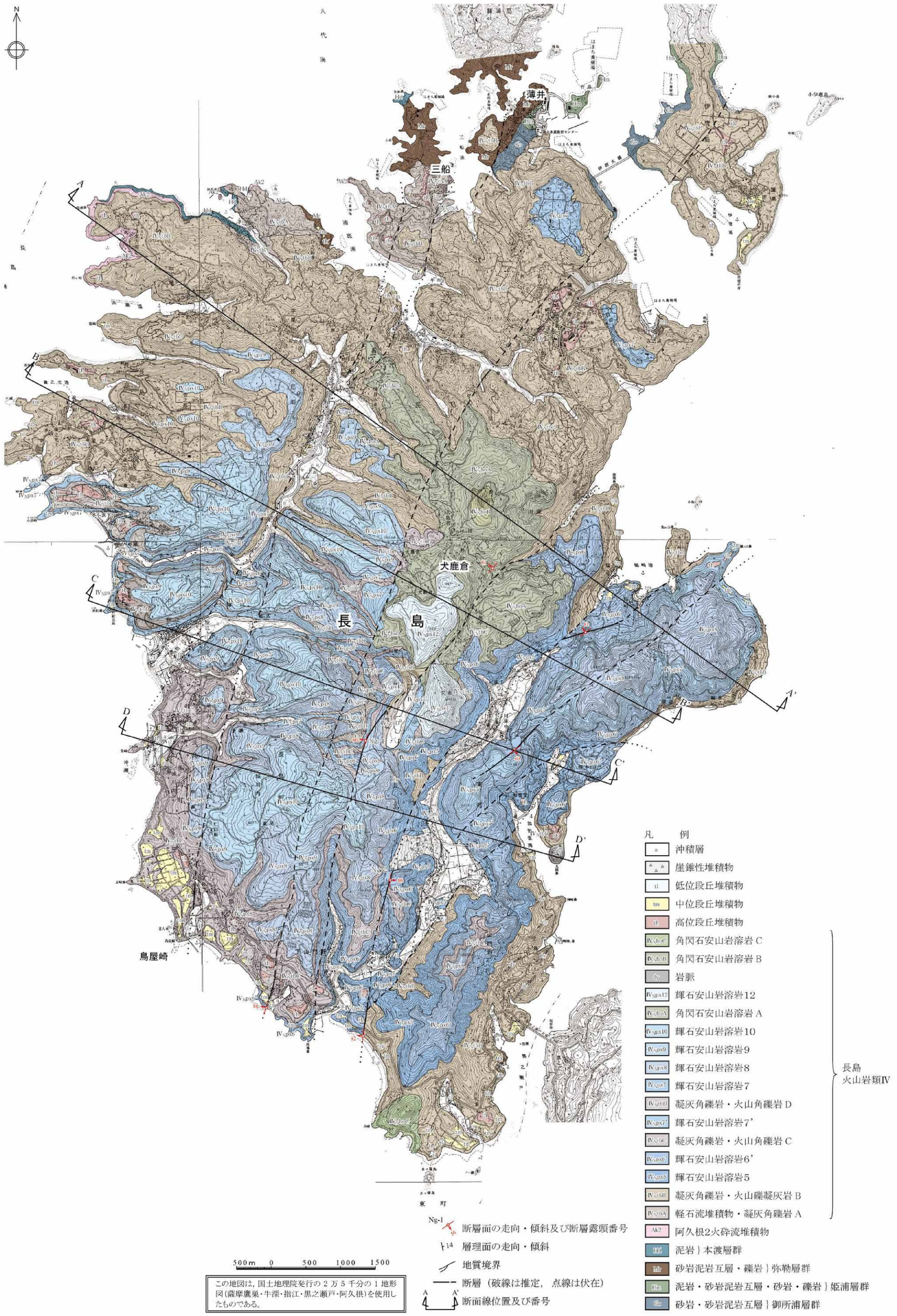



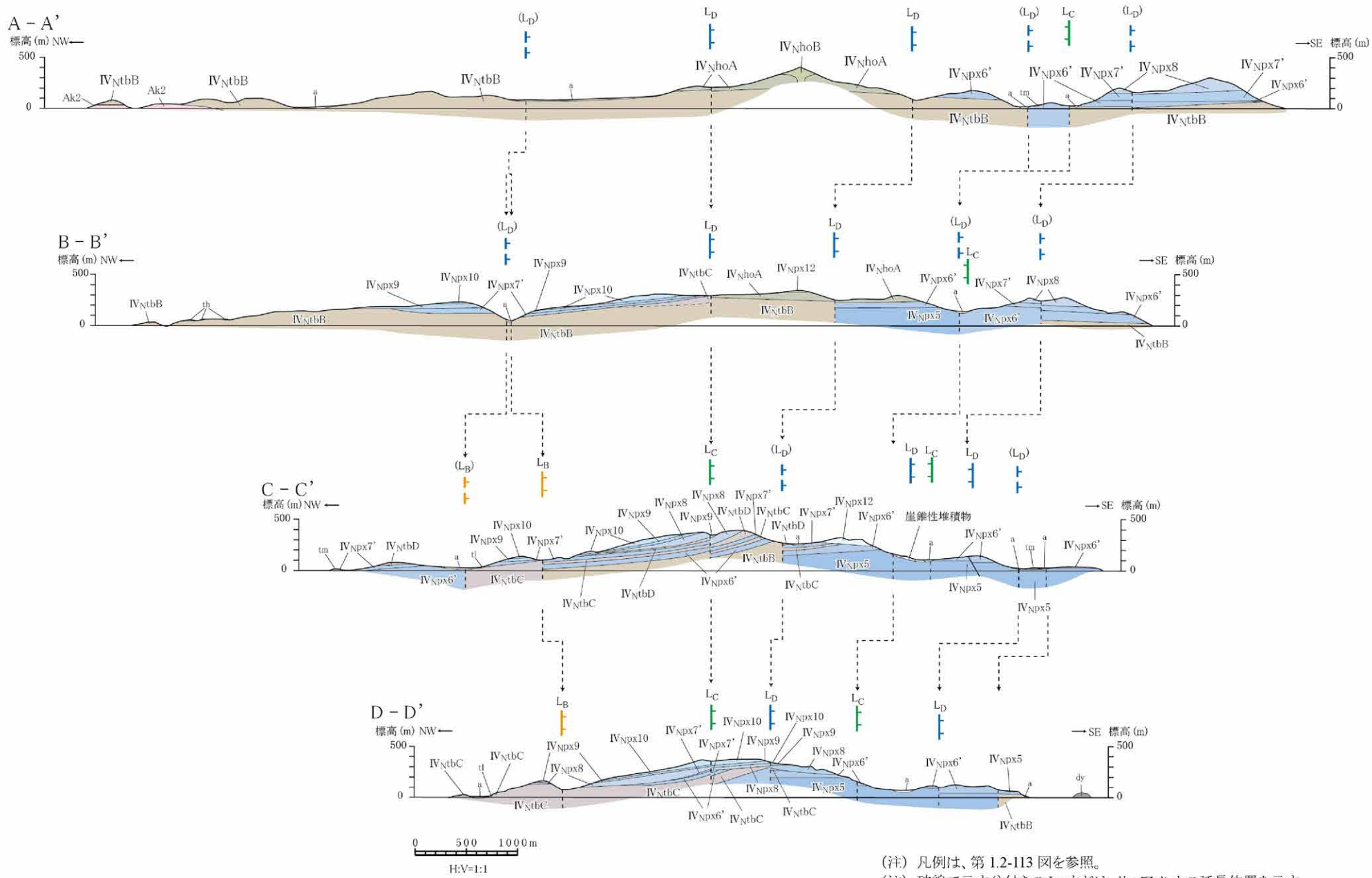

第1.2-111図　ルートマップ・地質断面図（阿久根市長谷付近）




第1.2-112図　長島西断層・長島断層群周辺の空中写真判読図

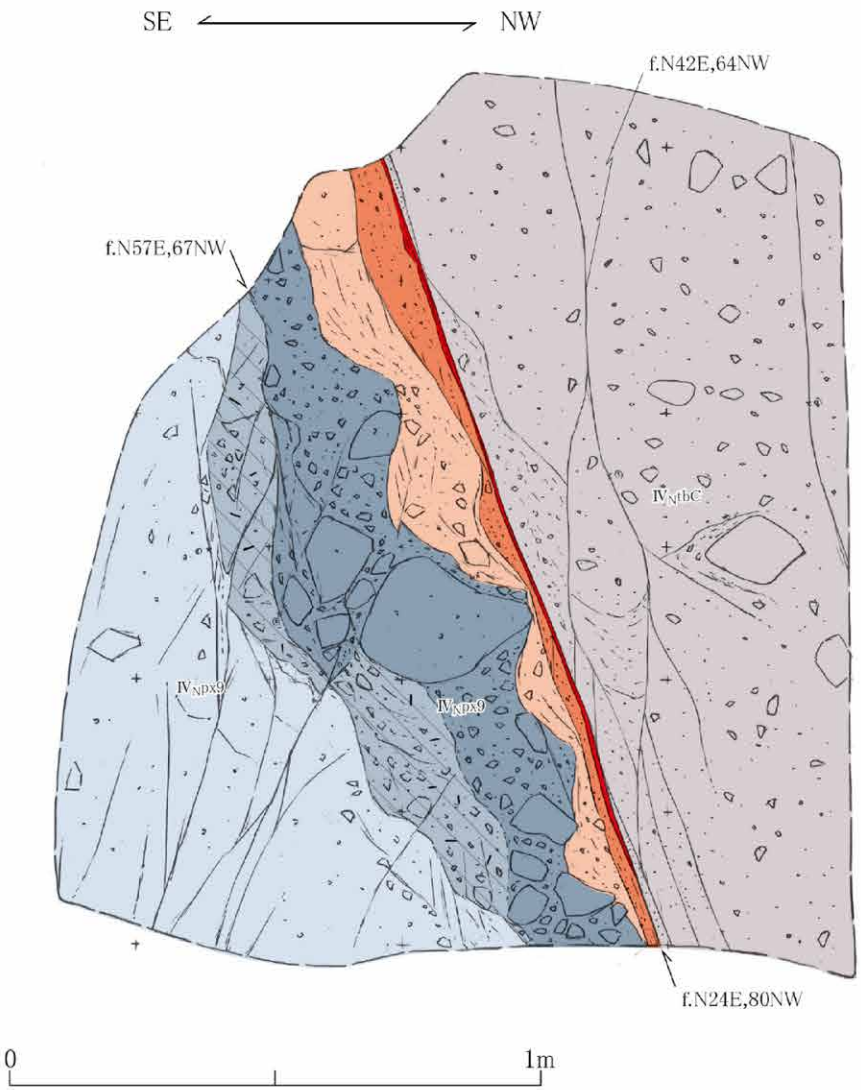



第1.2-113図　長島西断層・長島断層群周辺の地質図




(注) 凡例は、第 1.2-113 図を参照。
(注) 破線で示す()付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-114図　長島西断層・長島断層群周辺の地質断面図




南東側の輝石安山岩溶岩9（長島火山岩類Ⅳ）と北西側の凝灰角礫岩C（同火山岩類）とを境する高角度断層。
断層面は平面的であり，幅5mm～1cm程度の軟質粘土が認められる。

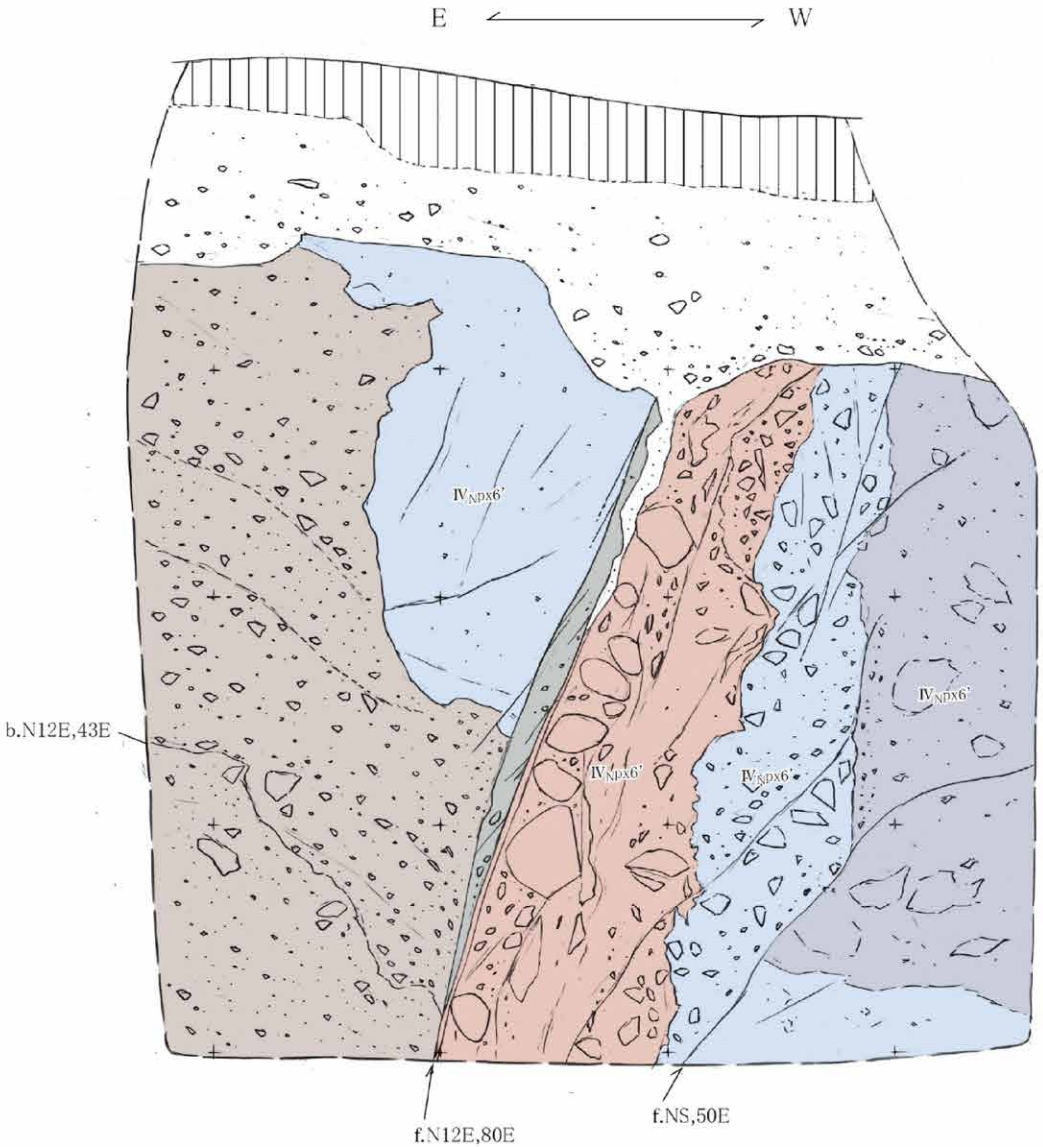
凡 例

- IVNpx9 輝石安山岩溶岩
- IVNpx9 輝石安山岩溶岩節理破砕部
- IVNpx9 輝石安山岩溶岩角礫破砕部
- IVNtbC 凝灰角礫岩C
- 赤褐色細角礫破砕部
- 角礫粘土質砂状破砕部
- 軟質粘土

輝石安山岩溶岩9 ／ 長島火山岩類Ⅳ

f.N24E,80NW　断層面の走向・傾斜

第1.2-115図（1）　露頭スケッチ（Loc.Ng-1，長島町毎床牧場）




輝石安山岩溶岩6'（長島火山岩類Ⅳ）中の高角度断層。
断層面は明瞭であるものの，湾曲しており，癒着している。断層面近傍には節理がみられるものの，軟質な破砕部は認められず，固結している。

凡 例

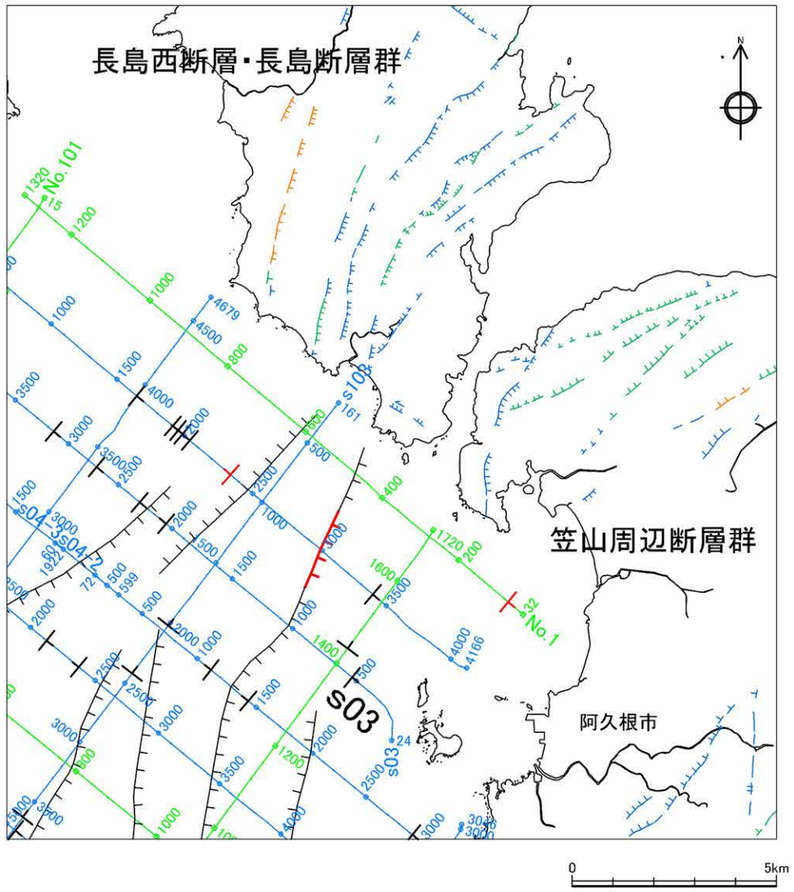
- 黒色土壌
- 礫混じり茶褐色土壌
- 赤紫色変質溶岩
- 角礫状溶岩
- 赤褐色変質溶岩
- 火山礫凝灰岩
- 角礫破砕部

} 輝石安山岩溶岩6'｝長島火山岩類Ⅳ

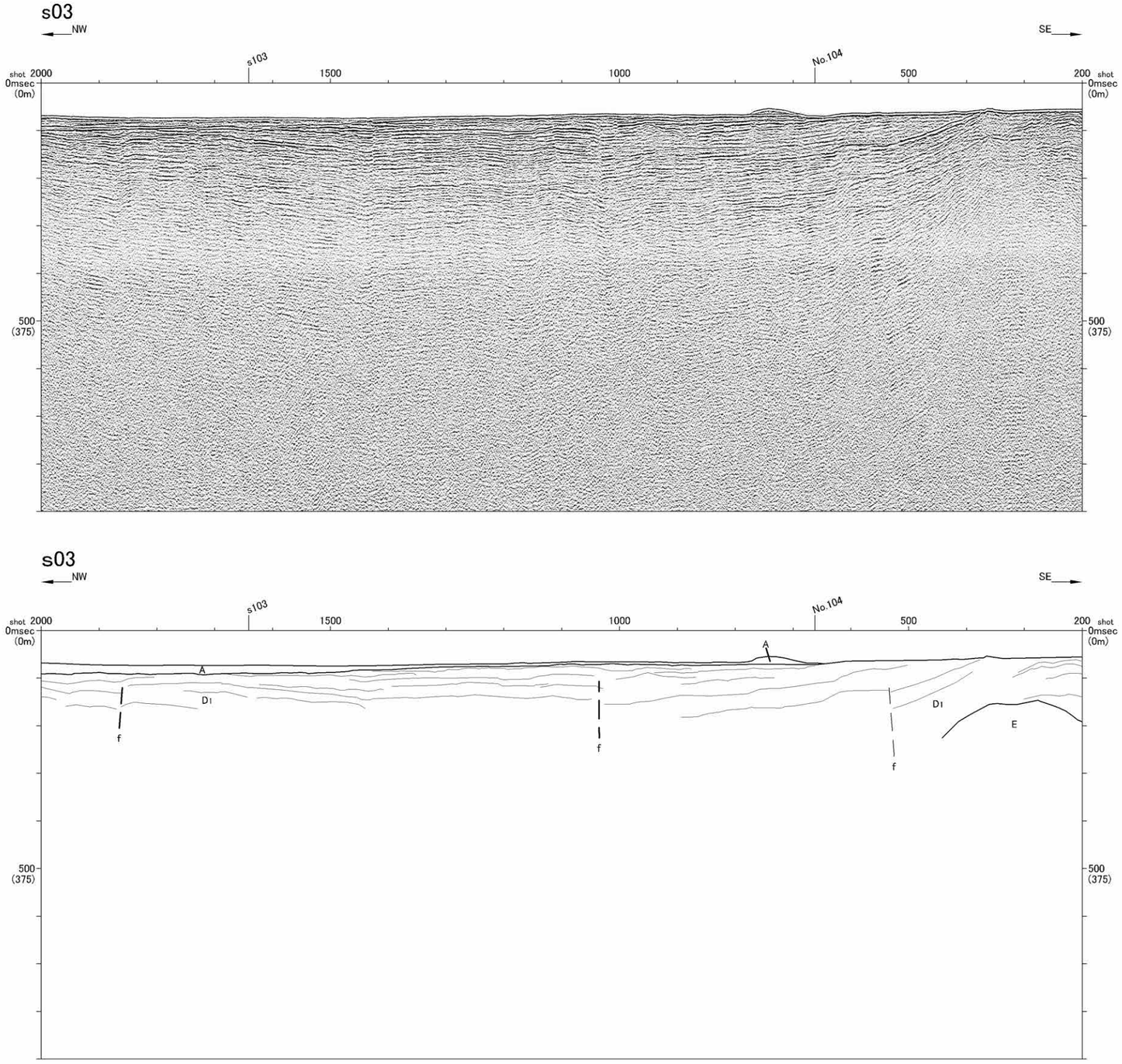
f.N12E,80E　断層面の走向・傾斜
b.N12E,43E　層理面の走向・傾斜

0　1m

第1.2-115図（2）　露頭スケッチ（Loc.Ng-2，長島町山門野下）



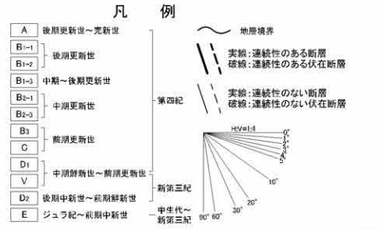

長島西断層・長島断層、笠山周辺断層位置図




音波探査記録断面図

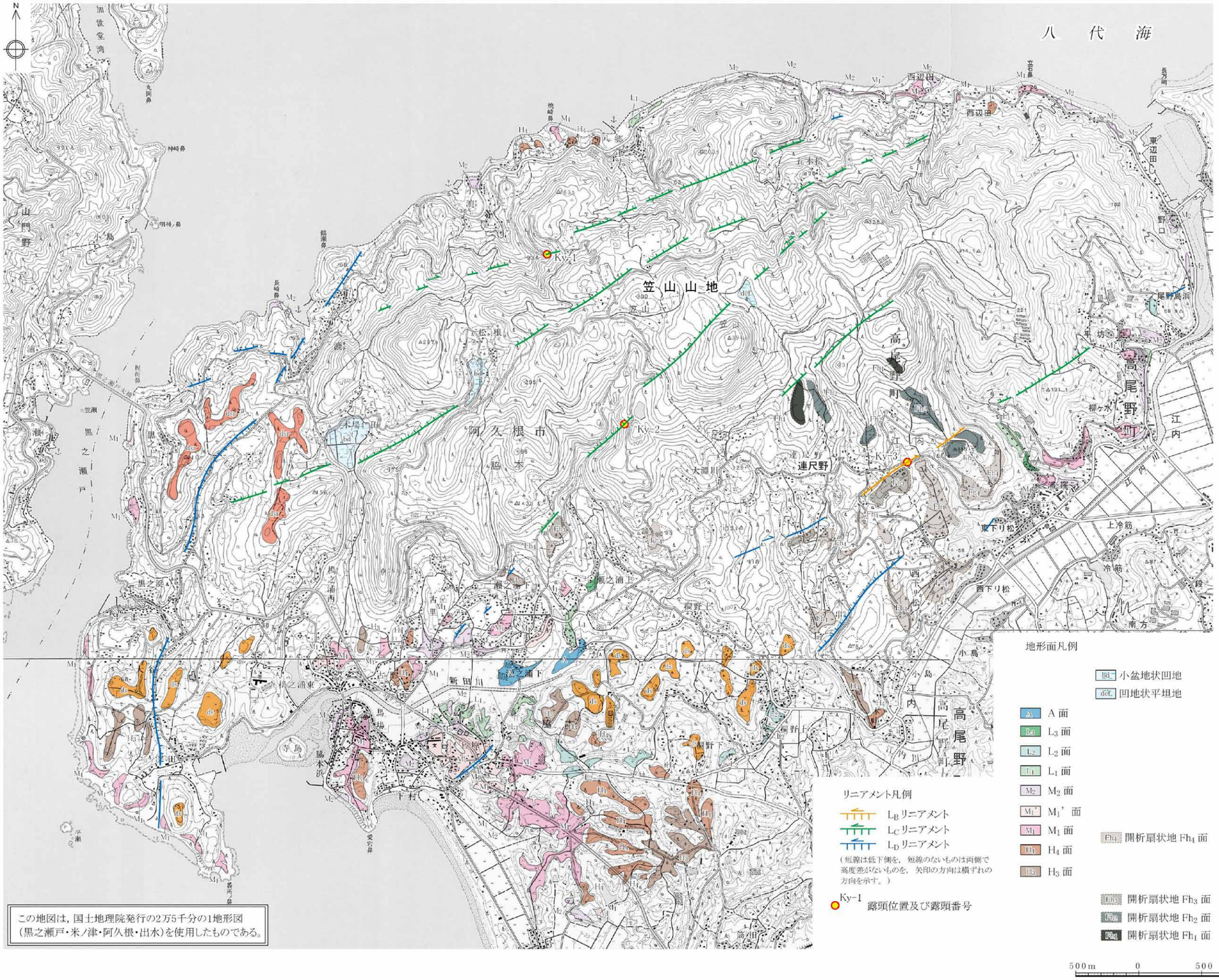
凡　　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- $L_B$リニアメント
- $L_C$リニアメント
- $L_D$リニアメント

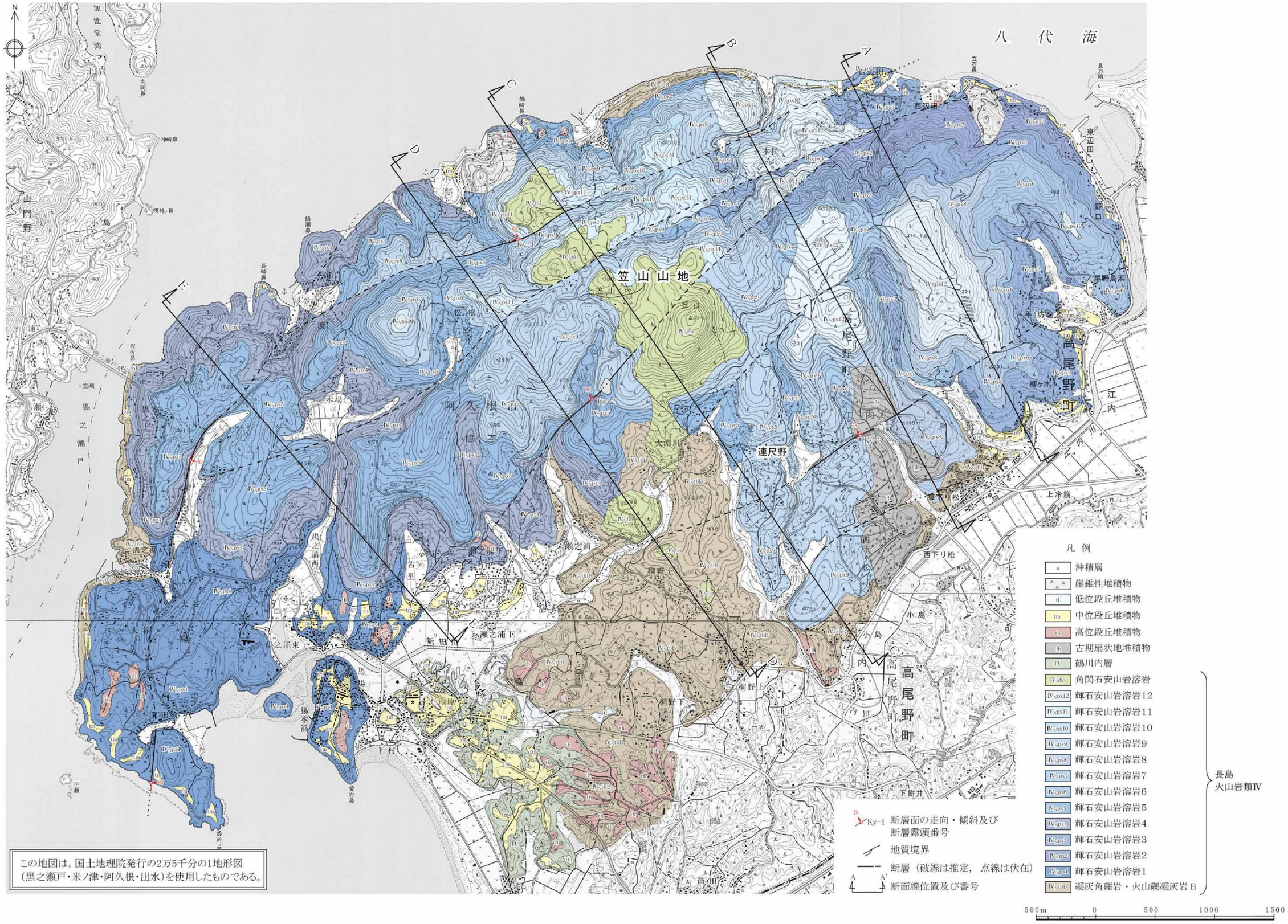



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（熊本・鹿児島）を編集したものである。

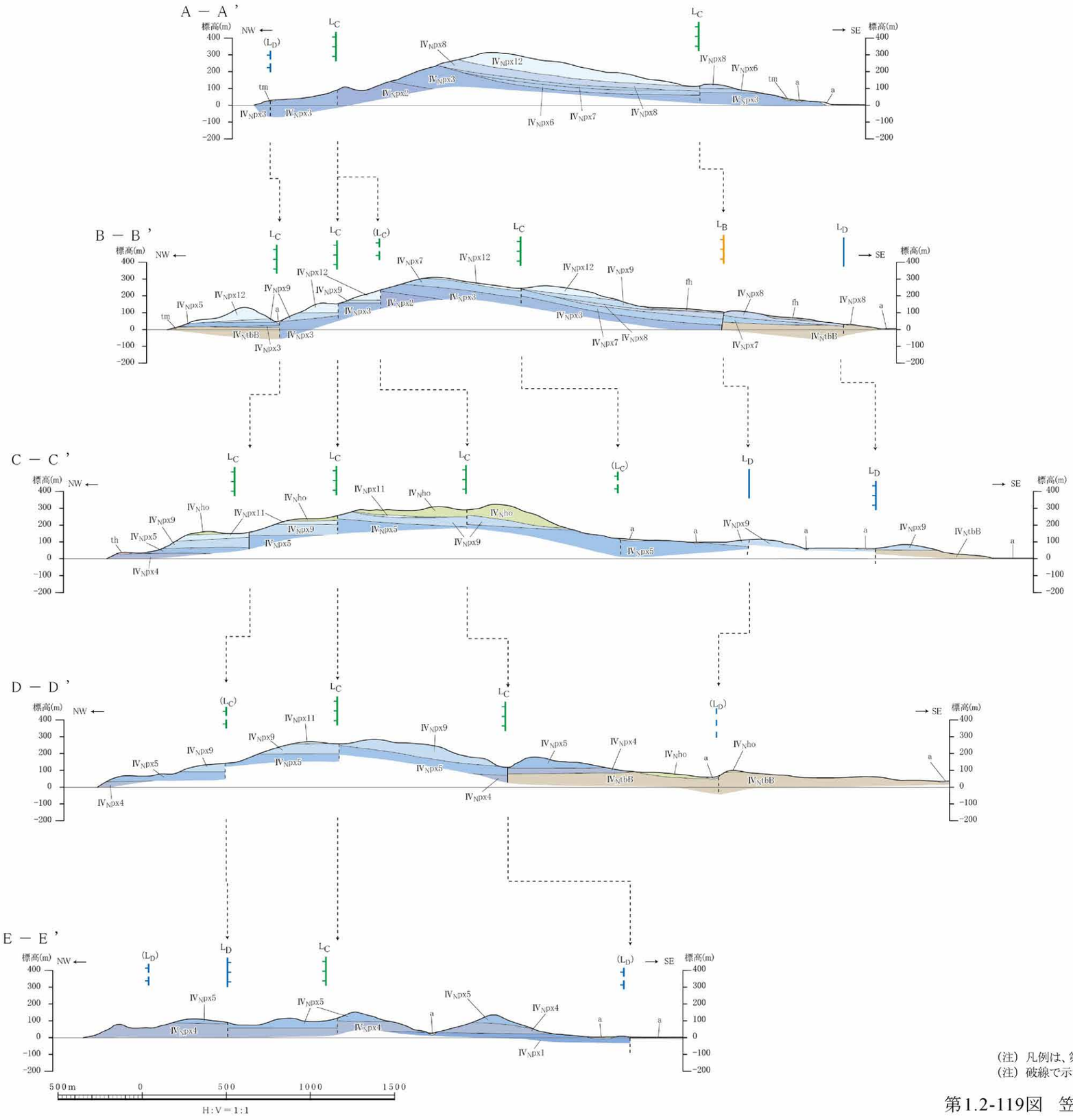
第1.2-116図　長島西断層・長島断層群、笠山周辺断層群海域延長部（s03測線）




第1.2-117図　笠山周辺断層群周辺の空中写真判読図

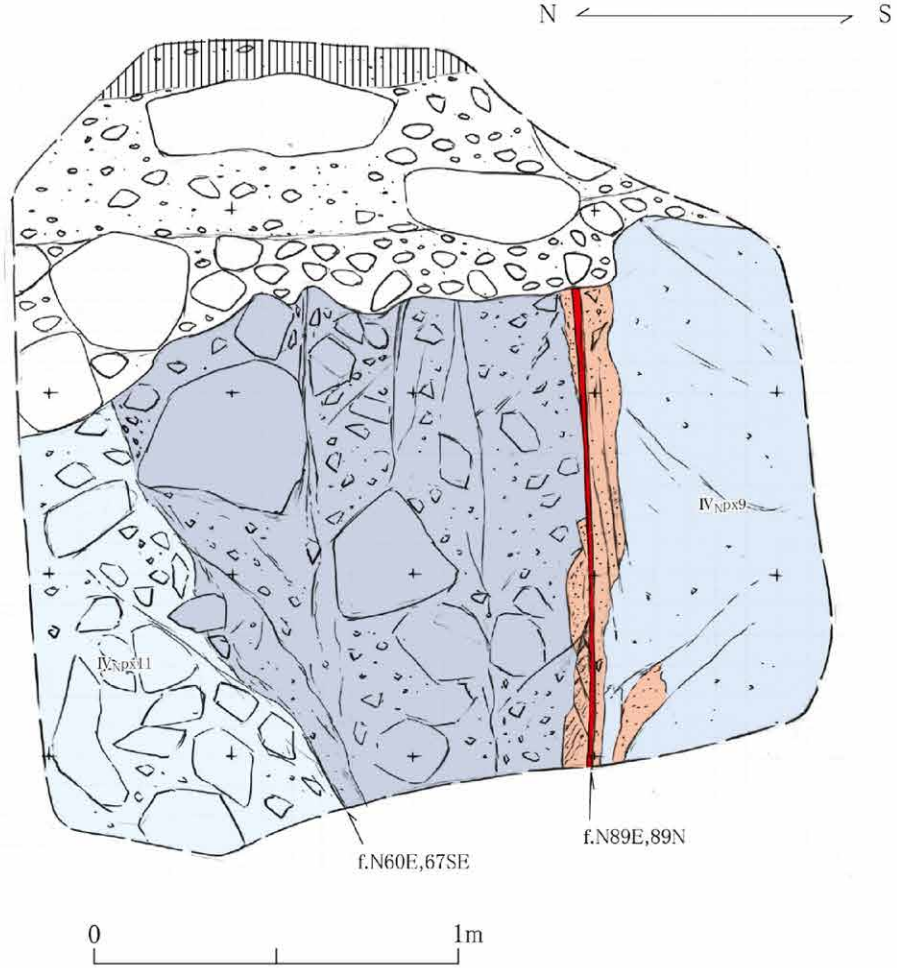



第1.2-118図　笠山周辺断層群周辺の地質図




（注）凡例は、第 1.2-118 図を参照。
（注）破線で示す（）付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-119図　笠山周辺断層群周辺の地質断面図



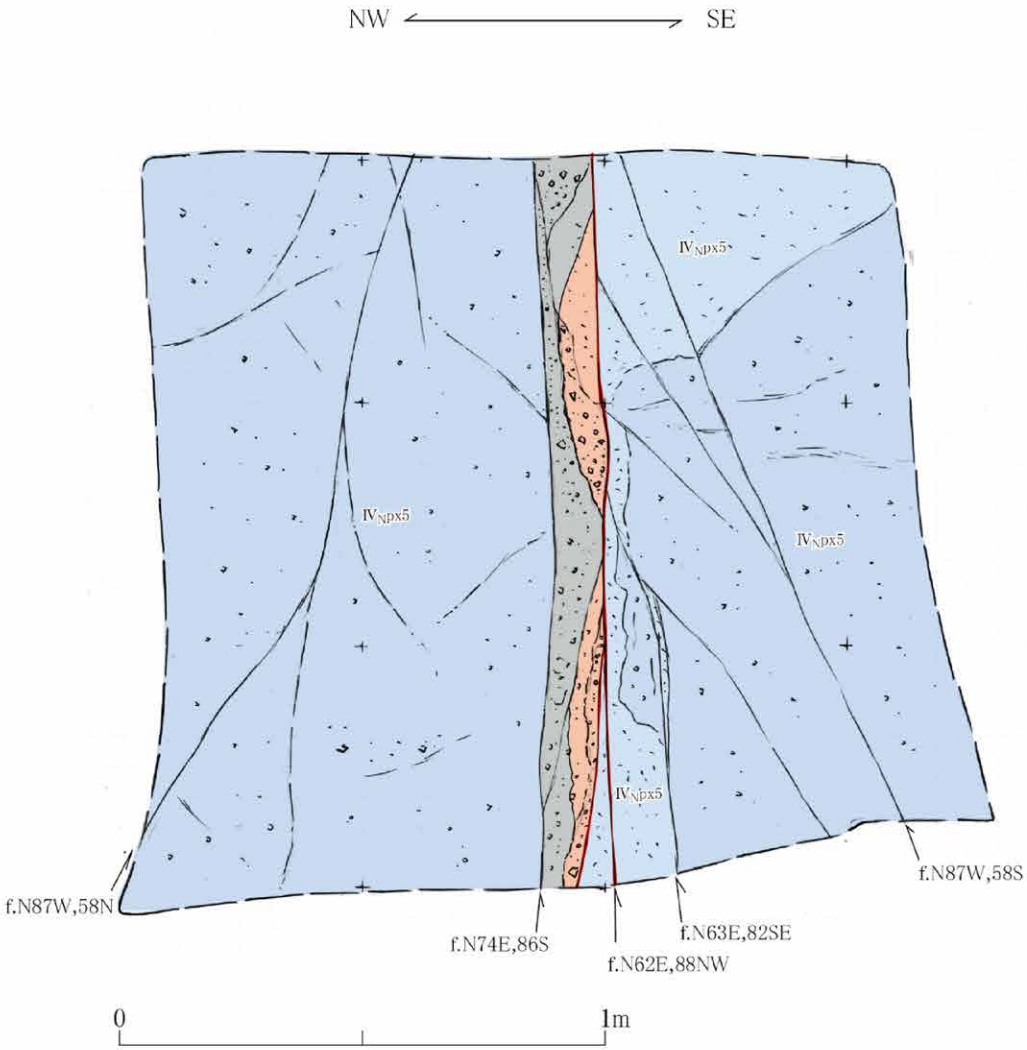

北側の輝石安山岩溶岩11（長島火山岩類Ⅳ）と南側の輝石安山岩溶岩9（同火山岩類）とを境する高角度断層。
断層面は平面的であり，5mm～1cm程度の軟質粘土が認められ，断層面上には鉛直方向の条線が明瞭である。

凡 例

- 礫混じり茶褐色土壌
- 角礫層
- 自破砕溶岩｝輝石安山岩溶岩11
- 溶岩弱変質部
- 塊状溶岩｝輝石安山岩溶岩9
- 含細角礫粘土質砂状破砕部
- 軟質粘土
- f.N89E,89N　断層面の走向・傾斜

（自破砕溶岩～塊状溶岩：長島火山岩類Ⅳ）

第1.2-120図（1）　露頭スケッチ（Loc.Ky-1，阿久根市笠山北西）




輝石安山岩溶岩5（長島火山岩類Ⅳ）中の高角度断層。
断層面は平面的であり，幅1mm程度の軟質粘土が認められる。

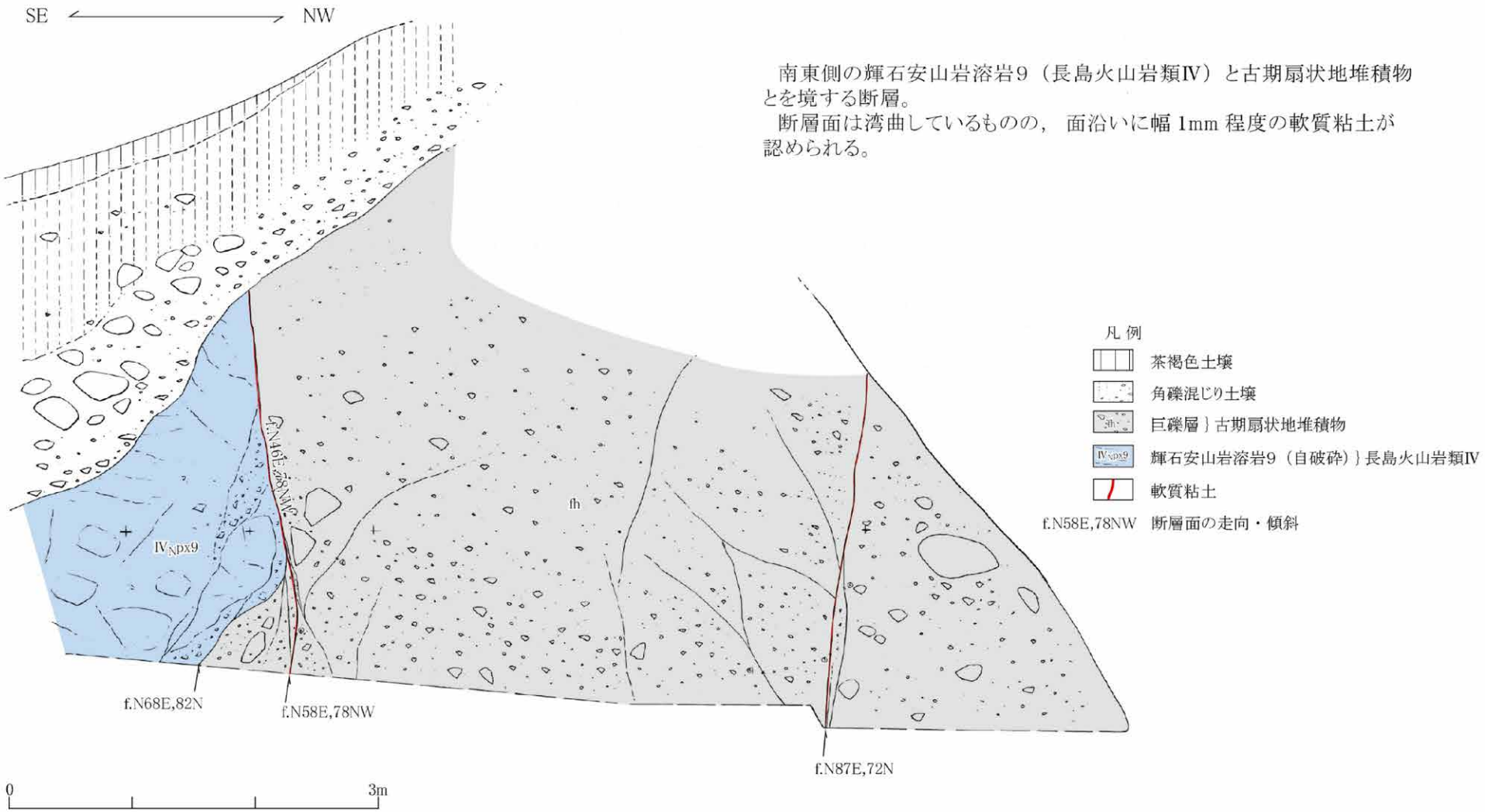
凡 例

- 塊状溶岩
- 黄褐色～赤褐色変質部
- 角礫破砕部
- 粘土質細角礫破砕部
- 軟質粘土

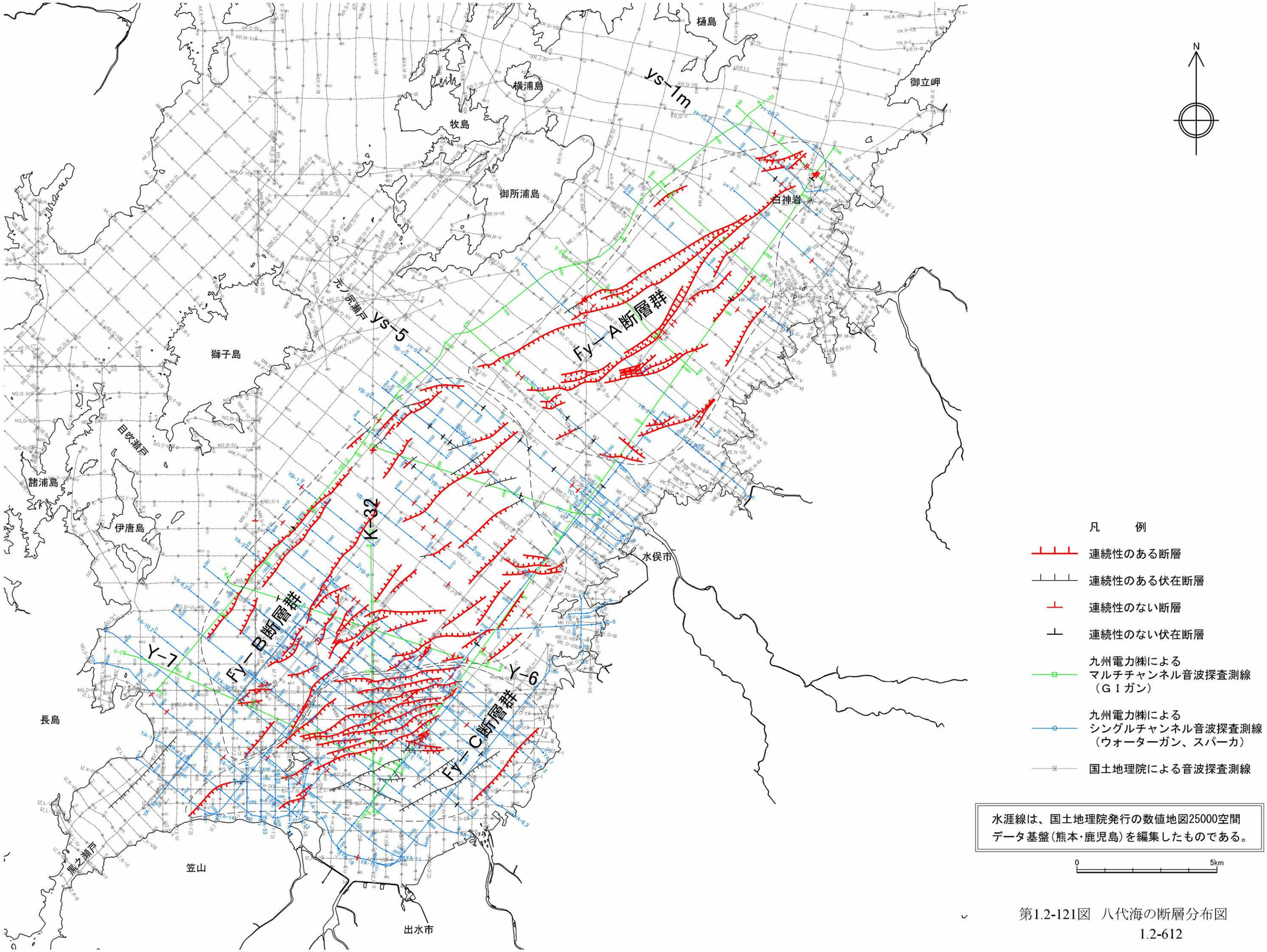
} 輝石安山岩溶岩5｝長島火山岩類Ⅳ

f.N62E,88NW　断層面の走向・傾斜

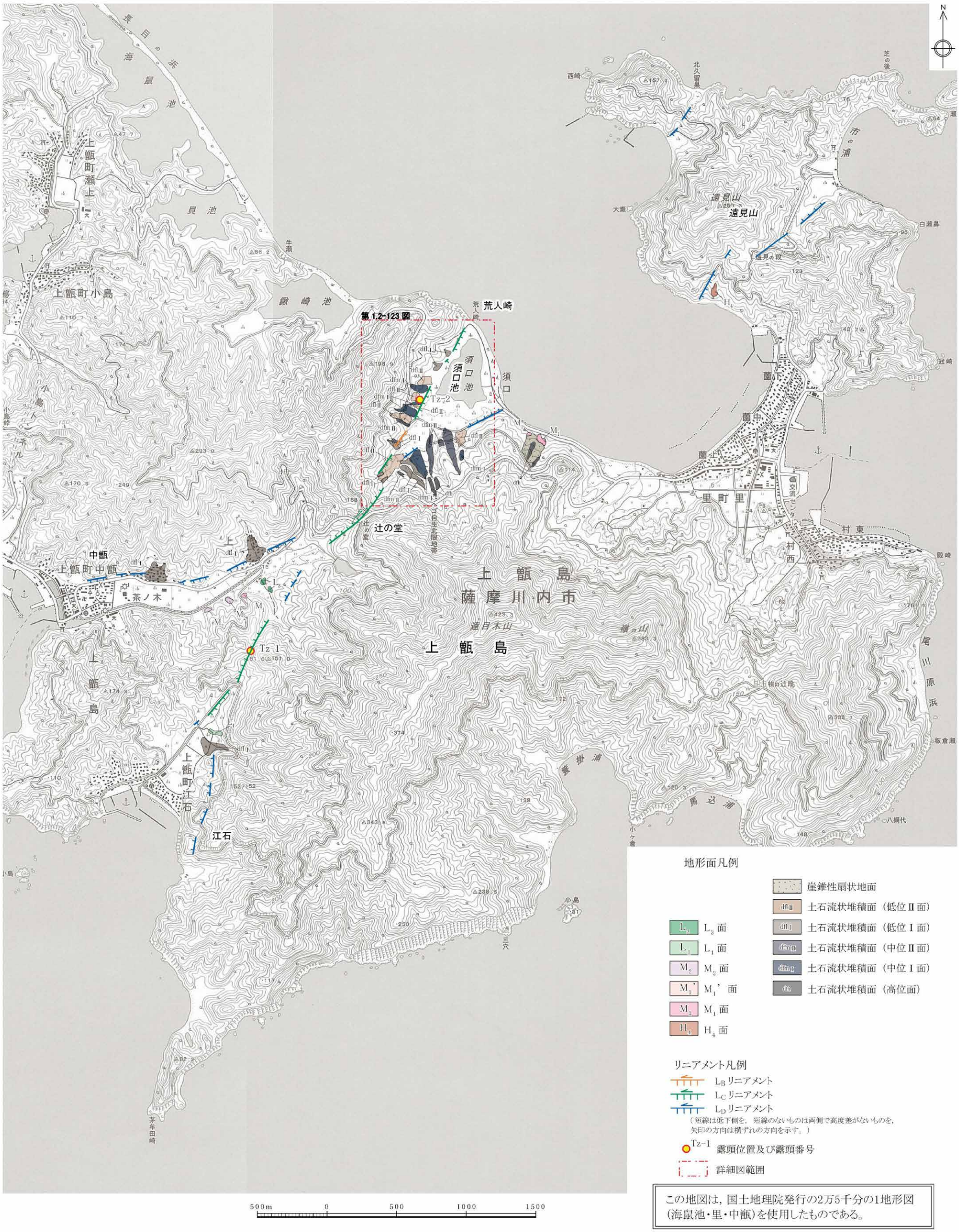
第1.2-120図（2）　露頭スケッチ（Loc.Ky-2，阿久根市笠山南方）



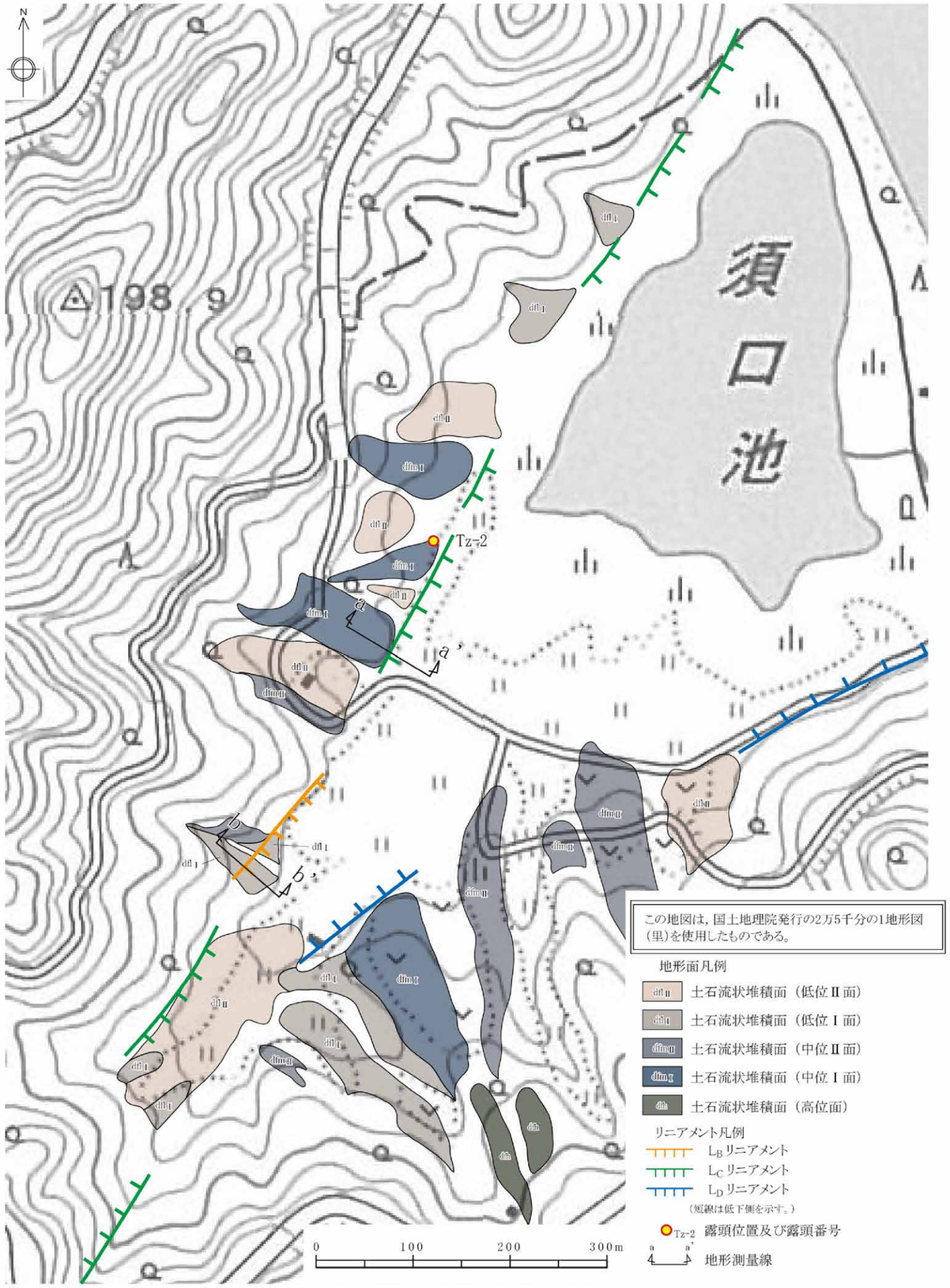

第1.2-120図（3） 露頭スケッチ（Loc.Ky-3，出水市連尺野）

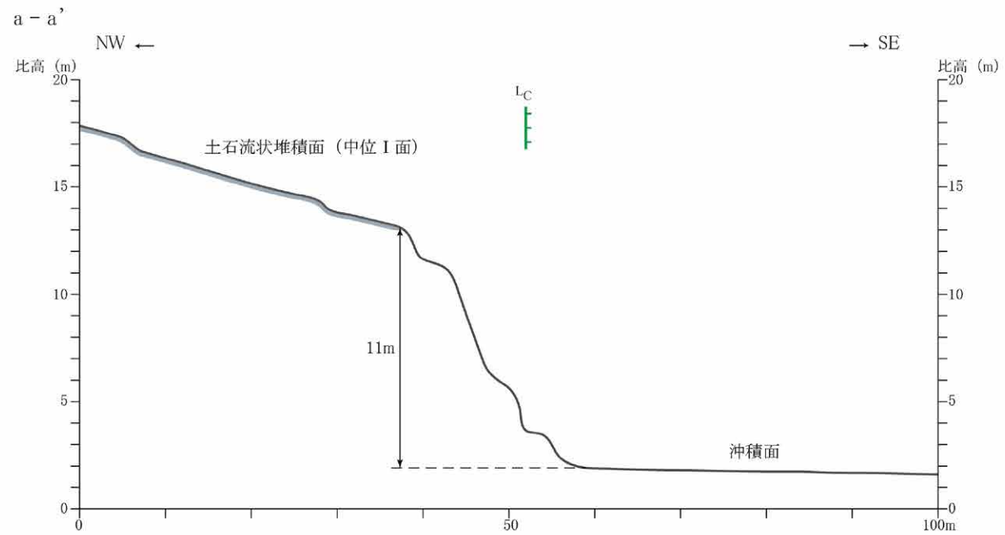


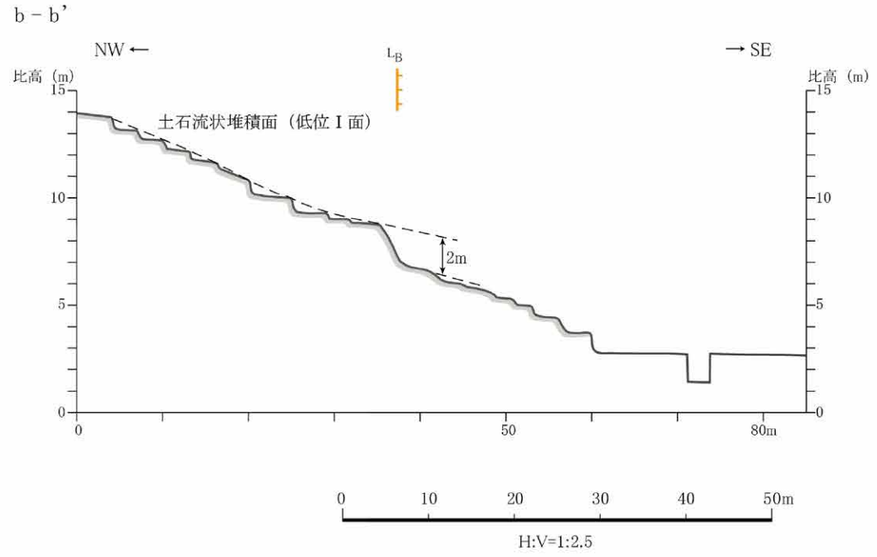

第1.2-121図　八代海の断層分布図



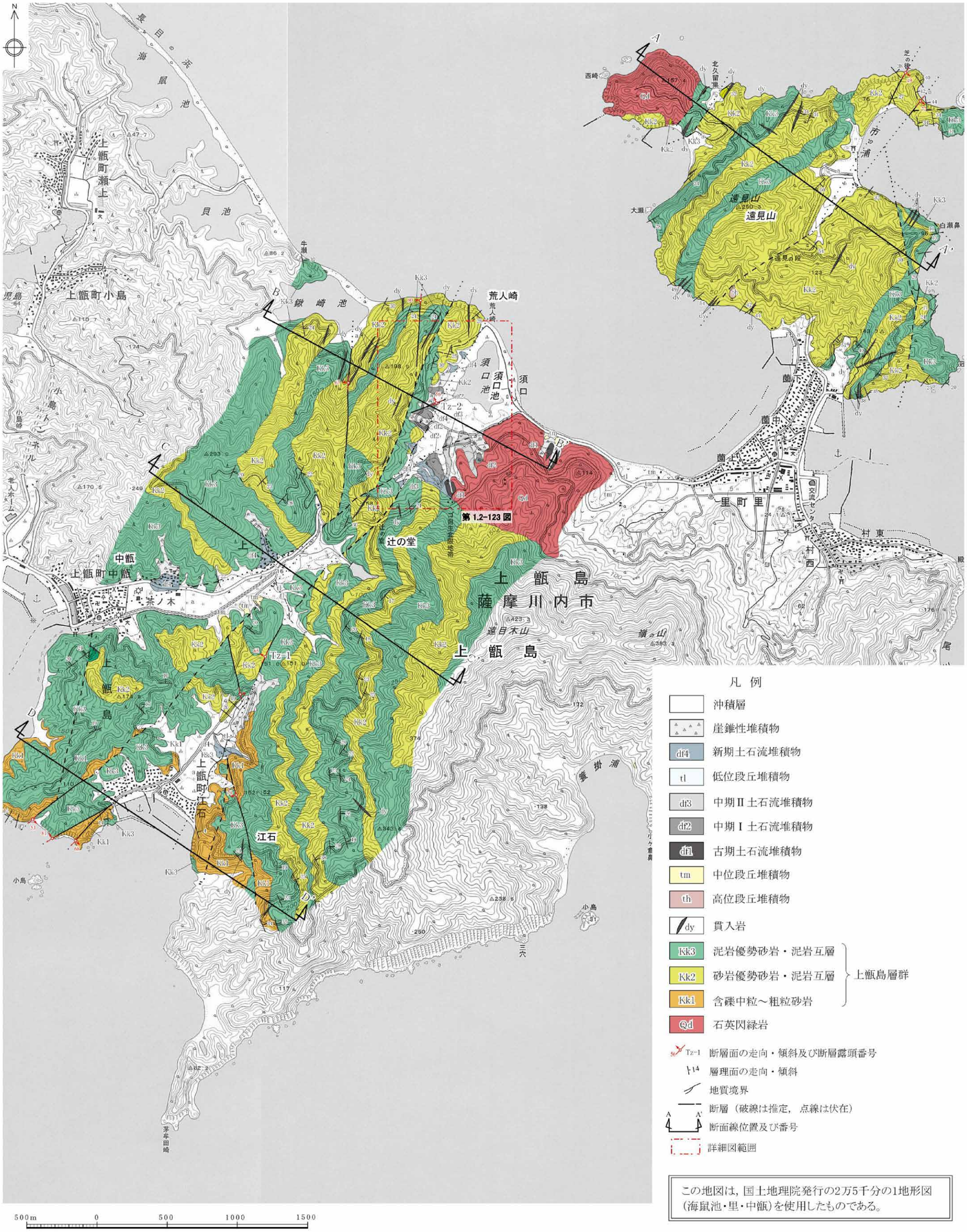

第1.2-122図　辻の堂断層周辺の空中写真判読図



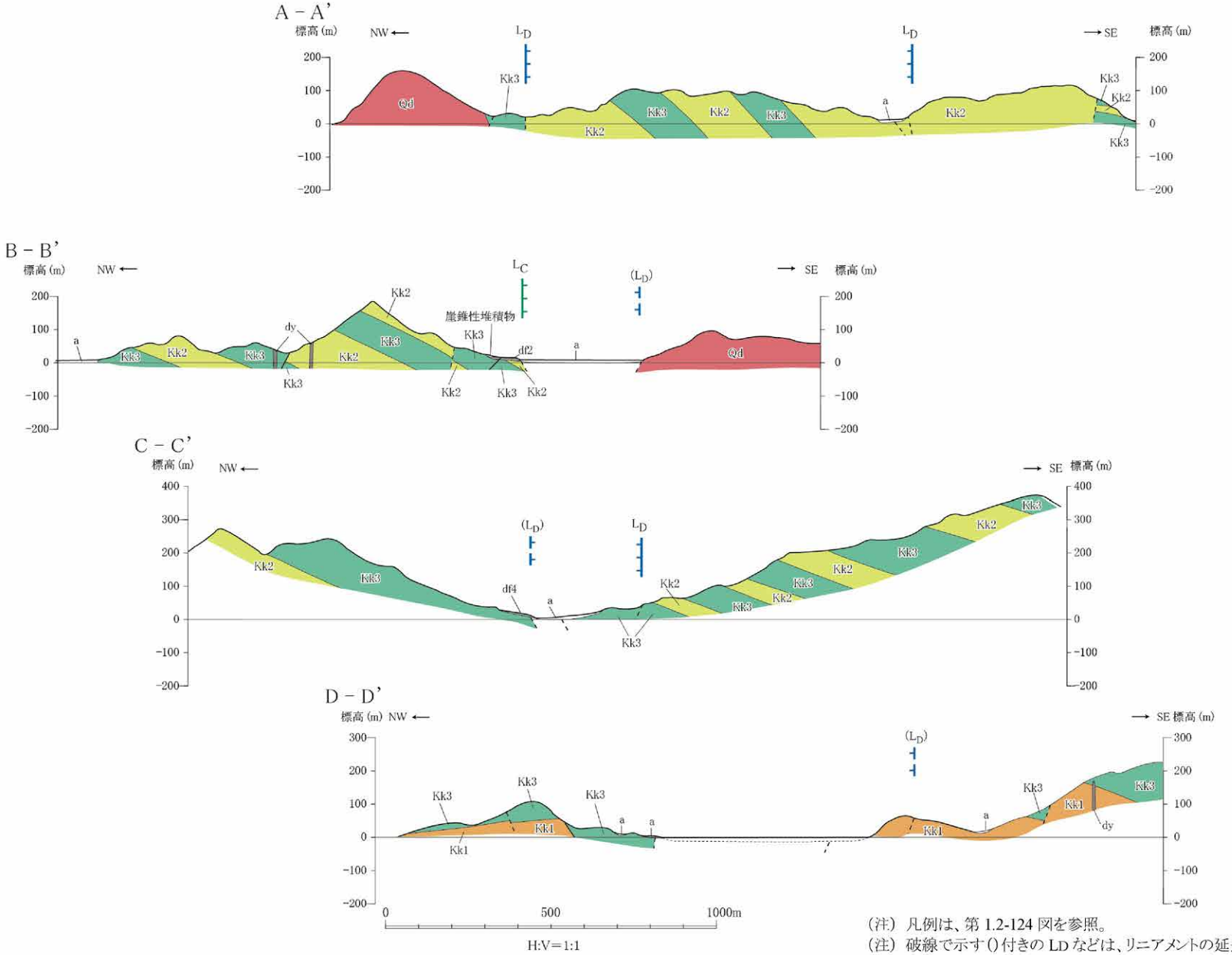




第1.2-123図　空中写真判読図・地形断面図（薩摩川内市須口池南西付近）

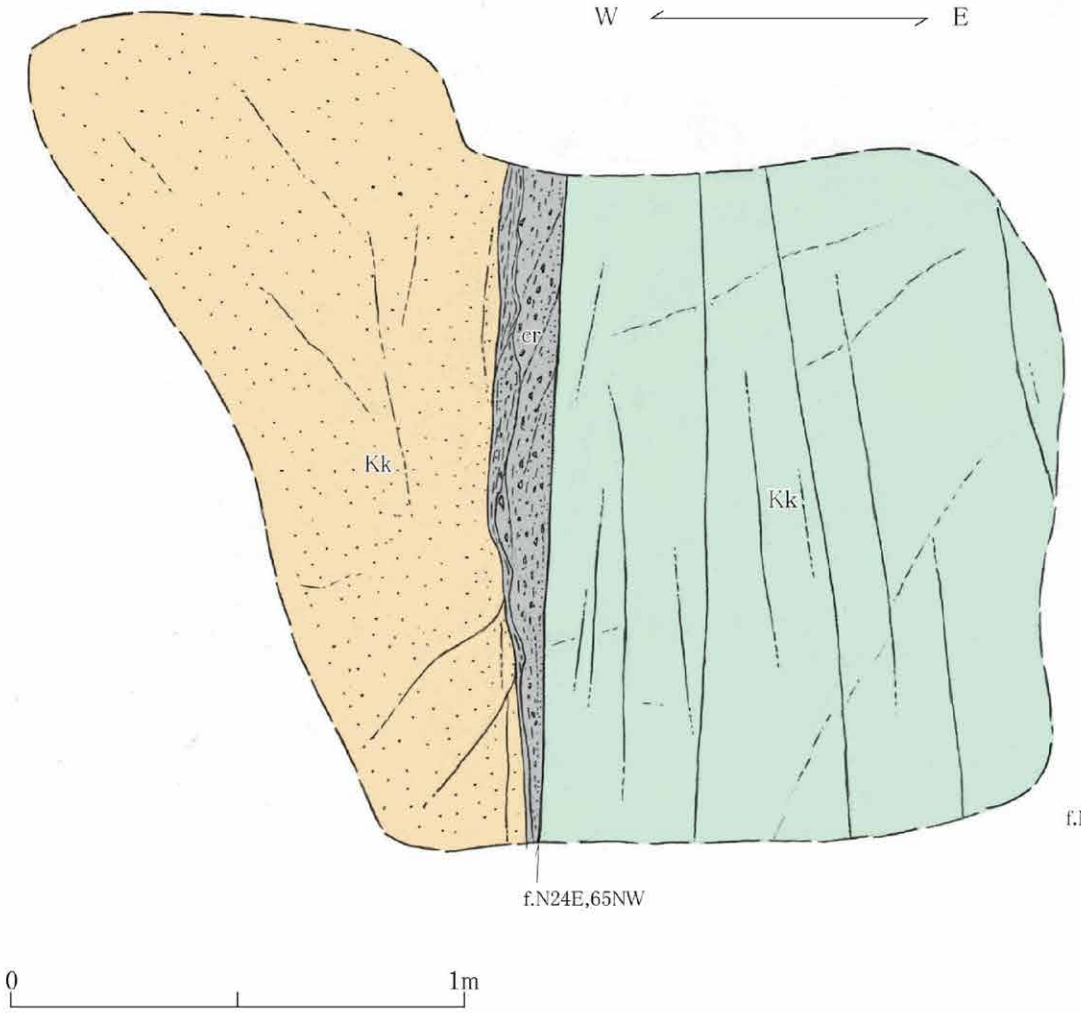



第1.2-124図　辻の堂断層周辺の地質図




（注）凡例は、第 1.2-124 図を参照。
（注）破線で示す()付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-125図　辻の堂断層周辺の地質断面図



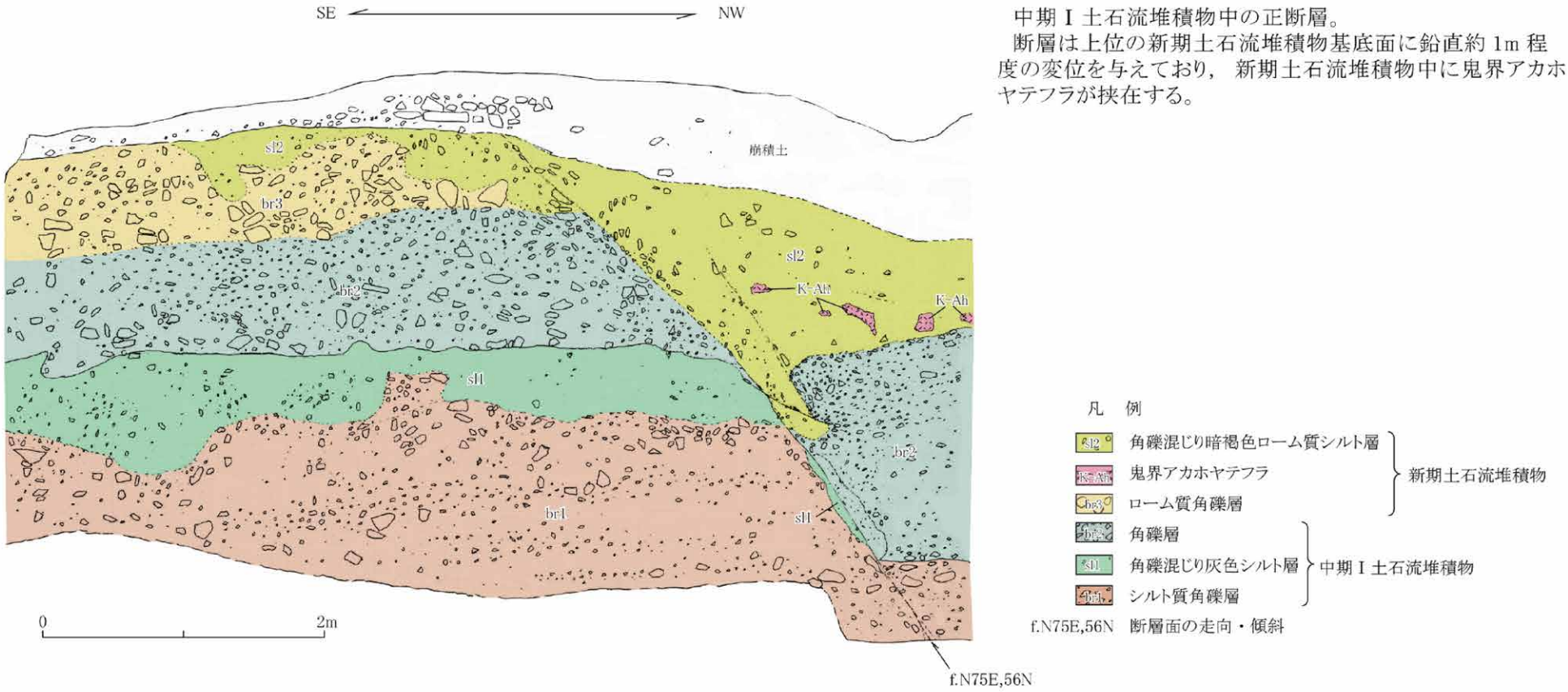

西側の上甑島層群中粒～粗粒砂岩と東側の同層群赤褐色塊状泥岩とを境する断層。
断層面は平面的であり，断層面西側には幅数cm～10cm程度の角礫破砕部が分布するものの，破砕部は固結し，断層面とも癒着している。

凡 例

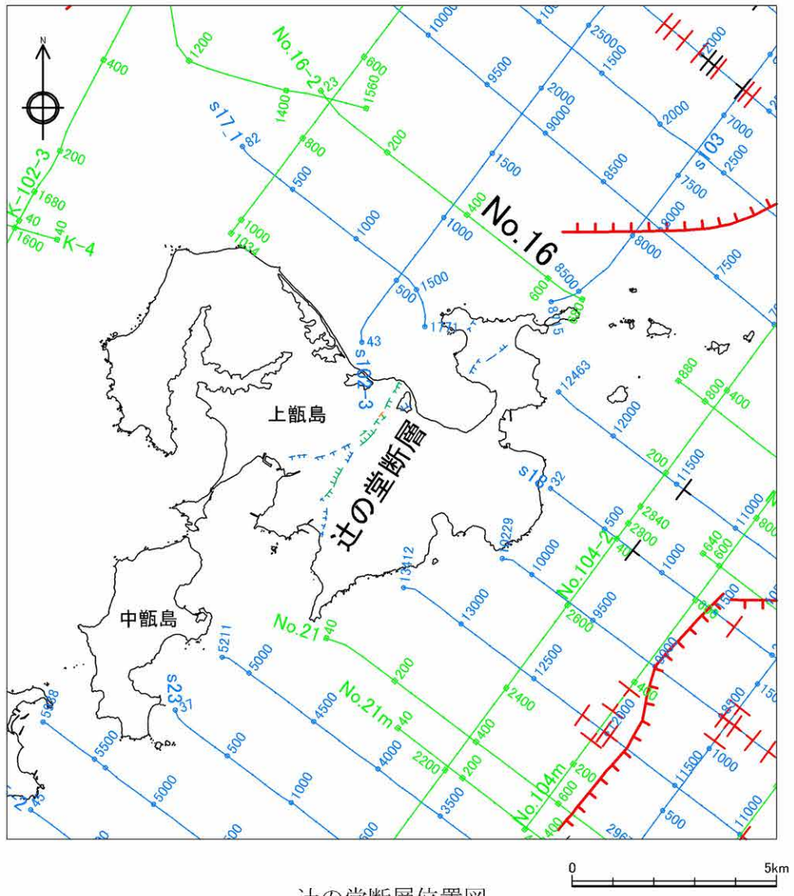
| | | |
|---|---|---|
| Kk | 赤褐色塊状泥岩 | 上甑島層群 |
| Kk | 中粒～粗粒砂岩 | 上甑島層群 |
| cr | 角礫破砕部 | |
| f.N24E,65NW | 断層面の走向・傾斜 | |

第1.2-126図（1） 露頭スケッチ（Loc.Tz-1，薩摩川内市江石北方）

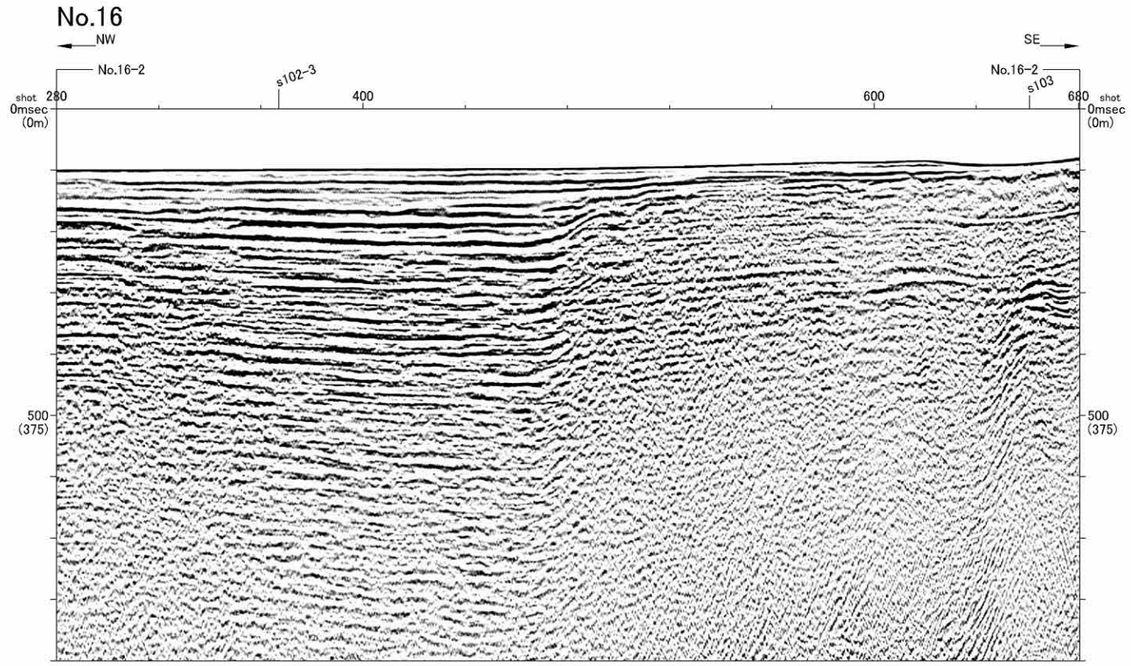
中期Ⅰ土石流堆積物中の正断層。
断層は上位の新期土石流堆積物基底面に鉛直約 1m 程度の変位を与えており，新期土石流堆積物中に鬼界アカホヤテフラが挟在する。

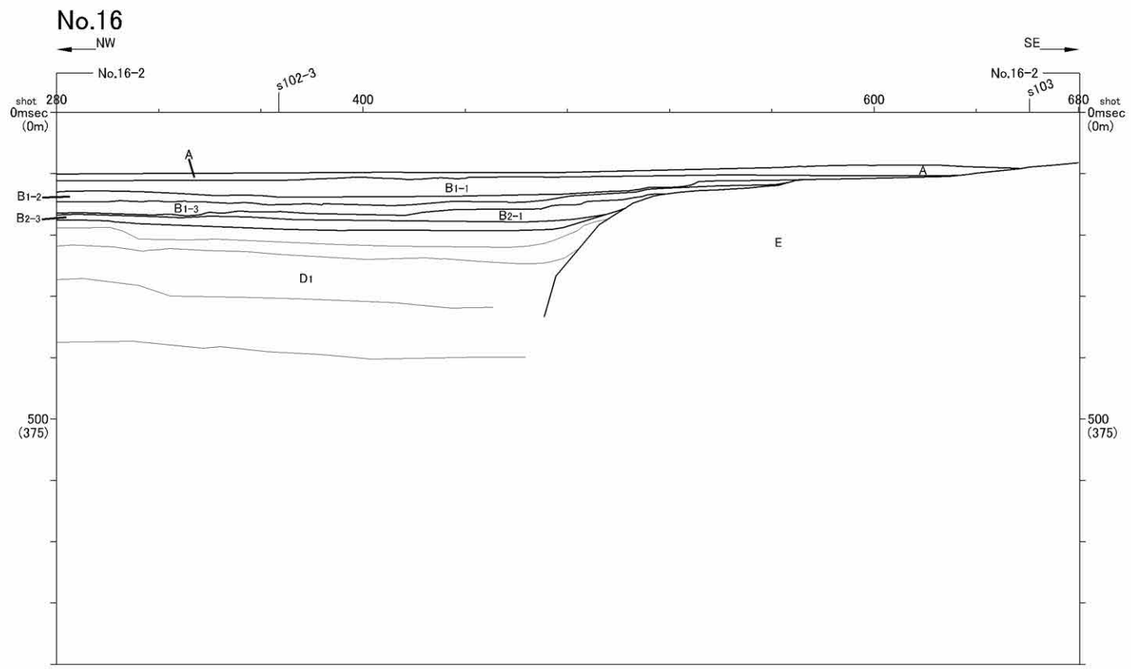



第1.2-126図（2）　露頭スケッチ（Loc.Tz-2，薩摩川内市須口池南西）




辻の堂断層位置図




音波探査記録断面図

## 凡　　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- $L_B$リニアメント
- $L_C$リニアメント
- $L_D$リニアメント

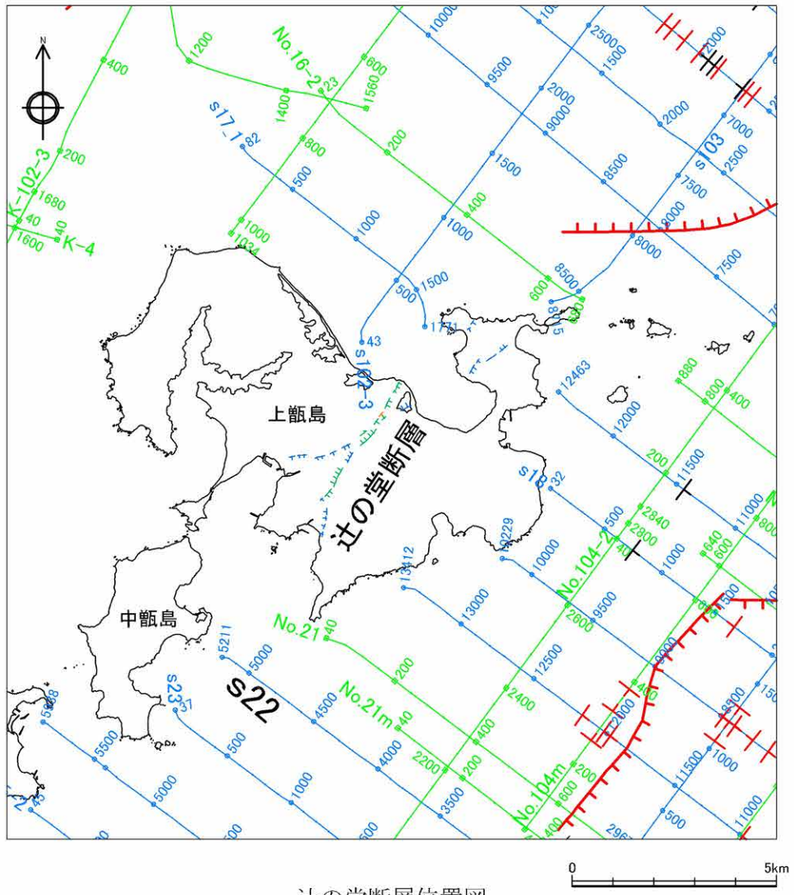
凡　例

| | | |
|---|---|---|
| A | 後期更新世～完新世 | 第四紀 |
| B1-1 | 後期更新世 | 第四紀 |
| B1-2 | 後期更新世 | 第四紀 |
| B1-3 | 中期～後期更新世 | 第四紀 |
| B2-1 | 中期更新世 | 第四紀 |
| B2-3 | 中期更新世 | 第四紀 |
| B3 | 前期更新世 | 第四紀 |
| C | 前期更新世 | 第四紀 |
| D1 | 中期鮮新世～前期更新世 | 第四紀 |
| V | 中期鮮新世～前期更新世 | 新第三紀 |
| D2 | 後期中新世～前期鮮新世 | 新第三紀 |
| E | ジュラ紀～後期中新世 | 中生代～新第三紀 |

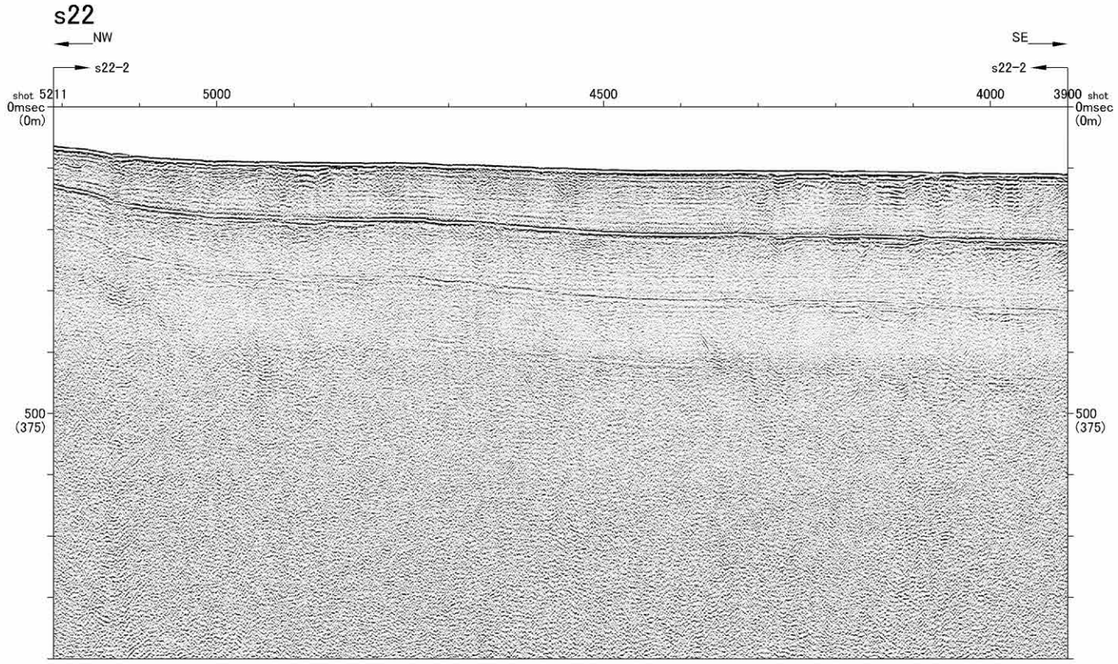
地層境界
実線：連続性のある断層
破線：連続性のある伏在断層
実線：連続性のない断層
破線：連続性のない伏在断層
H:V=1:4
0°
5°
10°
20°
30°
60°
90°

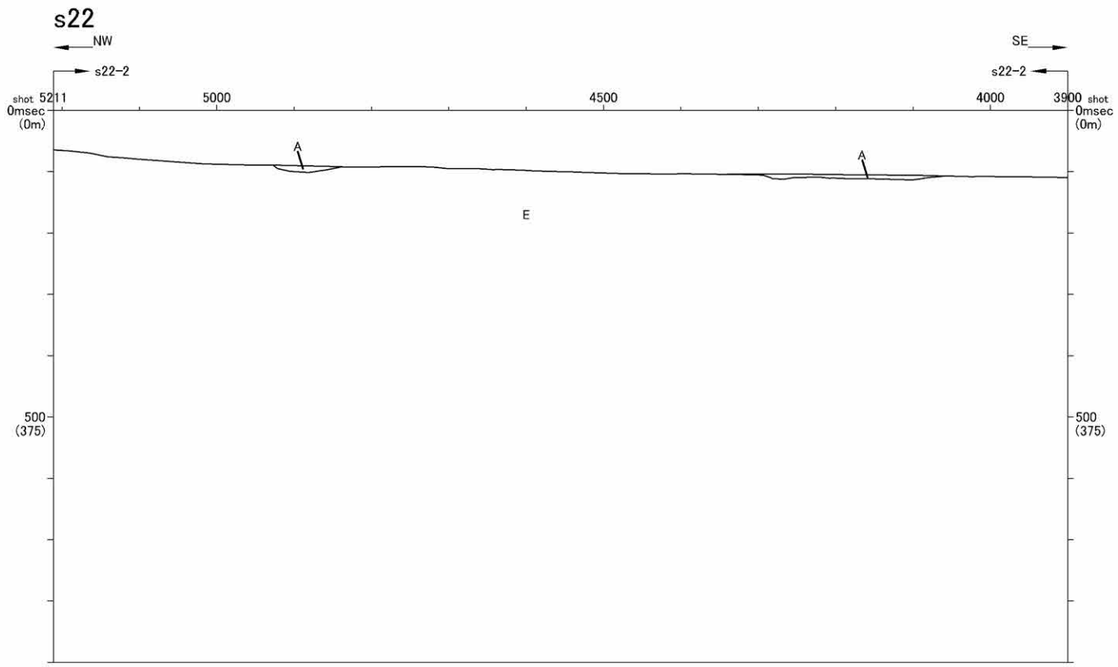
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（鹿児島）を編集したものである。

第1.2-127図（1）　辻の堂断層海域延長部（No.16測線）




辻の堂断層位置図

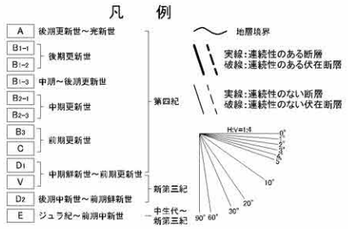



音波探査記録断面図

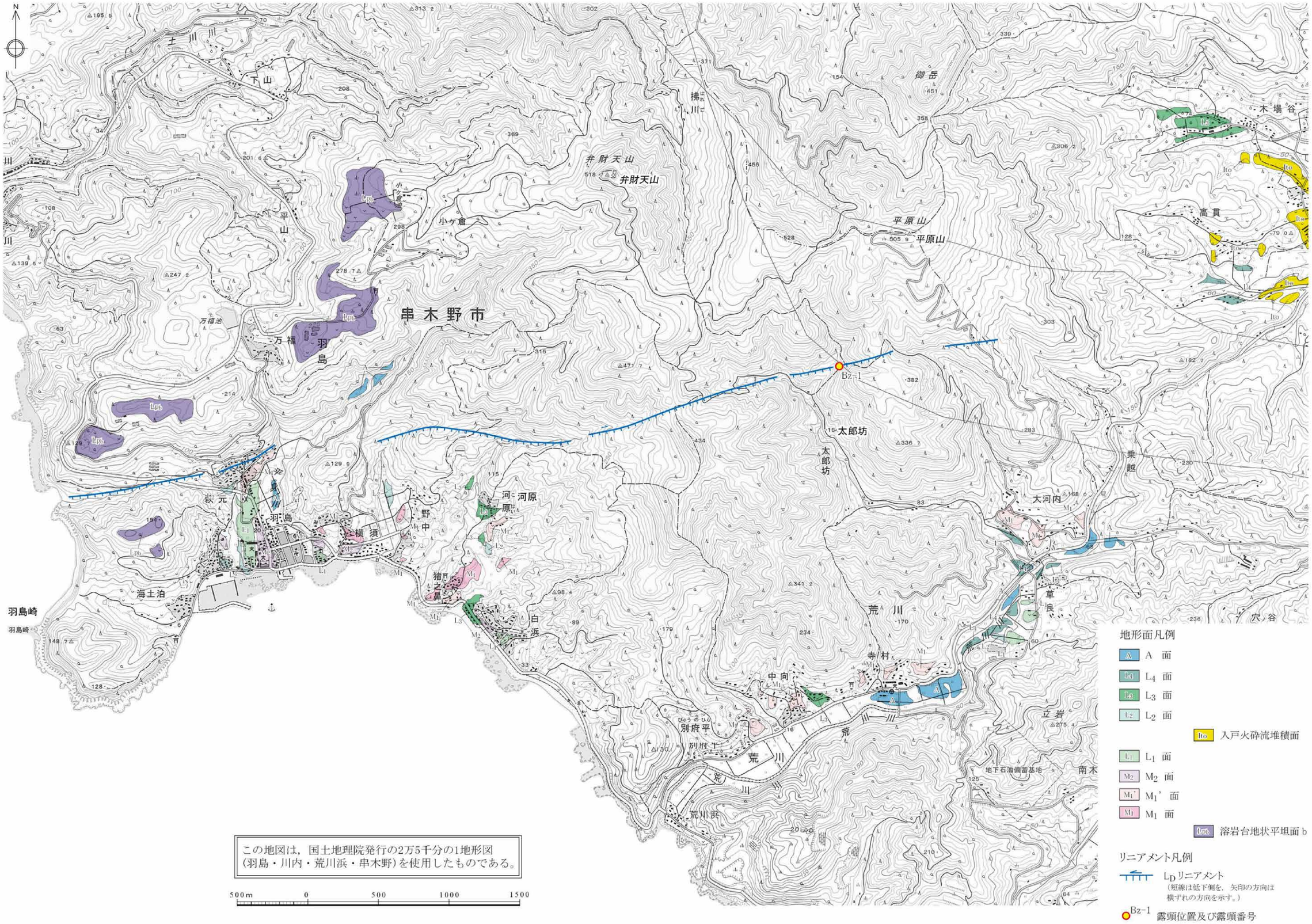
## 凡　　例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線（ＧＩガン、ウォーターガン）
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線（ウォーターガン、スパーカ）
- $L_B$リニアメント
- $L_C$リニアメント
- $L_D$リニアメント

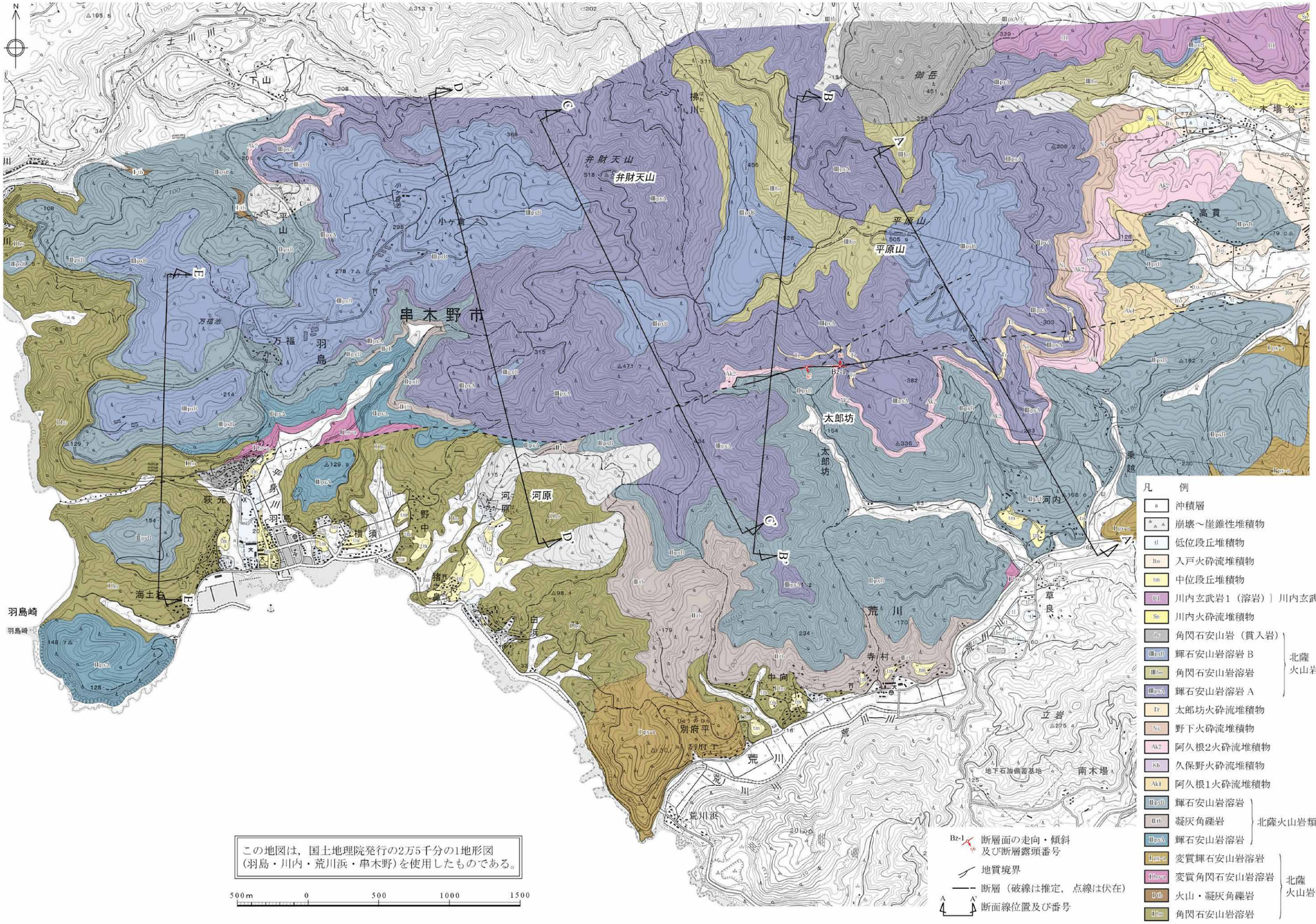



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤（鹿児島）を編集したものである。

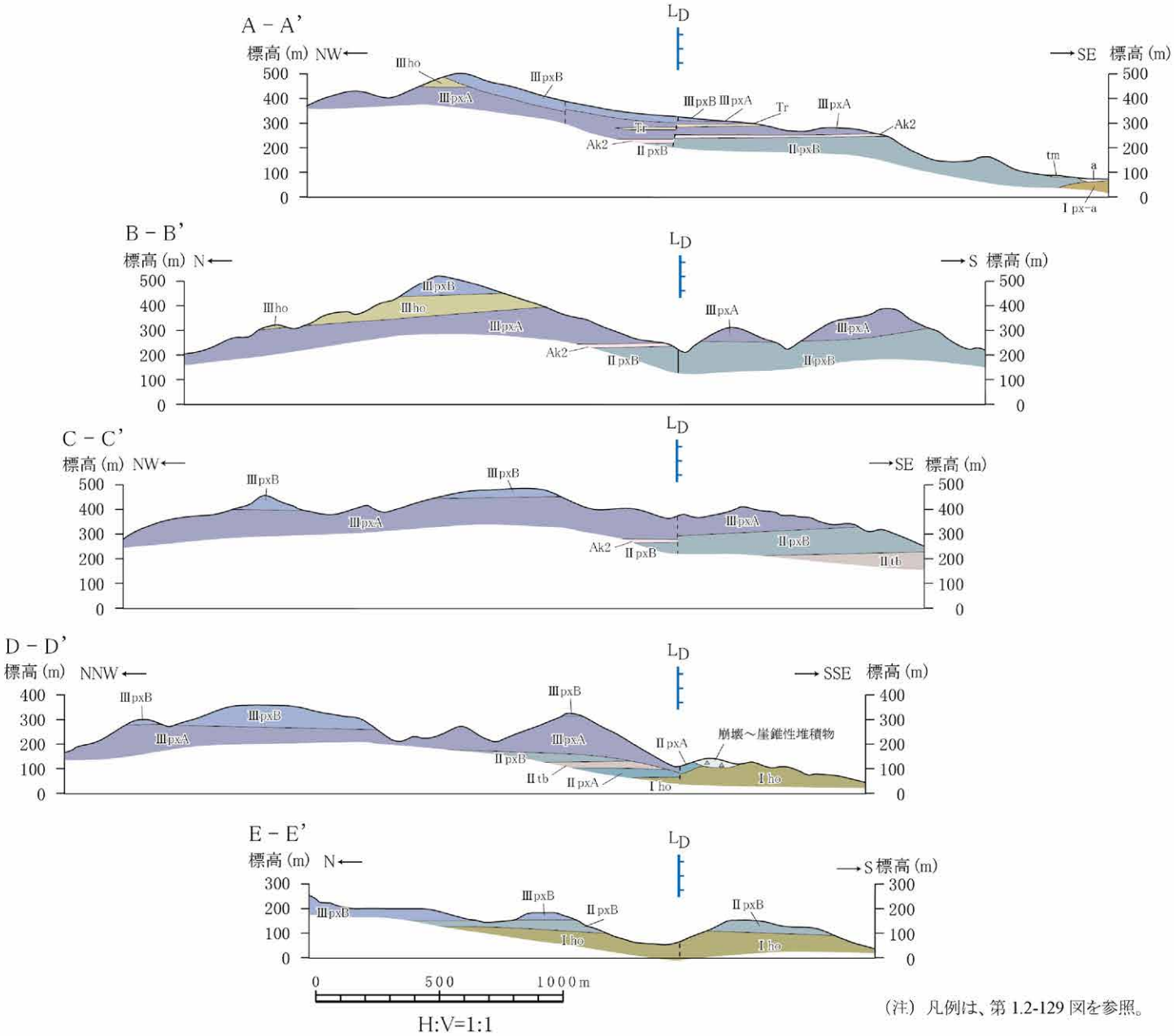
第1.2-127図（2）　辻の堂断層海域延長部（s22測線）




第1.2-128図　弁財天山南リニアメント周辺の空中写真判読図



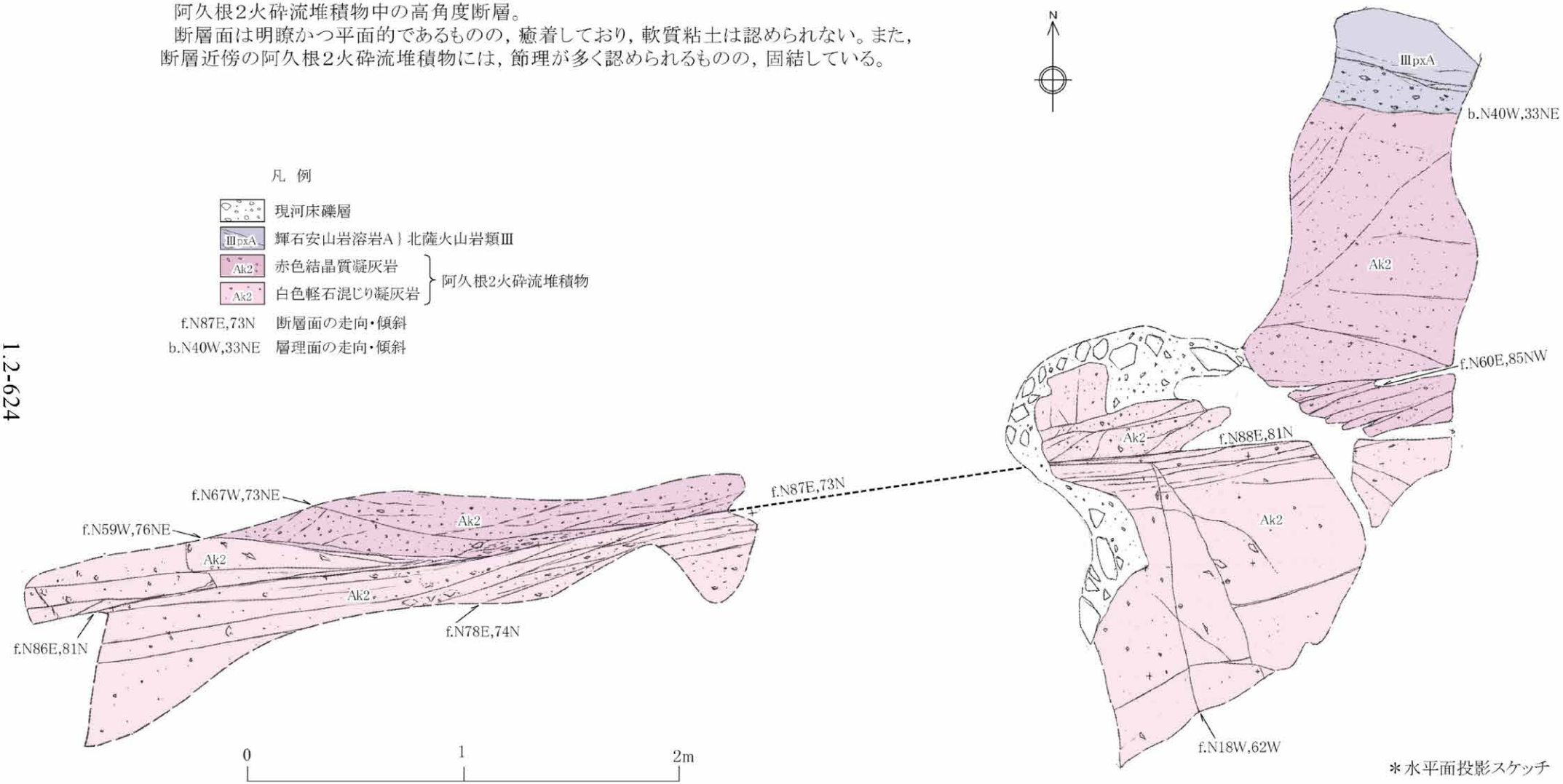

第1.2-129図　弁財天山南リニアメント周辺の地質図



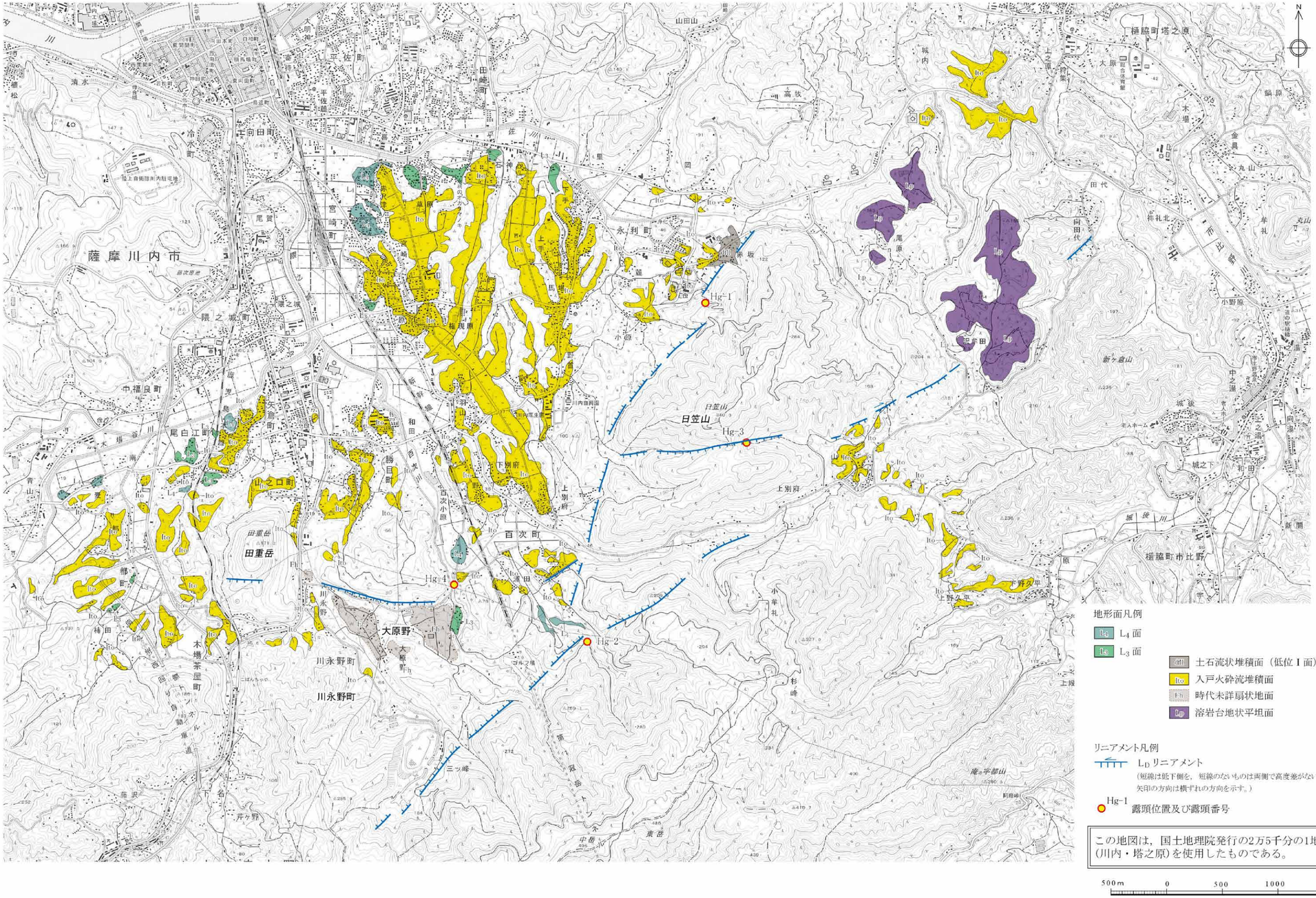

（注）凡例は、第 1.2-129 図を参照。

第1.2-130図　弁財天山南リニアメント周辺の地質断面図

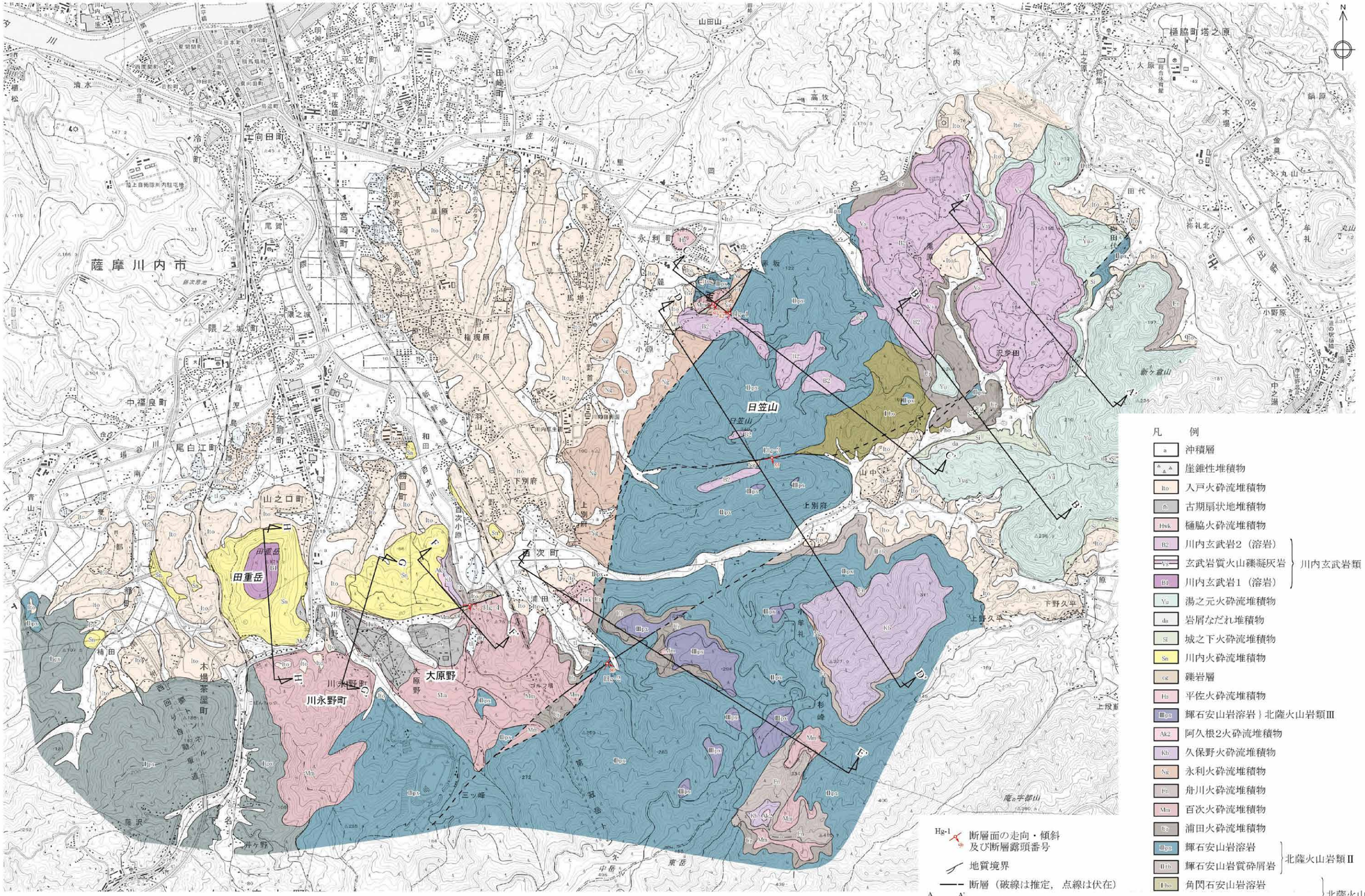
阿久根2火砕流堆積物中の高角度断層。
断層面は明瞭かつ平面的であるものの，癒着しており，軟質粘土は認められない。また，断層近傍の阿久根2火砕流堆積物には，節理が多く認められるものの，固結している。




第1.2-131図　露頭スケッチ（Loc.Bz-1，いちき串木野市太郎坊北方）

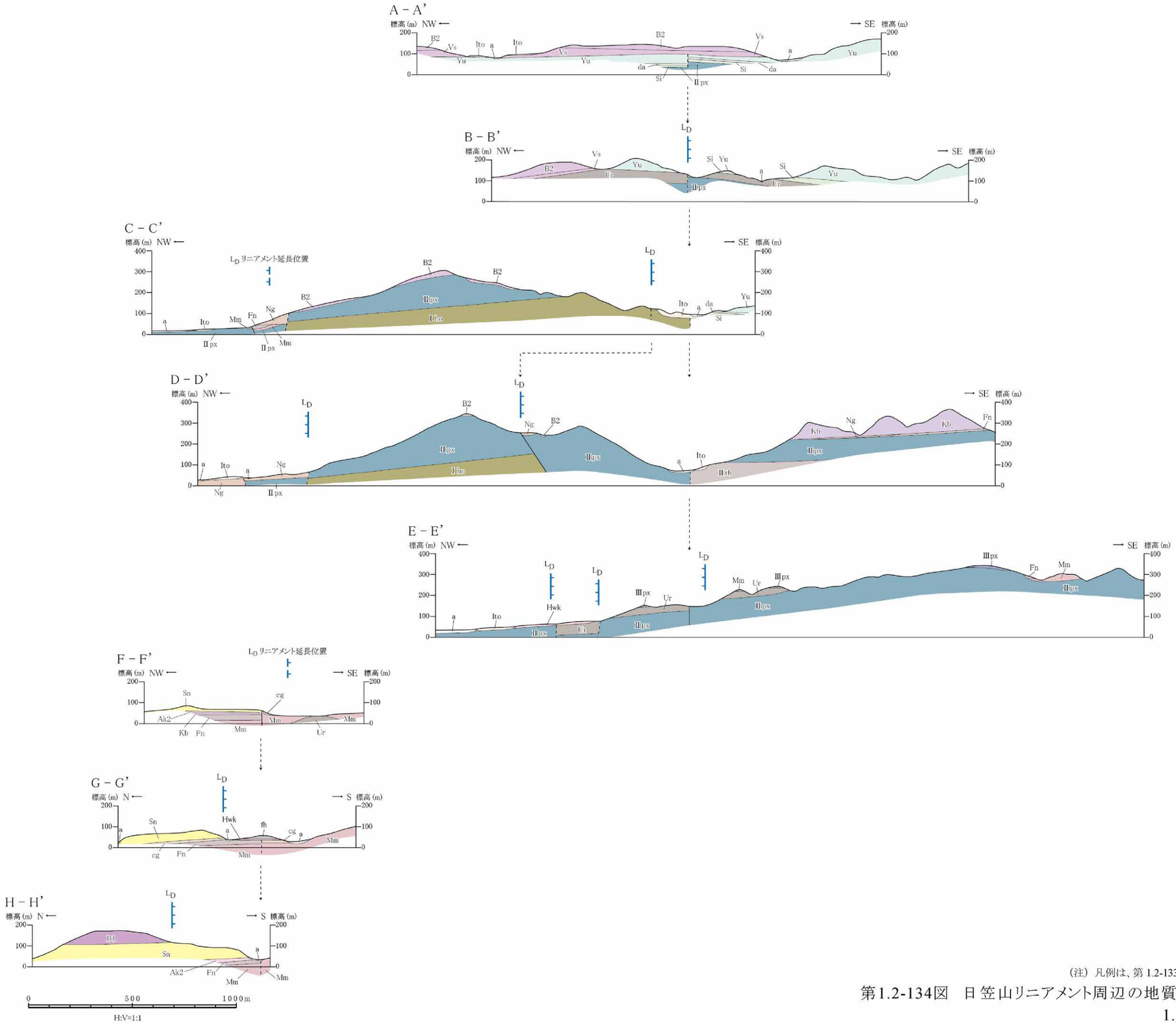



第1.2-132図　日笠山リニアメント周辺の空中写真判読図



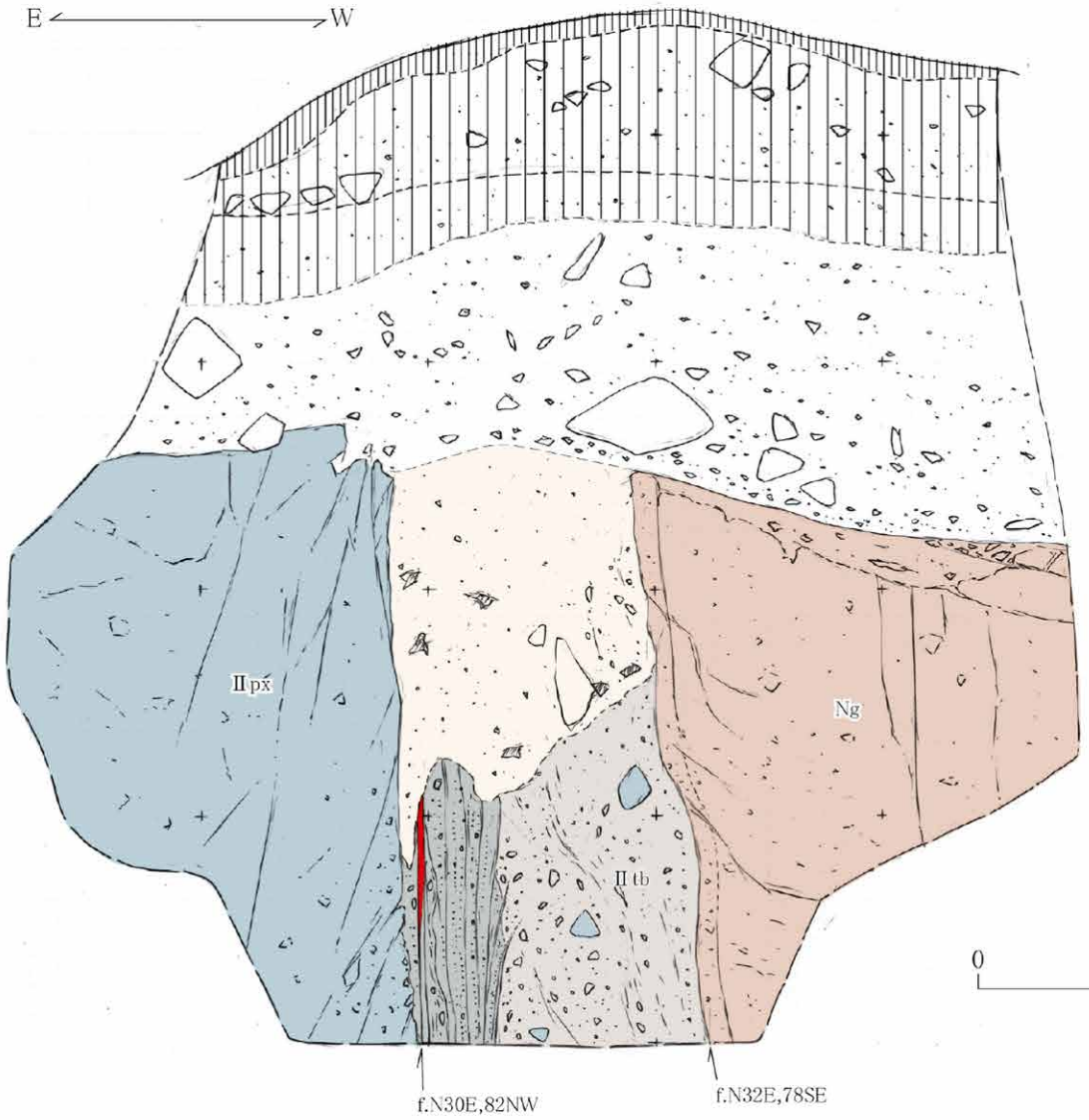

この地図は，国土地理院発行の2万5千分の1地形図(川内・塔之原)を使用したものである。

第1.2-133図　日笠山リニアメント周辺の地質図




（注）凡例は、第 1.2-133 図を参照。

第1.2-134図　日笠山リニアメント周辺の地質断面図



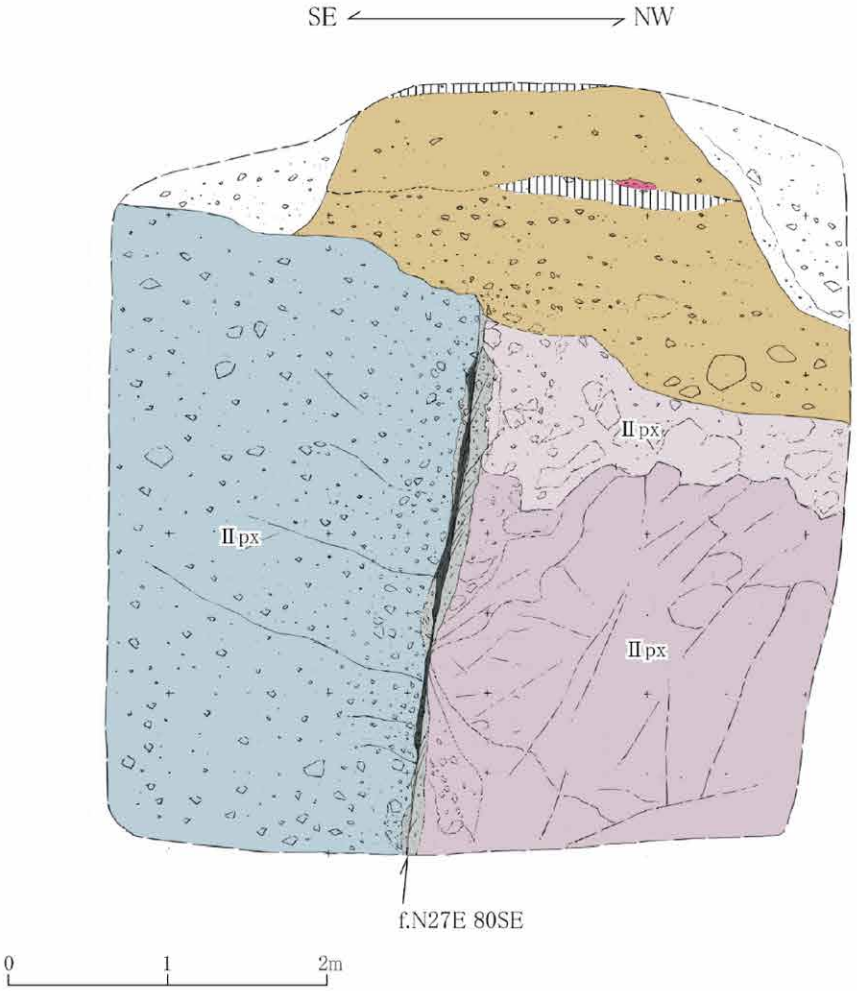

東側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と西側の永利火砕流堆積物とを境する高角度断層。
断層面は平滑であり，露頭上部では軟質な粘土がみられるものの，露頭下部では軟質な粘土は認められず，面も癒着している。断層面の西側に認められる幅25cm程度の角礫状破砕部は固結している。

凡 例

- 黒色土壌
- 腐植質角礫層
- 赤褐色角礫層
- 礫混じりローム層
- Ng 溶結凝灰岩 } 永利火砕流堆積物
- Ⅱtb 凝灰角礫岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
- Ⅱpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
- 角礫破砕部
- 軟質粘土
- f.N30E,82NW 断層面の走向・傾斜

0 1m

第1.2-135図（1） 露頭スケッチ（Loc.Hg-1，薩摩川内市永利町）




南東側の輝石安山岩自破砕溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と北西側の輝石安山岩溶岩（同火山岩類Ⅱ）とを境する高角度断層。
断層面は平滑であるが，断層面は癒着しており，破砕部も固結している。

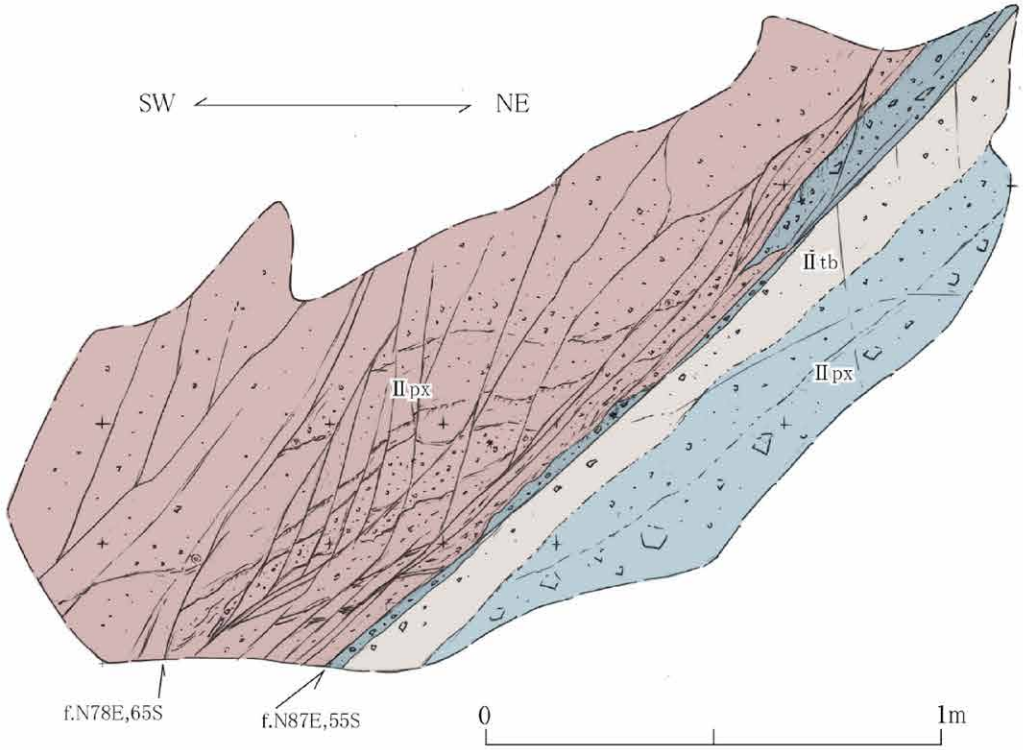
凡例

- 黒色土壌
- 崖錐堆積物
- 黄褐色細礫層
- 鬼界アカホヤテフラ層
- 暗灰色土壌
- ローム質角礫層
- 輝石安山岩溶岩風化部
- 輝石安山岩溶岩
- 輝石安山岩自破砕溶岩
- 角礫破砕部
- 含角礫細粒破砕部

（輝石安山岩溶岩風化部～輝石安山岩自破砕溶岩：北薩火山岩類Ⅱ）

f.N27E 80SE 断層面の走向・傾斜

第1.2-135図（2） 露頭スケッチ（Loc.Hg-2，薩摩川内市浦田）




南西側の弱変質輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と北東側の凝灰角礫岩（同火山岩類Ⅱ）とを境する正断層。

断層面は平滑であるが，癒着しており，破砕部も固結している。

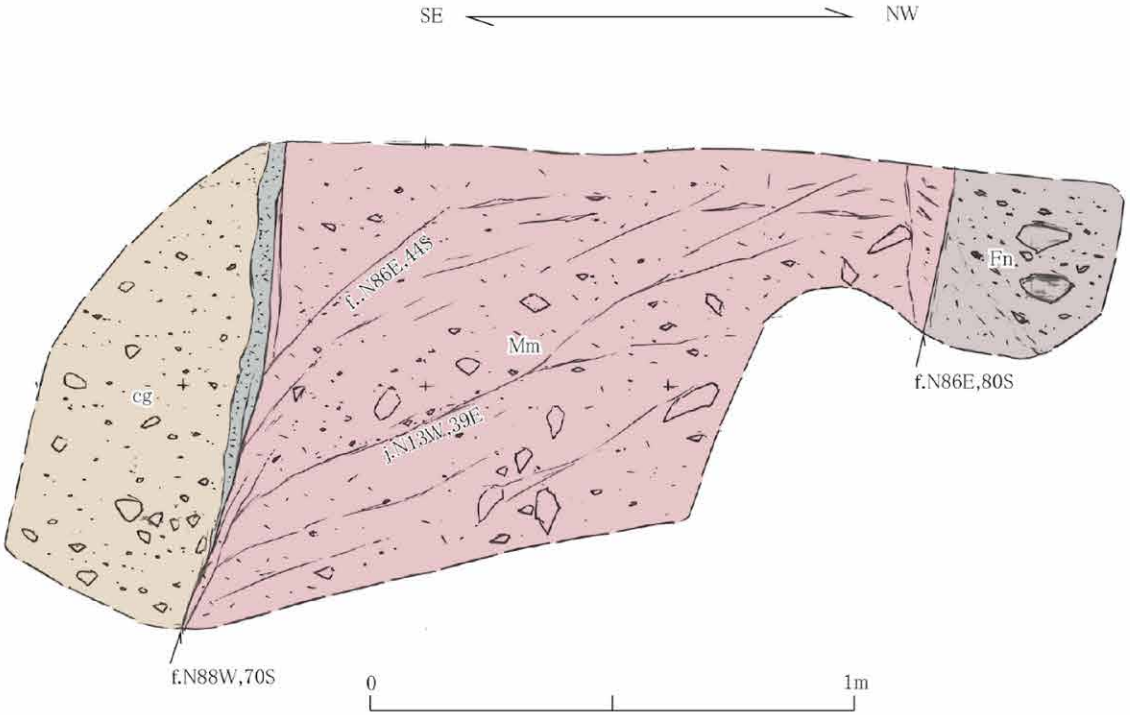
凡 例

- 弱変質輝石安山岩溶岩
- 輝石安山岩自破砕溶岩
- 凝灰角礫岩
- 角礫破砕部

} 北薩火山岩類Ⅱ

f.N87E,55S 断層面の走向・傾斜

第1.2-135図（3） 露頭スケッチ（Loc.Hg-3，薩摩川内市日笠山南方）




露頭南側に南東側の礫岩層と北西側の百次火砕流堆積物とを境する正断層が，露頭北側に南東側の百次火砕流堆積物と北西側の舟川火砕流堆積物とを境する高角度断層が認められる。

いずれの断層面も湾曲し，癒着しており，破砕部も固結している。

凡例

- 礫岩 } 礫岩層
- スコリア流堆積物 } 舟川火砕流堆積物
- 溶結凝灰岩 } 百次火砕流堆積物
- 細粒破砕部

f.N88W,70S　断層面の走向・傾斜
j.N13W,39E　節理面の走向・傾斜

第1.2-135図(4)　露頭スケッチ(Loc.Hg-4，薩摩川内市大原野東方)